New Year's Number to The Continental News

大陸日報新年號

新年の辭

年々歳々新春に入る每ふ其感新たなるのみにして何等進歩の圏内に入るなくんば是に敢て祝するを要せざる也。世界の文明、我國運の展開より海外同胞の情態が年と共ふ發達する無くんば、吾人は新春ふ逢ふと雖も之を慶し之を祝する所以を知らざる也、否な世界の進運より我同胞の發展が爾かく緩慢なるものありとするも、吾人の地位にして之に伴ふ無くんば、吾人は憾んで新春の盛氣を避けて之を貪るの鐵面皮を演ずる勿らん而已、新春の劈頭に於て自己を反省するの必要ありとせば吾人社會の木鐸たる者は先づ其職の意氣を發露して自ら欺かざるを努めざる可らず。

吾人新春の屠蘇に醉ふも未だ自ら省ふて其不佞を蔽はんとするものに非ず、吾人が此筆陣を張りて内外報道の機關に任ずるや、細心小膽其職に忠ならん事を欲するも、社會の職を開き人道に貢獻せんとするに當りてや、獅吼虎嘯も猶且つ及ばざるものありて其猛突烈進は世人の側目を招く事あらん、吾人が大陸の一角に在りて論壇に呼號するに際しては時に眼中傍人無きの慨なしとせず、要するに吾人の責任は我同胞の大陸發展ふ資する燈明臺たるふあり微かに抱負する處は其羅針盤たるふあり、江湖新聞の事業を以て尋常一樣貨殖の途ふ爲す者あるも、吾人の期する所は此を以て公共便益の爲に供し、併せて其指導開發ふ當らん事欲するのみ、明治四十四年辛亥の年、猪突なる機運は實に吾人の猛奮を促すもの、如し、吾人新春の氣と共ふ驛馬一鞭の功を致す可き也。

大陸日報社同人

九重雲深き邊の御消息に就て

拜聞するだに畏れ多き御事ながら、仰ぎ見る日章旗の朝鮮十三道にまで普く新春の曙光ふ輝き渡る、斯くも芽出度き新年を迎きて、今茲にたはけなくもかしこき今上天皇陛下の御近狀を謹みて記し奉る。

▼嚴格なる御起居 御平生が嚴格に渡らせ給ふ御事は今更ら申すも畏き極みなるが、每日午前六時には必らず御起床あらせられ、白羽二重の夜の御衣をお召し更へありて御口嗽所ふ出でさせ給ひ、七時に御朝餐、八時に侍醫の玉體拜診あり、右終つて大元帥の御制服に更へさせ給ひ、九時には必らず御學問所に出御遊ばされて政務を御親裁になり、臣下の奏上又は謁見を受けさせ給ひ、御晝餐を午後一時頃ふ召させ給ひ、引續いて三時、五時頃まで出御ある事珍らしからず、入御の後は常にフロックコートを召させ給ひ、六時ふ御夕餐、十時三十分乃至十一時に夜の御殿に入らせ給ふ、居常御嚴格に渡らせられ、而かも政務ふ御精勵の程は、大臣達も遠く及ばないとは、唯々恐縮の外はない、夜の御衣は白羽二重なるが、一度び玉體に觸れたる御衣、御褥は再び用ゐさせ給はず、御側近ら奉仕する諸官の公卿華族等へ、洗ひ絹になさしめ給ひて、一樣ふ御下賜相成るやに洩れ承る。

▼質素なる御食事 朝と晝とは二汁三菜、夕には二汁五菜の御定めにて、洋食は左程御好みあらせられず、晝と夕とふは鶏肉のスープを一合づゝ召上らせられ、萬事御質素に渡らせらるゝ事寔ふ恐れ多し、勿論御料理ふは吟味に吟味を重ぬるは申すまでもなく、御膳は今も昔の如く白木隅折、刳脚の高膳にて、御食器は菊桐の御紋章を附しあるふ非らずば、若松鶴龜の模樣ある薄手の京燒を御用ゐ遊ばされ、御箸は長さ九寸兩削りふて細く滑かに象牙の如く磨き上げたるものにして御用材は東京府下西多摩郡日原なる勝の木と申すものなりと。

▼大内にての御言葉 大内にて御用ゐさせ給ふ御言葉は優しく美はしき事昔の儘にして、漏れ承はる一二を擧ぐれば飯を『おばん』緣側を『お馬道』米を『打撒』酒を『お獻』鯛を『おひら』鰕を『えもじ』葱を『ねもじ』又賢所へ供へし神饌の下りを『おすべり』陛下の御食の下りを『おした』とぞ言ふなる倘申すも恐れ多き事なれど陛下には京都ふ生れましゝ故ふや宣らせ給ふ玉音は今も猶は西の京の公卿諸公と同じく優にやさしくぞ渡らせ給ふと。

▼平生の御嗜好 敷嶋の道に御堪能なる事は屢々洩れ承る處で、高崎御歌所長の如きも只管感服し奉るの外はないと言つて居るが、一日に詠みあげさせ給ふ御製の數實に五十首六十首を超ゆる事珍らしからずと承る畏き其外ふは別に御樂みとてなく、數年前には御政務の餘暇には御乘馬御弓等のお樂みがあつたが、今日では此御樂みもない、是れと申すも日露戰役後特に政務御多端ふ渡らせ給ふ結果と承るに於ては、感泣の外はない、昨今では唯だ時折御愛犬を伴はせられて御庭を御逍遙あらせらるゝか、各室に置かせ給ふ置時計、動物の剝製（百五六十種）新古の書畫、漆器、陶器等の美術品を愛玩さるゝ位、煙草は特に日本產を好ませ給ふ、尙御劔だけは御嗜好遊ばされ、今は三百口ばかり御所藏相成るとぞ、又た葉山の御用邸へ遊ばされし時のみは、海濱を御逍遙遊ばされながら貝などを拾はせ給ふを此上もなき御慰みと拜聞しまつる、此處に記し奉るべきは假令如何なる極寒酷暑の候と雖も決して御避寒又は御避暑遊ばされた事がない、唯だ一度箱根へ御避暑遊ばされたのみで、其外幾度臣下より奏上しても一度も仰出されたがないとぞ、拜聞するだふ畏れ多き御事ふこそ

▼常に洋装 平生最も謹嚴に身を處し給ひ、御寢室に入らせらるゝ迄、終日御洋服にて端然として椅子に憑らせ給ふ事は一日も御變りなく、其規律正しき御生活は西洋人ならばいざ知らず、日本の臣民ふは申すも畏れ多き事ながら御眞似をする事すら出來ない位で行幸の折の如きも、玉體の御疲勞をも更に厭はせ給はず、御入浴の後でも矢張洋服を御着替へ遊ばされ、少しも御窮屈に感じさせ玉ふ事がないのは、平生規律正しい御起居の御習慣より來た結果と、供奉の臣下一同恐懼し奉るのみであると承るだに畏れ多くも畏き極みふこそ。（在京靈鞍芳外拜記）

特別寄書

在外日本子弟は如何に教育すべきか

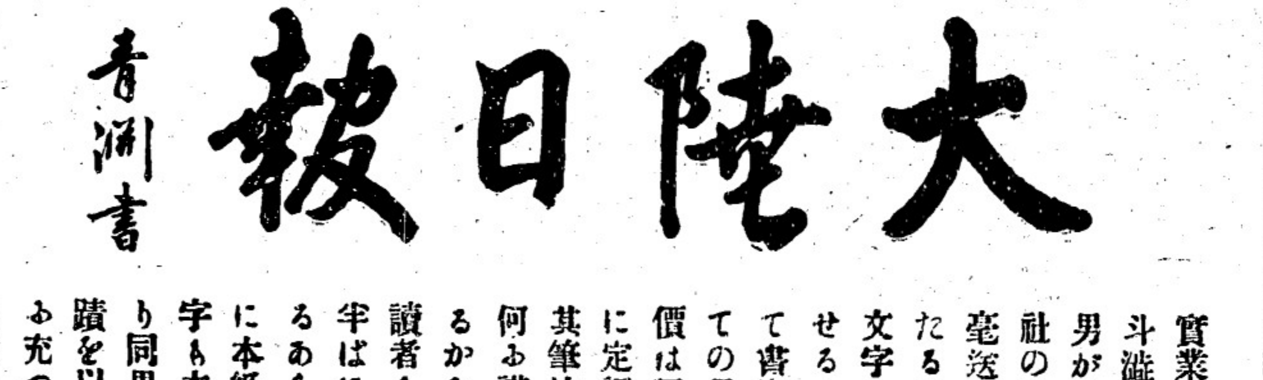
前文部次官 澤柳政太郎

在外の日本人は成るべく其の在住國に同化すべきか、又は厭くまでも日本人たるの精神風習を固持すべきか。更に在外の日本人の子弟は如何ふ之を教育すべきか、出來得る限り忠君愛國の思操を涵養すべきか。これ等の問題は屢々世人の口に上る所のものなり。これ肝要の問題なりと云へば、それふ相違なきが如し。殊ふ在外本邦人の子弟教育は如上の問題を解くふあらざれば其の方針を立つるに由なきが如し。然るにかゝる問題は之を解決する極めて困難にして、而かも之を解決するも其の實際上の關係は案外ふ輕小のものなり。即ち實際問題としてかゝる問題よりも更に大に適切なる問題あり。予は世人がこの適切ふして而かも一層重要なる問題に注意し且つ之れが解決ふ務めんことを希望するものなり。

在外邦人が其の在住國にありて能く日本國民たるの品位を維持することは最も必要のことなり、若し在外本邦人が其の動作に於て其の風采ふ於て總て其の生活に於て日本人たるの品位を保つ能はず、其の國人をして劣等の人種なりとの感想を起さしむることあらんか如何に口ふ忠君愛國を唱ふるも忠愛の精神實行なきものと云はざるを得ず、かゝる者は本國の顏に泥を塗るものなり。本國を辱しむるものなり、之に反して日本人たるの品位を保つものは在留國ふ同化すると否とを問はず、必ず在留國民の尊重する所となるべし。

之を子弟の教育問題とすれば如何にせば其の子弟をして日本人としての品位を保たしめ、他の輕侮する所とならざらしむるを得るか、これ洵に重要にして且つ適切なる問題なり、假令ふして日本の歷史を知り日本の地理を暗んずるも、其の擧動野卑に其趣味下品に其の思想淺薄にして他の輕侮を免れざるものならんか、是れ決して忠愛の精神ある日本人なりと云ふべからず。之に反して其の子弟にして他日生長したる後立派なる紳士として世に立つふ至れば而して世の尊重する所とならんか、これ日本國の名譽を全うし、延いて國の信用品位を高むるものと云ふべし。然ればかゝる紳士をこそ忠君愛國者なりと云ふべきなり。故に在外日本學校に於て第一に努むべきことは其の子弟をして立派なる人物たらしむるにあり、高尚なる品性を陶冶するにあり、又其の常識を養ふにありと云ふを得べし。

之を要するに外國にある日本人にして苟も外國人の輕侮を招くが如きものは假令日本の衣服を纏ひ日本の語を話し忠君愛國を口にするも決して忠良なる日本國民にあらざるなり。これ日本人にして日本人にあらざるなり。日本人にあらざる日本人は啻ふ外國人の輕侮する所なるのみならず、我等日本人の齒するを欲せざる所なり。即ち外國人の排斥せんとする日本人は本邦人も亦必ず排斥するものならん。予は在外邦人が悉く皆日本人たるの品位を保つものならんことを欲す。而してかゝる日本人は必ず外國人の尊重する所ならん。在外本邦子弟の教育方針も亦此ふあるべきなり。



實業界の泰斗澁澤榮一男が特ふ本社の爲ふ揮毫送附されたる扁額の文字を縮寫せるものにて書家としての男の聲價は江湖既に定評あり其筆法の如何ふ謹嚴なるかを見ば讀者も思ひ半ばに過ぐるあらん因に本紙の題字も本號より同男の筆蹟を以て之ふ充つる事とせり

俳諧 志ゝが春

左の句は日本俳壇の各大家が予の懇請を容れられて特に大陸日報の爲に寄稿せられたるものにして到着順に掲ぐるものなり。（在京四海生記す）

○

月の梅いろしの御代を香り鳬　小波

○

偉大なる太平洋の初日の出　殘花

○

門の雪黒の小袖に初日哉　竹冷
追羽子の夫れや京鬟の小脇差　同
凧ひゅうく曾我殿原の西東　同
鞦韆くんくん拍子階子段　同
紅梅や我得べくんば琴彈かん　同

○

年立つや黒い鴉と赤い日と　麥人
元日の堂々として來り鳬　同
元日ふ澁い顔する事勿れ　同
注連の風既にして人若き哉　同
起ぬけの小便も例やけさの春　同

○

人未だ罪を犯さぞ初日の出　瓊音
出ばな初日磯松原に風渡る　同
初空や麓小暗く社の灯　同
初空や去年の雲が逃げてゆく　同
新年の垣に干されし襁褓　同

○

化粧部屋の鏡にのぼる初日影　四海
大陸の初日知らぞ如何の光景　同
屠蘇に醉ふて天下泰平を謳ひか　同
屠蘇機嫌上野廣小路　同
山の手や閑な大路に羽子をつく　同
醉ふて醉ふて祝はむしゝが春　同

時事吟

波韵

△昨夏ハドソン灣の壯遊に元氣愈々旺盛を告げ加奈陀總督グレー伯今夏更ふマッケンチー河より北氷洋地方に萬里踏破の快擧を試みんと傳へらる

炭火して越の雪さく庄屋哉

△北極探撿の抗爭にペリーと對峙して世論を沸騰せしめたるクック博士頃者聖降誕祭祝賀の爲ふ着紐せるも世人再び顧みず冷然として看過し去る

歸り花咲かんとしていぢけたる

▽東京、下關間の廣軌改築案今期議會の呼物となりて政界の物論漸く喧騷を告げんとす

霜解ふ路次ゆき惱む小言哉

△滿洲の日露兩國人親交の度を加へ來りて淸國官民の疑惧を抱くもの尠なからず安奉沿線に淸兵は苦力を使嗾して朝鮮人と鬪爭せしめ不穩の擧動ありとは慶し難し

交りや店子となりて年用意

謹賀新年

明治四十四年一月一日

大陸日報社同人

特別寄書

敢て在米在加の同胞に警告を

第一高等學校長 法學、農學博士 新渡戸稻造

▼アクトン氏曰く

頃日英國の學者ハード、アクトン氏の"愛國心"といふ一大論文を讀んだ、アクトン氏は"一個國民の愛國心を容るゝ事の出來ないやうな愛國心は眞の愛國心と謂ふ事が出來ない"と謂つて居るが穿てる言だと思ふ、米國や加奈陀に在留して居る日本人でも米國人や加奈陀人の愛國心を容れる事の出來ないやうな愛國心を有して居るとすれば夫れは眞の日本人としての愛國心と言ふ事が出來ない。今日の日本人の愛國心は非狹偏見的にして且つ狹少なものではない筈である。然し斯う言ふと誤解する論者があるかも知れぬ、甚だしきに至つては新渡戸の愛國心は外國化して居るから困るなど云ふ論者があるかも知れぬが其心配は御無用である。

▼在外同胞と愛國心

素より日本人は日本人特有の愛國心を有して居る而かも萬國民中他に其の比を見る能はざる美しき愛國心である。是が五十年六十年以前の鎖國時代の日本人ならば外國人の愛國心など聞くも汚はしいと嫌惡したであらう、然し今日の日本人といふ事をよく考へねばならぬ、米國と言はず加奈陀と言はず英國人獨逸人と言はず來るものは之れを迎へ、又た時としては自ら訪ねて握手し親密なる交際を結んで行かねばならぬ、然るに在米の日本人であるからで、獨立祭に國旗も樹てず更に何等祝意を表せずして、今日こそは天長の佳節だからと言つて國旗を樹てヽドンチヤン騷ぎをする時は米國人は果して如何なる考を起すであらうか、誰しも不愉快に感ずるに相違ない、若し日本に居る米國人が獨立祭を盛んに祝つて天長節には知らぬ顏をして居つたら何うでせう、感情を害するのは當然です、余は此點を特に米國や加奈陀に在住の日本人に注意して貰ひたいと思ふ、勿論日本人は何處に行つても日本人であるから天長節を大に祝すべし、底拔け騷ぎをして祝すべしだが米國に居る以上は獨立祭も大に祝すべしだ、畢竟獨立祭に限らず、萬事斯くの如くにして初めて日米の親善を保持し、排日の聲なぞ聞かないやうになり、凍氷へふ暖かな風が太平洋上を吹くのである。

▼白人に痛棒を加ふ

此の議論は日本に居住して居る外國人に對しても言ふので、某外國宣教師が共和國民は他の政体の國民より以上に福祉を享くべく、神の御心も此のレパーブリックに存すべきものであると說教したと聞いて、余はフォース、ヂユライの日に某教會堂で、怪しからぬ宣教師が居る、ソンナに共和國が有難いならサツサと歸り玉へ、日本には一日も居つて貰ひたくないと一大痛棒を加へてやつた事がある其時居並ぶ外國人は一同感じて聞いて居つたやうだつたが、後から却つて日本人間で、新渡戸は紳士としての雅量のない男だと攻擊された、然し余は斯かる不心得な外國人が日本に居ると常に遠慮なく攻擊する積で日本に居る以上は米國人でも英國人でも温順しく日本の國体、風俗習慣に隨順すべく夫れが出來ないやうならば日本に居て貰ひたくない、夫れと同樣に米國や加奈陀に居る日本人も米國や加奈陀の國体風俗習慣に隨順して居つて欲しい、又た如何に米國や加奈陀の國体、風習に隨つて居たからとて大和魂が無くなるとか愛國心が薄くなるやうな事は斷じてない筈、若し夫れが爲めに無くなるやうな大和魂なら眞の大和魂といふ事は出來ぬ。

▼排斥思想を排せよ

一体排斥思想なるものは大にしては世界の平和を害し國民の發展に至大の障害を與ふるものである

米國と言はず加奈陀と言はず、一般在外の日本人はともすれば此の忌むべき排斥思想を抱き易い、往々にして御國自慢が初まり日本帝國臣民といふ事が鼻に附き易いのみならず、外國人と見れば一も二もなく毛唐を呼び、一種卑んだやうな考を以て接せんとするの傾向が何うしても止まない、素より今日の日本人としては御國自慢もしたくなるであらう、然し夫れを口に出したり、色に表はす事は在外日本人としては特に謹しまねばならぬ、如何に日本贔負の外國人でも面と向つて日本の自慢ばかりされると癪に觸る之は人情の自然であるから注意しなければならぬ。

▼自縄自縛の愚

夫れから同じ排斥思想の中でも二つに分れる、例へば甲と乙とが或る會社の社長とか、學校の校長とかいふ地位を爭ふ場合に於て甲は乙を適材として推薦し、乙は甲の人物を賞揚して推さんとして互に謙遜の態度に出づる、是れは見上げた紳士的態度で、斯くありたきものであるが、夫れが稍下等になると盛んに自己の學歷、經驗等を吹聽して自ら自己を推薦せんとする、之れが今一段下等になると自己を廣告するのみならず、他の競爭者を盛んに罵倒して、彼れには斯の如き失敗があるとか欠點があるとか吹聽し廻るのであるが、何うも在外の日本人は此種の弊に陷り易いのは實に嘆はしい、是れが若し米國に居る日本人が悉く米國人を排斥し、日本に居る米國人が擧つて日本人を排斥するやうな事があつたら夫れこそ大騷動で、排斥せんとしたものより却つて排斥されて、日本では排米熱が盛んになり、米國では排日思想が益々高くなる、其結果は卽ち平和を害し、又た海外發展の途が杜絕さるゝ事となる、日本政府が米國や加奈陀への渡航を禁止したのも一に排日思想の結果で、其排日思想を米國人や加奈陀人に抱かしめたのは何であらうか、斷言し得ないとしても確かに在外邦人が盛んに自己を廣告したり他を排斥した事が一の原因となつて居る事は爭はれない事實であると思ふ。

▼鄕に入て鄕に從へ

然らば在外邦人は如何にして自己の在留して居る國人との間に平和を保ち、福利を增進せしむべきかといふに永住の考を有して居るならば須らく其の土地に同化して仕舞ふべきである、有理も猶太人や伊太利人の如く全然自己の本國を忘れて仕舞つてまでも同化せよと言ふのではない、夫れから子弟の教育、夫れには先覺者の等しく頭腦を惱めて居る問題であるが、余は日本の在留外人が其の子弟を本國に送つて教育を受けさせて居るやうに、何うしても日本内地に於て教育せざれば完全とは言はれない、己むを得ない事情の下に米國若くば加奈陀にて教育を施さゞるべからざる境遇の子弟に關する教育に就ては別個の意見を有して居るが、餘りに長くなるから次回に讓る事とする。

▼胸襟を開て語れ

最後に在米在加の同胞に注意したい事が今一つある夫れは江戸ッ子の所謂ざつくばらんでない事で何うも日本人は思ふ事を十分に話さない、控へ目勝ちとでも言はうか、斯くの如きは特に米國人は嫌ふ、互に胸襟を開いて語り親密に交際する事を努めて欲しいものだ、何うも互に城壁を設けて居るやうで、而かも米國人に言はすると日本國とは交際し難いと言つて居る、が實際に於て日本といふ國は世界的になつても國民はまだ何うも世界的にならないやうで實に殘念だ、在外の日本人が先づ世界的になつて欲しいものである、た芽出度い新年に際して餘りた芽出度い事も書かなかつたが、良藥は兎角口に苦し、帝國將來の發展と威信とを双肩に荷つて起つべき在米在加の同胞諸氏に、新春の劈頭に於て敢て如上の警告をよく味はつて貰ひたい、是れ余の切望する處にして偶然にも大陸日報新年號を藉り得た事は、又た余の大に光榮とする處である（文責在芳外）

謹賀新年

東洋貿易會社
晩香坡支部

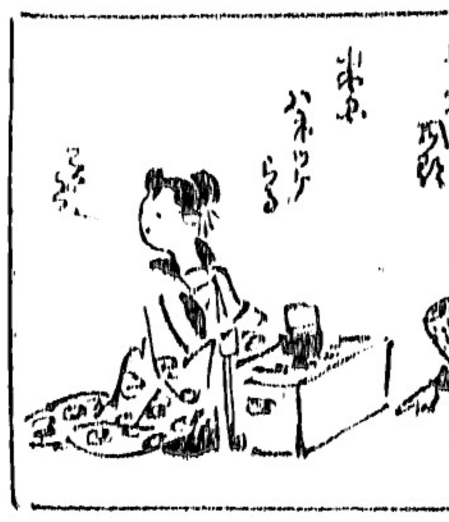
社長 高橋徹夫
支部長 小川定吉

四十三年の回顧

最も多事なりし庚戌一歳の經程を追懐すれば、感慨懐々として盡きざる也

▲一月

サバートンの同胞遭難事件後に惹起せる紛擾裡に庚戌の新春を迎たる人心猶々騷ふて新ならず、賢愚相爭ひ、功罪相是非し、鷗鷺各自に飛び、同胞漸く其歸趨に迷ふ。日本食同盟成り、僞手形行使事件の紛擾を捲して起り、時に功を納むるに急なる四五の徒は其機關紙を使嗾して論爭を極む、兩派の間に介在せる大陸日報は冷靜的態度を保持するに努め、サバートン遭難事件の經過に就て「事件の眞相」を縷述して同胞に檄する處ありしなり。斯くて山崎永尾對加奈太新報加奈太毎日の誹毀訴訟は提起されて暗闘漸く激烈となる間に遭難負傷同胞に對する損害賠償金協定あり、十八日新に岡山縣人會の創立を見る。誹毀裁判は着々として進捗し行く。中米の戰雲霽れずして暗澹、英國政戰は日を經るに從つて激甚なり。佛國に大出水あり慘害一億五千萬弗を計上し世界新聞社長サーラー氏ダグラス氏を敗つて市長の椅冠を獲得し、東洋の天地は滿洲問題に平靜は破れ、米國々務卿ノックス氏の滿洲鐵道中立案は日本政府の峻拒する處となり唯だ列强の嘲笑を購ひしのみ、二十四日クラックストンに大火あり同胞家屋四棟燒失の報あり、スチブストン漁者團体は減税請願書を故國に送つて輿論の喚起に努む。

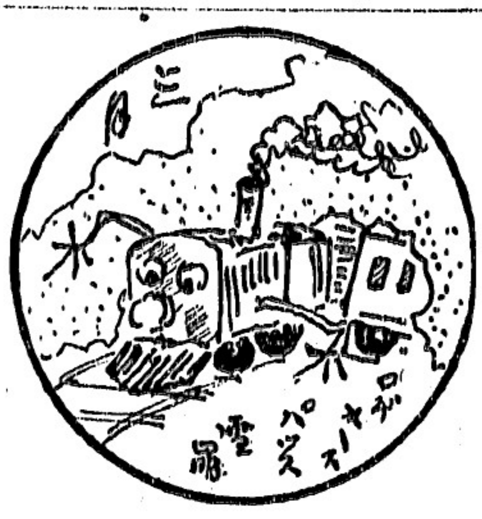


▲二月

訴訟事件は是非の論難喧しき間に進行し、三日警察裁判所に於て「被告加奈太新報に關する誹毀の裁判は重罪公判に移す」との判決あり、越へて八日又た「被告加奈太毎日新聞に關する誹毀の裁判は來るべき重罪公判に移す」の宣告ありて一段落を告ぐ。形勢日に非なるを見たる一部徒黨は無賴漢を驅陵、本社を襲ふの醜を演じて却て恥の上塗に了る。更に二萬弗損害賠償事件或は刑事誹毀訴訟等數ふべからざる訴訟事件の續發して世論囂々混亂更に一段を加ふ。佛教々會は信徒總會を開いて新會堂建設を決議し、日本人會は懇親會を開催して結盟鞏固たり、鯡漁終了期近づいて多少の漁獲ありしも失敗を補ふに由なく遂に敗殘の歴史を綴る。辻强盗隨所に出沒し同胞此の難に遭ふもの續出し、無賴の徒日本料亭を荒し廻るなど同胞社會漸く多事ならんとする時、オタワ議會にボーデン氏の加奈陀海軍政策變更建議あり、日清新郵便協約の締結と共に、我二十六議會の政府提出豫算案の通過あり、英國陸軍の軍用飛行船完成は列强軍事當局者の注意を喚起するに至れり。最も吾人の憂慮せるはビー、シー州議會に於けるホウソンエートン氏提出の東洋人學童隔離を目的とせる公立學校改正案の運命如何の問題に在りしも幸に否決されて豎子をして名を成さしめず。

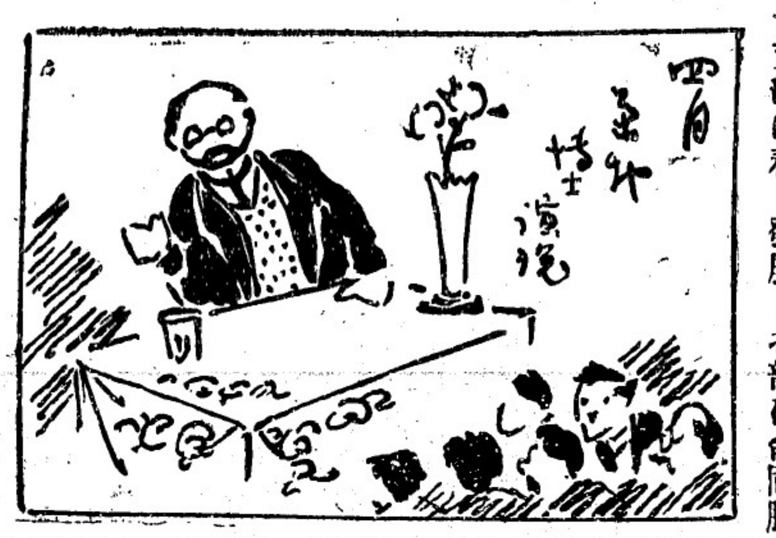
▲三月

州議會の一問題たりしカナデアンノーザンの日傭勞働者使傭禁止條項問題は要するに在加同胞と沒交渉に了り。大陸日報社は矯美團興行に際し觀劇券を發行す、加奈陀日本人會に反感を抱ける一派は對抗すべき何等かの新團体を組織せんとの計畫ありしも遂に沙汰止みとなる。レベルストックに古屋君兇行事件起る、各地に雪崩あり旅客等に警戒する所ありし際、ロヂャース、パッス大雪崩の椿事は同胞三十二名を斃す、報加はるに從つて慘禍更に加はり各社特派員を派して通信慰問せしむるなど哀悼の聲滿つ。六日夜パウエル街頭に兇行事件の惹起し加害者は何處にか逃走す。雪崩事件の善後策に就てはサバートン事變の紛擾に鑑み同胞極めて冷靜に當事者の行動を監視するの態度を執ると同時に慘死者埋葬あり暫くは忙殺されて他を顧みるの餘裕なし。上田黑潮我社に入る。三井派の加奈陀農業經營の快報傳はる。十九日スチブストンに同胞溺死のあり次で同胞自殺未遂事件起る。日本人會はスレンヂ、ホールに創立一週年紀念祝賀會を擧行し更に舟遊會を催し會員鼓腹して洋々たる前途を祝す。廿七日夜ナ、イモの同胞キャンプ二軒燒失し廿九日同胞小兒轢死の不祥事あり。我母國にありては外交不振を叫んで新政黨樹立され、大吹雪千葉茨城兩縣の海岸を襲ひ横濱大火あり日米協約の浮説流れて論壇時ならぬ嘲笑の聲擧る。



▲四月

東洋學界の泰斗京大總長菊池大麓男は紐育の市民講演の使命を全ふし歸途在晩同胞を訪ふ。温情溢るゝ慈顔に接し、先生は『犧牲的精神』の尊重すべきを教へて去る。加奈太新報社は二千號紀念祝賀を擧ぐ。同胞刃傷事件起り又も加害者逃走の不祥事を繰返せり。雪崩遭難慘死者及び故海老澤南洋氏の追弔會開かれて幾許ならず米國文壇の華たりしマーク、ツエイン氏歐洲の文豪たる那威のビョルンソン氏共に白玉樓中の客となり國葬の禮を以て葬らる死して尚は餘榮あるもの歟。當代の流行兒ルーズベルト亞弗利加狩獵を了りて歐洲各國を歴訪するや帝王の禮を以て歡待さる彼の得意想察に餘りあり。貴族院議長德川家達公明敏の資を以て歐米文物を視察せんとし二十七日美港に到着せしと雖も在留同胞は親しく謦咳に接し得ざりしを恨とす。日本人會スキーナ支部は着々發展し北部在留同胞の團結的中心たらんとするの曉光を認めらる。

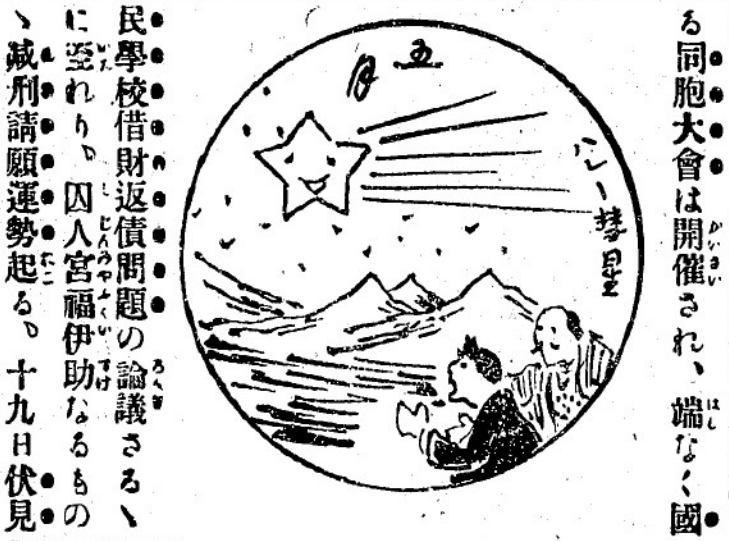


▲五月

佛教々會は信徒總會の決議によりアルバート街に新會堂敷地を購入せり。二三青年の企圖せる雜誌青年生る。重罪裁判は高等裁判所に開始され同胞誹毀事件も共に審理さる。商業組合は積弊を一掃せんが爲めに債務者に對し所謂三ケ月猶豫を斷行するに至れり。同胞溺死事件あり。又た青森市祝融子に襲はれて慘状を極むるの報あり。總督グレー伯議會に告別演説を爲す。テームス河畔新綠將に滴らんばかり生々の氣英京の滿街を罩め居らんを驀地何の悲報ぞや。愁雲バッキングアムの宮苑を閉して締盟國元首エドワード第七世陛下は『吾は吾が責任を盡したり』の一語を殘し突如眠るが如く崩御遊ばさる、天下悉く哀悼の聲に滿ち陛下の覇業を追憶せざるなし。人類の終焉世界の破滅と騷がれし天界の怪魔ハレー彗星は沈默の裡に去來し、笑止や近世科學の價値なきを語りしのみ。一夜海暴れ風怒り出漁中の同胞漁夫凍死するの椿事起る。ロヂャース、パッス雪崩の慘禍に同情せる沙港同胞は義捐金を送り來る。何事ぞ、在晩同胞の多くは之を冷眼視せんとす是れ殆んど主客轉倒といふべし。間もなく日本人墓地清掃問題起り大袈裟な領事の『布告』とやら飛び出し、同胞の辻强盗、少女の轢死及び大北鐵道ギャングの同胞慘死等碌でもなき事頻出す。白瀬中尉の南極探撿の計畫傳へられて幾何ならず南極探撿家シャックルトン夫妻來晩せり、意味あるが如くに感ぜる愚劣なる英艦世界巡航說に次で吾人を驚かしたるは我學界の恩師コッホ博士逝去の報なりとす、博士の婢『花さんと語るの記』を載せたる我同人の感慨や無量。

▲六月

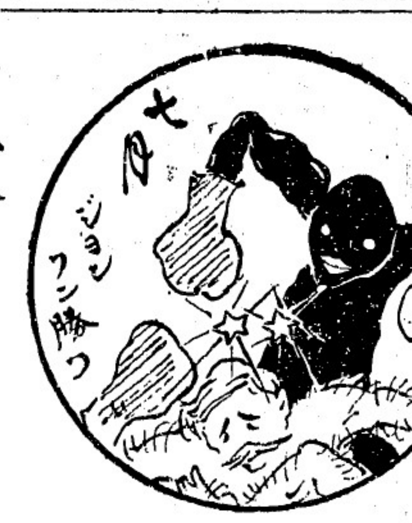
幾多の紛擾を重ねたる大北鐵道サバートン事變の慘死者遺族救恤金はフリーン氏渡日し取調の上千圓乃至三千圓の扶助料を支拂ひ漸くにして該問題は落着を告げたり、先に十年の懲役に處せられし古屋君は遂に發狂す。清新なる趣味を求めんとする青年有志によりて日本體育倶樂部は生れパウエル街グラウンドに飛球の響絶へず、アーダグローに血塗れ騷動あり又たクイン、チャーロット島に殺害事件起る。日本人墓地清掃問題に關する同胞大會は開催され、端なく國民學校借財返債問題の論議さるゝに至れり。囚人宮福伊助なるものゝ減刑請願運動起る。十九日伏見若宮同妃兩殿下は歐米漫遊を了りての歸路シャトルに御安着遊ばされミネソタ號にて歸途に上らせ給ふ。當代の流行兒ル氏は歐洲巡遊を了り熱誠溢るゝ歡迎を受け悠然として紐育に入る。間もなく印度バロダ王一行の來晩し速に去る。晩市の一問題たりしフヲールス、クリーキ鐵道問題は市民投票の結果遂に反對派敗る。パウエル街梅園に又も不祥なる刄傷騷ぎあり。東條書記生白耳義日本公使館より轉任し來る、世界の上より算ふれば南阿聯邦政府成り、清國革命黨の爆發あり、加奈陀の哲學者スミス氏逝き、英國皇帝の皇太子册立あり。



六月の加奈陀
大北鐵道遭難

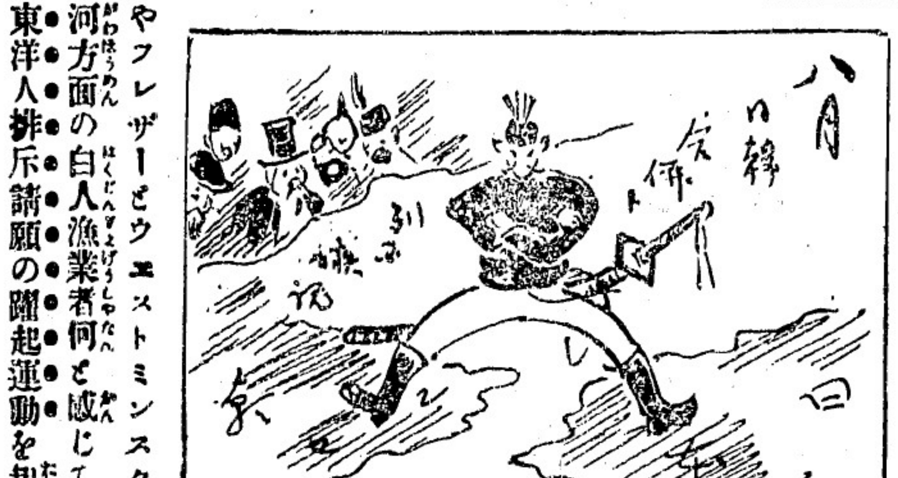
▲七月

サカイ鮭漁期開始され北部地方の好況を傳ふる頗りなり。氣樂な閑人相集りて謠曲大會は開かれ、又た日本人音樂隊成らんとして成らず、五日スチブストンに大火あり同胞の被害些少に非ず。米國ネバタ州レノー市の拳闘は必勝を期したるジエフリー哀れ一敗地に塗れて白人唖然自失爲すを知らず黑奴ジョンソン徐ろにゴールデン、スマイルを浮べて去る、無念骨髓に徹せる白奴の八ツ突りは忽ち各地に慘凄たる黑白人種の爭闘を惹起し拳闘活動寫眞中止されて寫眞會社縮み上る。首相ローリヤ卿の西下は勞働派の躍氣運動となり再び日本移民問題騒がし、代議士望月小太郎氏は夫人カヨ子を伴ふて外遊の途次來晩す、未來の外相を夢みし當年の望小太哀れや老ひて令聞徒らに艶也。ナ、イモ鰊のライセンス制限問題起り日本人鰊業者は總會を開いて今後の方針を議するなど稍や狼狽の狀あり。鐵道工夫の缺乏し加奈陀移民當局は窮餘歐洲移民に手加減を加ふるに至るも東洋人は依然として排斥。廿日夜ナ、イモ同胞キャンプ燒失す、減刑請願何等の效なく宮福伊助は廿二日州監獄の絞首臺上に消ゆ、人の將に死なんとするや其言やよし涙を揮て書ける彼の懺悔錄は人を戒むるに足る。同胞自殺事件起る。ハイスクール入學試驗執行の結果同胞五名合格す。ジー、テーピーの鐵道工夫缺乏の報あり。國民學校生徒間に少年會成る。矢田領事山東三州の視察を了りて歸來し撫然嘆じて曰く『山東の農業は遂に失敗のみ』と。日露新協約締結さる。



▲八月

一日早朝又もパウエル街に同胞少女の轢死事件起る。間もなくエスクワイモルト軍港に大尉狙撃事件の凶報出づ同胞の一色情狂者行衛不明となり。小泥棒出沒して同胞を惱ますこと頗りなり、碌な事無かるべしと思はる。俄然紐育市長ゲイナー氏銃擊され、母國大洪水の悲報至る、蘇格蘭エデンバラの萬國宣敎大會を了りて歸朝の途次日本美以派監督本田庸一氏來晩す昏睡的狀態にありし日本人基督敎界は之の注射を受けて稍や覺醒したりと雖も監督一度去れば風雨一過何物をも止めざるに似たり。第二回北米記者大會開會さる各地より參加するもの多く相互の懇親と各地の連絡とを結び兎も角も成功を齎らし得たり記者大會開催の時を同うしてシャトルの晩市觀光隊來る、同胞亞片密輸入事件を惹起したるも幸にして無事、加奈陀首相ローリエー氏來晩し歡迎に忙殺さる十六日夜の大會席上首相亞細亞人問題に就て懸河の辯を揮ふて論議縱橫、盲目者流に敎ゆる所ありき、白耳義ブラッセル府の萬國博覽會場出火の報至る、第一回晩市共進會は首相臨場の上正式に開會せり。大久保牧師態々米國加州より來り『加州排日の眞相』を論述した代價に寄附金を得て歸る。サルモの同胞キャンプに於て同胞一名慘死の椿事起る。幾百年來の宿題たりし韓國問題は遂に解決さる即ち二十二日我が聖上陛下と韓皇との間に日韓併合條約の調印を了せられ二十九日を以て列强に向つて公表されたり、韓國獨立熄んで韓半嶋は日本皇帝陛下の統御の下に屬せり。イーバンに刃傷騷ぎありしも穩便に事濟み。今春以來の一問題たりし日本人墓地清掃問題は委員等の奔走により解決を告げたり。ウエクトリア市の日本人商店燒失す。



▲九月

濃霧の爲め同胞漁船衝突の椿事あり二十有餘年日本に在り基督傳導に從事せるコーツ博士來る。ステブストンの日本小學校問題は幾多協議の結果設立すべきに決せり。感ずる所ありて立石紫灘漁者團体理事の職を辭す。美港に同胞慘死事件起る。ロージャス、パッス雪崩に關する聯合八團体は殘餘金を以て墓石建立に決定し。角佐六氏馬に蹴られて慘死を遂ぐ。前統監曾禰荒助子は極東百年の大計漸く定まるの時溘焉易簀す何等の遺憾ぞ

（前頁より續く）

晩香坡商業組合は積弊を一掃せんが爲め總會を開いて賣價一定及び現金販賣を議決す。加奈陀製造業者大會は晩市に開催さる。日本社會主義者我が　聖上陛下暗殺の陰謀を企てゝ露顯すとの驚愕すべき飛報に接し世界の耳目を聳動せり。二十三日にもナ、イモ同胞キャンプ四軒燒失の椿事起り二十六日再び同胞キャンプ三軒燒失の不祥事起る。新西院評會設立され。日本人牧師會開催さる。イーバンに同胞少女溺死事件あり。市俄學校卒業證書授與あり卒業せる同胞僅に三名のみ。米國太平洋沿岸各市の醜窟に大檢擧行はれ日本人にして捕縛さるゝ者少なからず。

▲十月

英國貴族パックストン氏特に米國太平洋沿岸在留同胞傳道の爲め俳尾氏と共に來晩し沈滯せる宗敎界は稍や活氣を呈し來る。紛擾を極めし彼の晩市事件は幸にも各自合議の上之れを撤回し漸く平和の光りぞ閃く。識者が批判せば或は幾多の異論あるべしされど時代の趨勢は徒らに蝸牛角上の爭鬪を敢て爲すを許さゞるものあるに非ずや社會的交渉を離れて歡笑の裡彼我相利せんとて晩話會成る。同胞職工事件ありしも圓滿落着し。先にクイン、チャーロット島の殺害事件被告は無罪となり。大幹太平洋鐵道は州政府に東洋人使傭請願書を提出し閣議に上りしも遂に不認可となる。久し振りで國民學校の會計報告發表されしが一向に要領を得ず非難の聲騷し。大陸日報社は廣く江湖に五家投票を蒐集す北晩市に就働の日本人慘死し。米國華州オリンピアの自製爆彈を以て日本人を殺害せんとの陰謀發覺して邦人狂喊を發る。二十日又たもやナ、イモ同胞キャンプ三軒燒失す他人と雖も其餘りの火災頻出に奇怪の眼を注ぐの時ナ、イモ漁業組合は總會開催の結果五百弗の放火犯人搜索懸賞を發表せり。日佛敎會は新會堂建築に着手し日本人會は定期總會を開く。

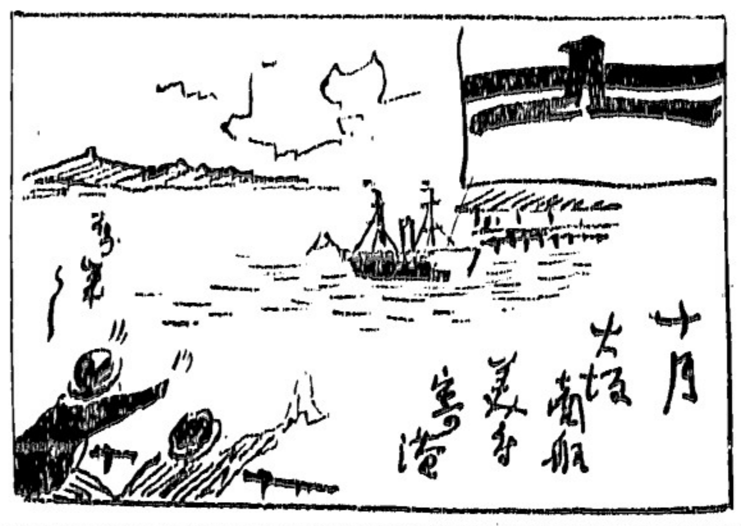
▲十一月

天長の佳節に際して忌はしき同胞の刄傷事件起り加害者三ヶ年の苦役を宣告さる苦々しき極みと云ふべし。ナ、イモのキャンプ燒失事件は放火の疑ひあり裁判開始せ同時に一同胞逮捕拘禁されしも數回審理の末證據不充分にて無罪放免。パーネットソール就働一日本人慘死の椿事と前後して一不德漢の千五百弗持逃事件起る。日本人會主催天長節祝賀會は七日夜擧行さる。加奈陀海軍創設と共にエスクアイモルト軍港を英國海軍は正式に加奈陀政府に引渡せり。一邦字新聞社長歸朝に際して妻女の爲めに訴らる妻不貞の嘲を免れつゝ夫不信の非難を免れず。サツパートン敎會牧師某餘儀なく辭職す宗敎界の爲め却つて喜ぶべし。鰊漁業ライセンス讓渡禁止さる。大北鐵道事變の八團體聯合の慘死者墓石建立す。大幹太平洋鐵道の蘇格蘭人移住失敗暴露す。世界の文豪にして哲人なる露國の杜伯爵逝く。巡洋艦レインボー號晩市に回航し來る玩具に等しき小艦一隻の來航に熱狂せる市民の雅量(?)は茶話の好資料たり。白瀬中尉の南極探險隊出發の情報來る、好漢果してよく成功するや否や。

▲十二月

赤川傳道師來る前任者の失敗を繰返す事勿れ。矢田領事何の感ずる所ありけん談話會員其他の青年を招待して半日の歡會を催す。日本蜜柑の輸入始まり毒虫あり捨棄さるゝ物少なからず。鰊不漁一般に憂色漂ふ。ヘステングス、タウンサイトの併合公民の贊否投票は併合贊成派多數を占む多望なるは晩市の將來ならずや。市會選擧は日を追て混亂たり。世界時事の上より謂へば米國大統領の書出でゝ米國太平洋岸防備急要說流布する半面に米陸軍費節減說あり。英國皇帝ジョージ第五世の治世に於ける第一回總選擧は遂に自由黨依然優勢を占め紐育の社會黨大會は幸德一派の減刑運動を起し。米國華州の婦人參政權の許認と同時に婦人陪審の新制度出づ。米國銀行家の淸國鐵道五千万弗借欵引受に關し財政顧問派遣案は淸國政府の拒絶する所となり畢竟米國の失敗に了る、滿州鐵道中立案失敗と好箇の一對を成す。オタワ議會にバーナード氏の漁業禁止案提出されて忽ち社會一問題となる。斯くて庚戌の歲流れ行くなり。

（十二月二十五日稿）



十二月
漁業禁止案
ライセンス
ライセンスの取上ゲ
M.I

謹賀新禧
パウエル街二七〇
朝日屋旅館
館主　谷口熊太郎
電話　二〇六七
郵函　二二八一

賀正
エー、イー・サツクリン商會
日本人部主任
榎本恒治

恭賀新禧
古物賣買商
パウエル街一二二
茅原古物店

恭賀新禧
パウエル街二五一
朝日精米所

恭賀新禧
併祈各位之萬福
カナデアン、シーダー、ランバー會社
稻田惠壽

恭賀新禧
ユーコン街二〇三〇
新納清太郎

謹賀新年
ウエストミンスター街一二二五
田鍋洋服店
田鍋與市

恭賀新禧
パウエル街二三一
齒科醫　蒲原石雄
電話エル六九九五

恭賀新禧
醫師
岩下繁
パウエル街四六九
電話　六二七

恭賀新禧
内務省免許産婆
大澤もとえ
パウエル街二三一

恭賀新年
ウエストミンスター街六〇七
相田洋服洗濯所

恭賀新年
大日本茨城縣人
永尾唯一

恭賀新年
新井洋服店
ウエストミンスター街一二八

恭賀新年
田中洋服店

恭賀新年
ウエストミンスター街一二八
有門寫眞館

恭賀新年
パウエル街四二一
東郷桂庵
中西兼吉
三宅隆吉
電話三五八七

日本の政機と四大政治家

（桂侯と西園寺侯と山本伯と寺內子）

やまと新聞社專任理事　臼田亞浪

近者閑人あり猥りに桂內閣の危機を傳へて早くも新內閣の顏振れを揣摩し來る、而して之れが首班に擬するに寺內子を以てし、西園寺侯と山本伯とに至りては世多く之れを問ふ者無く、人氣は獨り寺內子に集中しつゝあるを見る。

惟ふに桂內閣は果して爾かく瓦解の危機に際會しつゝあるや否や、また寺內子は果して爾かく絕大の勢力を蓄積しつゝあるや否や、殊に西園寺、山本の一侯一伯は果して爾かく無氣無力の境地に跼蹐しつゝありや否や、道聽途說必ずしも眞ならず、而もまた未だ必ずしも眞ならずとせず、唯吾人は吾人の信ずる所を叙して當否は之れを他日に徵せんのみ。

吾人桂侯を評すらく「桂侯は最も利巧なる政治家の一人なり」と、然り桂侯の運命推策は最も利巧なる政治家の通り口にして、更に一步の加ふ可きなし、彼の逝ける伊藤公にして八方美人主義の人なりとせば、桂侯は之に輪を掛けたる十六方美人主義の人なり、伊藤公は維新の元勳にして大久保卿の後繼者として至尊の恩寵また並ぶ者無く、殆んど王者の勢威を持して天下に臨めるに拘らず尙は且つ其の一將だも陸海軍に觸るゝを得ず、實業界また其の勢力圈外にあり、唯だ僅かに大倉氏等の命を聞いて奔走せるありしのみ、翻つて桂侯の現狀を察するに其の出身の軍人たるに由來して陸軍は其の大なる後援者たるの事實あり、海軍また山本伯の默許を與へる結果として必ずしも意の如くならざるにあらず、實業界に至りては夙く其の多數者を自家の藥籠中に收め、今や非松附侯に媚するの勢力者として根抵漸く深からんとす、而して政黨操縱は代々の官僚政治家の難せる所にして伊藤公の如き終に多年の主持を一擲して自ら政友會に總裁たるの已むを得ざるに至りしも、最も利巧なる桂侯は最も利巧なる政界の一として一視同仁てふ好辭柄を捻出し、依つて以て各派の操縱に便すると共に、西侯に對する政策踏襲の經緯に由り所謂附かず離れざるの關係を持保し多數黨をして全く拔き去る能はざらしめたり、殊に貴族院は歷史的に其の勢力圈とし、毫も介意すべきもの無きに拘らず談話會の漸く大ならんとし木曜會の叛形あるを察するや默々の間に之れを粉碎してまた爲す無きに至らしめ、政友派をして暫らく意を上院に絕つの餘儀無きを悟了せしむ、流石に利巧なる人の利巧なる遣り方なるに負かずと謂つ可く、其手腕の老來圓熟して、些も斧鑿の迹を留めざる其の識見の深く透徹して克く大所に謬らざる其の施策の概ね肯綮を得て、治蹟の制合に見る可きものある、其の關係の意外に廣くして到處に瀰る馭者の妙なからざる而して將來尙ほ多くの希望を存して態度の悠揚迫らざる、眞に古今の第一人たるの槪あるなり。

既に然り、桂侯にして政權に厭かざる限り、現內閣の壽命は尙ほ幾年を保つの餘力あるを疑はざるも利巧なる桂侯は一個の剩せる大元老の地位を首尾能く贏ち得んが爲めに早晚必ずや退隱す可きを信ぜんとす、時人或は英國に對する關稅問題の行惱みを以て外交の一大失敗なりと做し、內閣の運命最早や長からずと憶測を逞うする者あるも、該案件は僅かに二百五十万圓の問題のみ、豈に夫れ變讓の餘地無からずとせんや、日ならず之れが解決を見るに至らん乎、其の他の治水問題の如き、海軍擴張問題の如き、大は則ち大なりと雖も、斷じて內閣の危機を孕める問題とすべくもあらず、唯だ彼の鐵道廣軌改築問題が其の財源を公債に依らざる可らざると比較的不急の事業たるとに因り多少の論爭を見る可きも、既に木人土偶化せる政友會の徹底正面より抗爭すべくもあらず、縱令下院に敗るゝ事ありとするも、尙は上院の存するあり、最後の勝利は逆睹するに難からざるなり、或は鐵道公債の募集を以て公債政策の矛盾を非議する者あるも、斯の如きは鐵道特別會計法を一顧をもせざる昧者と謂ふべきのみ、吾人の持論よりすれば桂侯は暫らく現狀に甘じて海軍擴張に一層の力を注がん事を勸奬するの時宜に適せるを信ずれども、今は唯だ鐵道問題の內閣の危機を釀するが如き危險なる酵母にあらざるを論斷して止まんと欲す、要するに瓦解の機眼前に迫れるが如く云爲するは、短見者流の極めて早計なる臆斷なり。

所謂高等批評家の多くは、西園寺侯を以て性來政權に恬淡なる高人と做せるも、西侯必ずしも政權に恬淡ならず、唯だ其の明智なる現代の政情を査察し來りて、爾かするの却つて自家の聲名を全ふする所以の理路たるを知り、已むを得ずして然るに至れるのみ、政權に渴せる黨人の一輩が黨員たる西侯の餘りに八面玲瓏に、また餘りに悠々閑たるに氣を苛ち、濫りに躍起的言辭を弄するは其の性多少の憫了すべきものあるも斯くの如きは畢竟黨首の心事を知らざる瘦犬の遠吠と謂ふべきのみ、時に或は西侯の施策に累する莫きを保せざるなり、政友會大は即ち大なりと雖も、無爲無策の久しき、民望昔日の如くならざるに、加へて外には黨勢擴張に銳意せる國民、中央兩黨の常に攻勢を取りて寸隙の乘ず可きを俟てるあり、內には色彩の雜多なる異分子の互に小分派を形成して抗爭排擠に沒頭するあり、若し夫れ一朝大浦、後藤兩男の起つて黨界に呼號するあらん乎政友會の一角は招かずして來り投ずるを疑はず、知らずや、政友會の今尙は多くの威力を示して黨界に嶄然たる所以のものは一に多數の頭顱を下院に有するが爲めるのみ、苟も一度び過半數黨たるの實を失ふ事あらん乎、忽ちにして土崩瓦解し去るまた未だ知るべからざるなり、況んや頹勢既に明かに漸く惰力に活けるの觀あるをや、吾人をして政友會の爲めに圖らしめば唯だ是れ隱忍一方政府者の誘拐を防ぐを怠らざると共に他方國民黨の非官僚分子と眞實なる握手を變換して之れを羅致し彌々益々基礎の堅固に努力するを可なりとせん。

寺內子が其の腕前を上げたるは決して一朝一夕の事にあらず、多年歷代の陸相たる間に於て議會の驅引に政黨の操縱に克く內外政機の活殺に練熟したる結果に外ならずと謂ふ可く、日韓併合に際して寸分の拔目無き素より怪しむに足らざるなり、而して背後に陸軍てふ絕大の勢力を有するのみならず、或は後藤男の如き或は仲小路氏の如き有力なる味方の存するあり、殊に政友會內閣に陸相たりし關係上其の交情の惡しからざる、時に爲めにせんとする者の乘じて以て桂內閣の謀叛人と做し、政友會と通謀して內閣を乘取らんとするの意ありと蜚語するの例あるに見るも之を知るに難からず、唯だ吾人は世說の如く寺內子が桂侯と何等感情の離反せる實無きを斷言して憚らざると共に、政友派に對してまた格別の深緣有るに非るを確信する者なり、されば將來桂侯にして退隱せば其の後繼者は寺內子を措て他に之れを索む可らず、此の一事途說尙ほ聞く可きものあるを思ふ、山本伯一世の雄たるを失はずと雖も、僅かに海軍を其の手中に握れるのみ且つ統領の株としてもまた寺內子の要領を得ざるが如くにして要領を得たるに一步を讓らざるを得ず、眠れる獅子は竟に眠れる獅子として永久に跳躍の機會あらざるべく、噪象は竟に克く天下を制するに至るべきなり而して西侯は燕雀の嘆狂を冷眼に見て終日南國に悠遊する孔雀の態を學び自ら勢ひの成るに至る迄は惟ふに雨聲會の陶庵先生として塵外に悠々乎たるや必せり。

（大陸日報新年號の爲めに特に之れを寄す、日本紀元二千五百五十三年十二月五日）

恭賀
新年

店主
寺倉桂三

（イロハ順）
伊藤友三郎
小保方新
加藤豊作
春日清利
中村友義
山森嘉吉
鮫島吉彥
木村庄太郎
曹桂彬

本年も
不相變
御愛顧
希ふ

寺倉洋服店
晚香坡市ゴーアアベニウ百三十番

寄書

九重の桐

理學博士　伊藤篤太郎

◎建國以來の國是を遂行し、隆々たる國威を朝鮮にまで普及し得て明治聖代史に光榮ある一頁を加へた此の芽出度い新年に當り、世界の學者を驚かすべき大發見を、是れも帝國の新領土たる臺灣に於て成遂げた理學者としての余の一世の幸福を、大陸日報紙上に於て、在外帝國の同胞諸氏に告げて、屠蘇を祝はんとするは、又た余の最も光榮とする處である。

◎大發見とは何ぞ是れ實に今日五千万の帝國臣民が擧つて聖壽萬歳を奉祝せんとする我が皇室に於かせられて菊花と共に御紋章として用ゐられて居る桐の新らしい種類が今度臺灣地方に於て發見された事である。有理も此事に就ては過般既に二三の新聞紙上に於て發表したけれども未だ外國の新聞や雜誌では發表した事がない。然し是れに關しての余の論文は實は近々倫敦に於て始めて歐米の學界に發表さるゝ事になつて居るのである故に此處では餘りに學々しい研究的に亘つた事は省畧して措きませう。

◎一体桐は世界にタッタ一種しかなかつたものであるが、今より四十五年前英國の植物學者ンオーサユレー氏が支那に於て一の新種を發見し、其後二十餘年を經て是れも同じ英國の植物學者ヘムヅレー氏が更に一新種を發見し、都合三種となつたのである。

◎元來桐は支那大陸に產するもので、現今日本にあるものも皆な支那より渡つて來たものを繁植せしめたものであつて、日本には桐の自然生のもの一種もなかつた、强て言へば今回余が臺灣で發見したものを日本の桐とも謂ひ得よう。

◎而かも余の發見した桐は從來の桐とは全然別種のもので、且つ自然生のものである、從來の桐と殊更に目立つて異つて居る點は、花の色が紫でなくて、純白で極めて高尚である、實も從來のに比して五六倍も大きく、恰度鷄卵位の大さで夫れは〳〵美事なものである又た其高さも數丈に達する喬木で日本が是迄世界の學界に向つて發表した植物中に於て最も大なるものである。此處に改めて特筆大書して措くが、世界中の桐は是れで四種となつた譯である。

◎昔英國の學者が遠科植物の新種を發見して之れを時の女皇ヴイクトリア陛下に獻上し、ヴイクトリアレジアと命名し、又ナポレオンの全盛時代に佛國の學者が阿弗利加に於て一奇樹を發見し、之れをナポレオン皇帝に獻納してナポレオナイレベリアと命名したる例にならい、余は此の目出度き桐の新種をば我が皇室に獻げまつりて

九重の桐と命名したのであるが、實に身に餘るの光榮と存じ、日夜此事を考へ浮ぶに就けても聖代の難有さに感泣して居る次第である。

◎更らに一言したきは此の「九重の桐」は花や實が大きくて美しいばかりでなく、其質も亦た極めて良好で、之れを臺地に繁植せしむる時は、必らずや立派な桐の林を作る事が出來るに相違ない、又た此の桐の發見に依つて日本は元亞細亞と地續きであつて、**亞細亞大陸**の東海岸が即ち**日本**であつた事までが一層明かに確かめ得らるゝのである、此事に關して他日更めて余の意見を發して大に學界に問ふ考へである、尚は余は此桐の學名は「パウルエア、ミカド」と命名した、詳細な點は倫敦で發表さるべき余が論文に就いて見られたい、何れ其節は米國や加奈陀の學界へも紹介さるる事と信じて居る。

梅花論

女鳥羽樓主人

▲勅題、寒月照梅花である、幽趣徐々として湧き來る、余記憶を辿つて書かんとするは、文學上の「梅花論」である。

▲泰西文學中のユキノハナに關する詩觀の大部分は、和漢文學に於ては梅の占むる處で、初春に缺くべからざるものとなつて居る。書經、詩經より既に早く梅の文學出づ。梅花天下に先ちて春を知らしむるは詩人の最も注目した處である、陸凱の「聊贈一枝春」とか、隋候夫人の「先露枝頭一點春」或は陳師道の「百卉到頭第一芳」などは春の先驅者たるを語るものであらう

▲「難波津に咲くや木の花冬籠り」と歸化人王仁の詠めるは正に梅花を指せるものと說くは疑ふべきである。彼の有名なる林和靖の「吟灸天下殆二百年」は梅を欽慕せるの語である、梅は如何なる點を貴しとする乎、范成大の梅譜に謂ふ梅韻を以て勝ち格を以て高しと、騷人墨客其淸香を賞して君子に比す、偶然に非ずである、蘇東坡が「詩老梅格在るを知らず」と謂ふ、遂に梅の爲に萬丈の氣焰を吐けるものである。

▲東坡は「殷勤小梅花、髣髴吳姫面」と、更に「幽懷不可畫」と。梅花の確に我が詩歌に詠せられしは葛野王の「聊乘休暇景、入苑望靑陽、素梅開素靨、嬌鶯弄嬌聲、對此開懷抱、優是暢愁情」と、柿本人麿の「梅の花さける岡邊に家居せば、またやまたかみ降り來る雪を」等を以て嚆矢とすべきであらう。尚は爾後和漢の變遷を美觀の方面に現はせる詩歌頗る多い。若し泰西文學の中より梅に關する詩歌を求めんとする者あらば必ずや失望する、梅花は東洋文學を飾る特有物であつて、他に求むべからざるものである。

謹賀新年
國民學校內
田中寅雄

謹賀新年
アレキサンダー街四三七
福岡屋旅館
鹽見音吉
電話アール二六九二

謹賀新年
パウエル街三六一
澁谷商店
郵函　二一九四

謹賀新年
パウエル街三三三
旅館業
賣藥店
石川勝造

謹賀新年
パウエル街四三三
三枝靴店

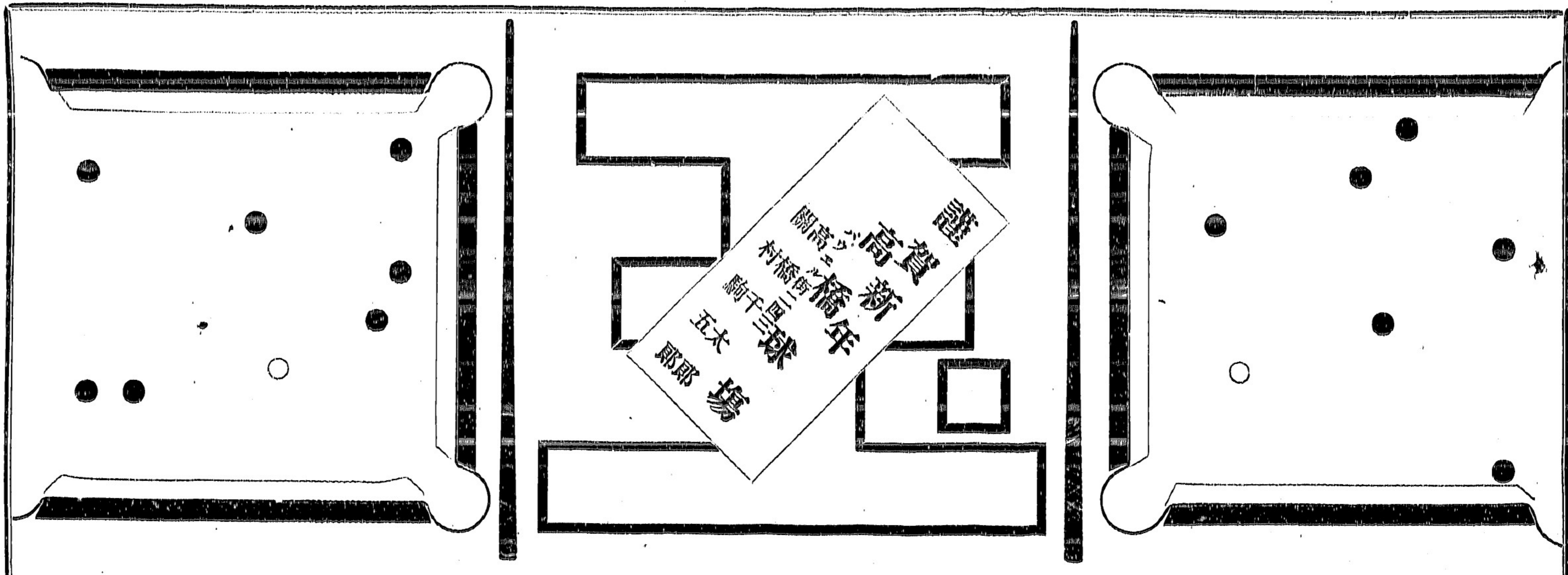
謹賀新年
パウエル街五四六
米田芳松

謹賀新年
立石角太郎
宮木繁

謹賀新年
晩香坡市西ヘステング街四十六番地
古屋商店
バンクーバー支店
客年中は御引立に預り難有御禮申上候尚ほ不相變御愛顧之程願上候
明治四十四年一月元旦

シャトル市南第二街二一六
古屋商店
タコマ市南シー街一三五五
タコマ支店
ポートランド市北第四街五一
ポートランド支店
シャトル市第二街一三〇四
シャトル支店

橫濱市元濱町一丁目五番地
橫濱支店
神戶市加納町四丁目十五番地
神戶支店
シャトル市南六街五一六
有泉商店


謹賀新年
高橋球場
[illegible]

謹賀新年
パウエル街三九七
田中球場

恭賀新禧
アレキサンダー街二四二
遊樂亭

異郷の新年

・・・墨西哥の新年・・・

晩香坡領事　矢田長之助氏談

私は明治三十九と四十年の兩度程墨西哥の日本公使館で新年を迎へましたが、當時は日本商店は僅か二三軒あるのみで、其他は家內勞働者が多少居た計りで新年と云つても別に何の事も無く、只公使館から墨西哥大統領の所に賀辭を述べに行く計りでした、新年と云へば餅や屠蘇を連想するが當時では屠蘇所か日本酒でさへ容易に手に入らない、日本の醬油でさへ漸くに相談をして配けて貰ふ位で、それもビール瓶一本が七十五仙もすると云ふ有樣でしたから、到底餅などと云ふ物がある譯がないので、少しも日本らしくない新年でした、最も今日では墨西哥博覽會などがあつて以來邦人が大分歡迎されてゐますから、從つて居住民も殖ゑ多少便利にもなつたらうと思ひますから以前の樣な事は無いでせうが、兎に角私としては墨西哥の新年は別に話しする程の事も無いのです。

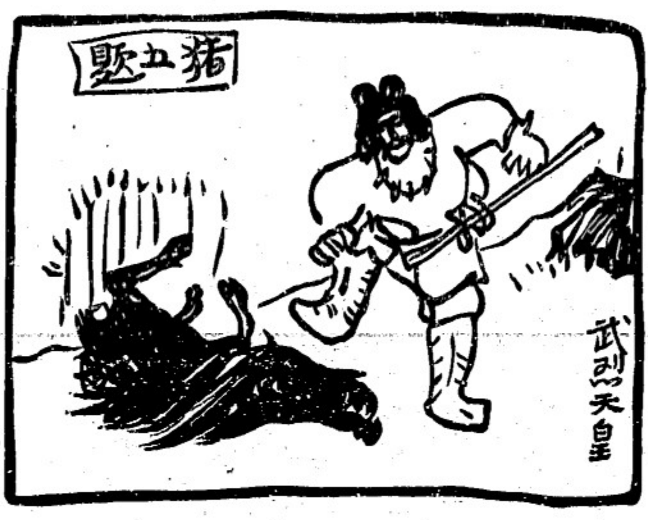
・・・オタワの新年・・・

在オタワ總領事館　今井書記生寄稿

當地方に於ける一般正月の模樣は太平洋沿岸とは少々趣を異にして居る感がありますと云ふのは外でもない、東部地方には佛人の系統に屬する人種が比較的に多く且つ勢力もある、此等の佛人種は「クリスマス」の祭日は平常と異なる事が無い代りに我邦と同じく正月を祝ふ事になつて居るから、元日は仲々賑やかで醉狂者の樣な者も大分街頭で見受けられ何となく陽氣な心地が致します、去りとて別段變つた遊び事などは見出さないが寒い所丈けあつて青年男女は當日戶外で氷滑りや雪遊びなど盛んにやります。夫に引かへ我々日本人は當日を如何にして過すかと云ふ事は貴地に於ても想像が及ぶだらうと存じます　昨年は當市の「クリスマス」を當込んで日本雜貨店を開いた一組があつて我々の外に在留民が三名あつたものだから、面白く年を迎へる事が出來ましたが、今年は總領事夫婦下女給仕並に小生共總計締めて五人の淋しい正月をせねばならぬと思ふて居ります、併し小人數ながらも正月の餅は紐育から取寄せ數の子ゴマメの類迄用意して儀式の形丈けは出來るだらうと思つてゐます。

却說、元日我々の爲る事は先づ午前十時頃　御聖影の前に參拜し雜煮を祝つた後總領事は總督の接見所に參列の後各大臣私邸に年賀に廻らるゝ丈けで小生も自分の知己の所を廻禮して行先で「カード、パーテー」の捕虜となる位が關の山で、何んと淋しい正月ではありませんか。

「モントリヲル」は目下在留本邦人四人「トロント」市に十六人ありまして何れも元日には寄集まり祝賀會のやうなものを開く事を例として居るそうです。



・・・白耳義の新年・・・

在晩香坡　東條書記生談

私は四十三年の一月を白耳義で迎へましたが、當時ブラッセル府の日本公使館には公使代理の書記官一名と私とが居ました丈けで、新年の儀式と云つてもアントワープに學生が一人居た丈けで天にも地にも此三人のみでありました、然し郵船會社の安藝丸が其時丁度アントワープに來て居ましたから日本の餅などを送つて貰つたので何となく正月らしい感が起つた位で、其以外には別に御話しする事もありません、……其日の午後を如何して暮したかと仰しやるですか、私は其日の午後はアントワープに行きました、午後一時一分の急行電車で、……なあに四十六分間で到着します、而して往復の賃金は僅に四法半でした、アントワープに着きますと安藝丸の船員が今日は船中で新年の餘興があるから見に來いと云つて案內して呉れました、夫から本船に行つて見ると此處では茶番狂言やら義太夫やら手品やら劍舞やら船員各自の隱し藝が淡け出された譯で、宛も日本に歸つた樣な心持ちになり、又所謂た正月らしい氣にもなりました、それで時間の經つのも知らないで居ると、最早午前一時過ぎと云ふので、再び急行電車の客となつてブラッセル府に歸りましたが、私の歐羅巴の新年は先づ斯んな風で迎へたのであります。

・・・浦鹽の新年・・・

在晩香坡　佐藤書記生談

浦鹽の新年の話をしろつて、僕は忘れて了つたよ、日露戰爭の始まると云ふ其直ぐ前の事であつたから、世間は何となく物騷で居留民も靜なく何も新年だからつて目出度い譯でも無かつたからね、それでも領事館では拜賀式を擧行し居留民の主立ちたる者は皆な拜賀式に來る、それと日本の小學校の生徒が皆な遣つて來た、それから一寸した取肴で屠蘇に日本酒位が出る譯だつたが、當時其日本酒なるものが大變なもので、露國稅關で非常に重稅を課してゐたから一樽の價が金百二十圓、一合が四十錢と云ふ無鐵砲なものであつたから、新年だからつて醉ぱらうと云ふ程飲めなかつたぢやないか、なに餅や蜜柑などがあつたかと云ふのか、そんな物は何んでも日本同樣で、居留民の家では三寶などを飾つて日本內地同樣に祝儀をしてゐたのさ、所で彼地では日本の一月一日と露西亞の一月一日と二度程の正月がある譯だが、露西亞の暦は日本のより十三日遲れてゐるから日本の一月十四日が露西亞の一月一日であるけれども日本人は日本の一月一日丈け祝つて露西亞の分には何にも祝はない事になつて居た（以上各項共文責在記者）

恭賀新禧
スキーナ　カーライルキヤナリー
吉田梅吉

恭賀新年
北米タコマ
村田省藏

恭賀新年
パウエル街二三五
松本組
電話　二二四六
松本竹松　磯田兼次郎

謹賀新年
東洋請負會社
パウエル街三四四
電話　二五五八
岡本忠雄
小川琢磨
吉富邦三
大池鶴市
谷田八十九
坂口三次郎
中本岩吉

朝鮮後日物語

在東京　宮垣四海

友人鹽籔芳外、バンクーバーなる大陸日報の爲に何か寄稿せよと謂ふ予、幸ひ昨今頗る閑散、乃ち爰に朝鮮を觀察して得たる、多少趣味ある事實を誌して芳外の要求に應ずる事左の如し。

▲辭令に妙を得たる李太王

李太王殿下の辭令に巧妙なる、悉く意想外にして、承聞する者をして、開いた口を閉ぐ能はざらしむる者がある。だから自分でも世界各國の皇族中で最も辭令に巧なる者は、獨逸皇帝と自分とであると云つて、常に近臣の者共に誇つて居られたと云ふ事だ。現に統監府なぞでは、李太王の事を辭令王と謂て居たと云ふ事である。

明治三十八年故伊藤博文は統監となつて渡韓し、李太王殿下に謁見して親任式を擧げた。其時に李太王先づ伊藤公に對つて云く、卿の顔には、大相白髪が多い樣ぢやが……と。

云ふ迄も無く伊藤公は朝鮮語に昏し、依て國府象太郎をして之を通譯せしめた。而して李太王に答へて曰く、

拙者は幼少の頃より國事に奔走し、猶今日迄一日も腦を休むる暇が無かつた。故に此の如く頭髪が眞白になつて終つたのでムるぞ。

斯の答を聞きたる李太王騒さず、其獨特の奇語を天外より落し來るであらうか、未だ國事に奔走の仕方が足りなかつたと見えて、處々に黑いのも在やうぢや、其處々の黑い毛を、君が韓國の爲に盡して白くしては貰へんぢやらう乎と。

伊藤公は此言葉に二の句が吐けず、李太王の辭令に巧妙なるに且つ驚嘆し、且すつかり閉口して終つたと云ふ事である。李太王殿下は獨り伊藤公ばかりで無く、誰にでも初對面の時に斯る嘲弄的の言葉を操る方で、前統監府や、現總督府の連中にも大分此手で馬鹿にされた者があると云ふ事ぢや。因に云ふ同殿下は自分で札の勘定をする方なんぢやげな。

▲先づ朝鮮語に通ぜよ

故伊藤公のやうな大政治家にして、何故に韓國の統監政治に失敗したかと云へば、勿論他に種々の原因もあらふが、第一番に數ふべきは、彼が朝鮮語に通じて居なかつたと云ふ事を擧ぐべきである。

統監府時代の伊藤公の通譯官は前記の國府象太郎であつた。而して國府は、伊藤公の云ふ事を大概半分位にして先方へ通譯しつゝ在つたのである、則ち全部通譯しなかつた相であるから伊藤公の意見が些も韓國側の人々に徹底しない、而して向ふの意見も亦其通りであつたので、常に伊藤公は癇癪を起し通しであつたと云ふ事だ。

當時韓國側では、伊藤公を大伊藤と呼び、國府氏を小伊藤と云つて居た。而して小伊藤たる國府は伊藤公の意見を全部其儘忠實に通譯しなかつた而已ならず、往々自分の意見さへ附加ねたのであつた。乃ち知る、統監府時代の韓國政治は、實は伊藤公の政治ではなくして、大半は國府象太郎の政治であつたと云つて宜ことを。之伊藤公が統監政治に失敗した大原因の一つである。而して此は伊藤公が、朝鮮語に通せざりしに職由するのである。

昔豐臣秀吉京師を發して將に征韓の途に上らんとするや、或人云ふやう、盍ぞ漢文を善くする者を此行に從へざると、太閤笑ひて云く、吾が此行將に彼をして我が文を用ゐしめんのみと、太閤の意氣や太だ愛すべきである、併し要するに無鐵砲の譏を免かれない。伊藤公も統監府に乘込む前には吾々に對して隨分大きな事を云つたものだが遂に大言壯語に過ぎなかつた。

併合後、朝鮮同化の第一着手として日本文の敎科書を用ゐしめよとか甚だしいのは、羅馬字を扶植せよ抔と叫んで居る瓢輕者もある彼等は文學と、言語とで同化が出來ると思つて居るらしいが飛だ惡洒落だ、何は兎もあれ先づ朝鮮語に通ずる必要が、朝鮮リーダーも碌に知つて居ない人達の多い、總督府の連中に在る事を切言する。

▲所謂巡行問題の大失態

韓國前皇帝は何でも其保姆が先づ毒味を仕て後でなければ、決して何物も飲みも食しも仕ないのであつた、而して決して戸外へも出られず、終日戸も障子も締切つて、全くの蟄居生活を仕て居られたものだ。其を伊藤公が統監になつて、斯る鎖國的習慣は斷じて排すべきであると號んで、遂に皇帝を引張出して三南地方を行幸せしめた。これ蓋し韓國に在ては振古未曾有の事である。斯る事を行つて伊藤公は統監政治の極めて開放的で、進歩的で平民的である事を韓民に認識せしめやうと仕たのであつたが、事實は之と正反對の結果を生じたのである。

皇帝の巡行や、巡狩やは韓國に在ては實に破天荒の事である。故に國民は歡呼して此行を送迎したが、見れば苟も東洋の大政治家と云はれ、韓國の統監とも云はるゝ伊藤公が韓帝の前でペコ〳〵してゐる。曾禰副統監の如きは、畏怖叩頭、殆ど地べタに平伏せん計りの態度である。又滊車なども皇帝のは別に立派な裝飾を施し、箱も特別仕立である。勿論苟も韓國皇帝である、左もあるべきではあるが、扨て之を見た處の韓民は、心中密に叫んで云く、やつぱり吾國の皇帝は彼等よりも豪い哩と。

此印象が甚だしく排日黨を刺戟したのだ。

それ迄は韓國の排日黨なる者は支離滅裂殆んど話にならないものであつた。と同時に左程怖しいものでもなかつた。然るに此巡行以後排日黨は整然として組織だつて來た。則ち彼處此處の排日黨は、翕然として集り來つて打して一團となり、竟に茲に組織的の行動を執るに至つたのである。而して斯くなさしめたものは、即ち巡幸の印象であつた。斯る珍現象は經世家殊に外交家の大いに注意せねばならぬ事である。

而して此巡行問題は、日韓交渉史上に於ける故伊藤公の大失態の一つであつた。

▲鬼將軍來る

日露戰爭後寺内正毅は、滿韓視察の途に上つた。滿洲を視察して歸途京城に立寄つて、韓國前皇帝に謁見したが、其時に寺内ピユリツケン將軍は、皇帝に一箇の速射砲を獻上に及んだ。而して其速射砲を或廣場に於て之をウツて見せた。京城の天地爲に震盪し、官民共に戰々として驚怖したのである。寺内將軍は此の如く韓國の天地を一發の速射砲で大に威喝して置いて、スーと日本に歸つた。斯の國際上の慣用手段たる威嚇は、果して時の皇帝に如何なる現象を與へたであらうか。寺内も却々に味をやるワイ。

何かは知らねど今度併合前に寺内が京城に入るや、上下口を揃へて、鬼將軍が來た。鬼將軍が來たと云つて、且怖れ、且慄へたと云ふ事である。之より長谷川鬼將軍の名は寺内にお株を奪られた姿となつた。

▲可賞可排

日韓併合成るや、多くの新聞雜誌記者共は筆を揃へて、日韓の併合は何百年來の懸案である。夫が今成立したからと云つて、何も現内閣のお手柄でも無ければ、又寺内を賞讃する理由は無いと云つたものだ。然し斯麼批評は實に平凡極まる皮相の見で、唾棄すべきである。

勿論日韓併合は、決して現内閣のみの努力でも無ければ、又寺内將軍の功績でも無い。此爲に拂つた犧牲は實に非常なものである。然し何事も最後が肝要だ。若しアノ併合を李完用内閣に遣せずに、親日黨たる一進會の李容九や宋秉俊の輩にやらせたら怎であらう、然れでなくてさへ李容九や、宋秉俊の事を賣國奴だの何のと云つて居る韓民等は、一進會の奴共は桂内閣と共謀になつてトウ〳〵祖國を胡魔化して了つたと云ふ違ない。斯ては併合は實に恨みを千載に胎すものと云はなければならぬ。之を豫め知つて居たか怎かは知らぬが、兎に角併合を一進會の連中に行らせずに反對側の李完用内閣に或は祖國を日本に賣つて終つたのは李完用内閣であると云はれて、末代迄も韓民の怨みを買ふを氣遣つて成丈總辭職を斷行して、他の内閣でやらせよう〳〵とした李完用内閣の袖を怎しても放さずして遂に此内閣で併合を斷行せしめたと云ふ事は、則ち此點だけは國民が口を極めて寺内總督のお手柄を賞讃してやらなければならぬ。但吾輩の最も氣に喰はなかつたのは此併合を重に陸軍の方で行せて置て、霞ケ關の連中は何方を向て居たものやら、幾ど關せず焉で居た事や、大洪水の不評判をチヨロマカサンものと、十月の併合を九月に繰上げたりなどした桂一流の篦棒政策などだが、既に濟だ事だ今更不平でもあるまい。只終に一言して置が、寺内正毅は朝鮮總督兼陸軍大臣である。吾輩は此二枚鑑札、即ち政治的にマワレを執る事を絕對に反對する者である。ドツチかを止めろ〳〵と叫んで置く。

謹賀新年
地所賣買
勞働口周旋
領事館諸願屆代書
北川山田
事務所
アレキサンダー街二三〇
廣島屋旅館內

謹賀新年
パウエル街二三八
林旅館下
ムーデー
肉店

謹賀新春
ゴーア街一三〇
井手上一郎

謹賀新年
小島林之助

謹賀新年
崎山球場
パウエル街二五二

謹賀新年
日進合資會社
森野榮次
有馬豊成

短篇

部屋女

マーク、ツエイン作
波豹生譯

年齢が幾つであらうと國籍が何所であらうと、私は一切の部屋女に對して獨身者の咒詛を浴せかける、何故かといへば、

彼等はいつでも光斯の燈光から反對の方向のベッドの端の方に決まつて枕を据く。それだから諸君が（獨身者にとつての古來の光榮ある習慣どほりに）寢る前に本を讀み烟草を吸はうとすれば眼から遠く燈火を避ける爲に不愉快な位置に本を持上げて居なければならない。

彼等は朝になつてベッドの他端に枕を置換へてあるのを見つけ出すと、友誼的の精神を以て其の提案を受とらない、却つて彼等の絶對君主權を揚なぜひけらかし、諸君の孤獨に侮蔑をかけることなどは爲なして、以前の通り其側にベッドを直してしまふ、而して彼等の暴政の爲ふ僃まさる、諸君の苦痛に對して私かに流眄を與れるのである。

斯くして彼等は常ふ諸君が枕を置換へたのを見つけ出すと、決つて諸君の仕事を廢跳するのである。而して斯の如くに反抗しては上帝が諸君に與へたる生命を悲慘ならしめんと爲るのである。

其上猶は不便利な地位に燈光が行くやうにならないと、今度はベッドを動かしてしまふ。

若し諸君がトランクを開けたときに蓋が巧く止まるやうに壁から六吋もトランクを引張りだして置かうものなら、彼等は常に亦たそれを壁へ押してしまふ、彼等は故意に之を演るのである。

諸君が手頃な場所に痰壺を置きたいと思つても、彼等は決して夫れを動かない、置換てしまふ。

彼等はまた諸君の別の靴を、決まりきつて近寄り難い場所に置く、彼等は大抵ベッドの下のズッと向の壁の傍まで其靴をやつては嬉しがるのである。何故と云ふに、斯う演つて置きさへすれば、諸君はどうしても威嚴を損した不格好な態度で匍はなければならず、加之に暗闇な中を靴箆をもつて自暴に掃き出して、咒詛の一つも口にすると云ふことになる、夫れが演らせたいからなのだ。

彼等は常に燐寸の箱を何所かしら他所へ置く、彼等は毎日其の爲に新しい場所を捜すのである、而して以前燐寸箱のあつた所へ壜だとか何だとか危險きはまつた硝子細工の品物を配置する。之が爲ふ諸君は、闇黑の中を模索して夫等の硝子品を壞し、餘計な面倒を見ることになる。

彼等は永久に器具を動かし廻して居る。諸君が夜中に歸つて來ると、午前中には衣裳戸棚のあつた場所に書棚が來て居ることに屢々出會す、而して朝の中に外出するときに扉の傍へ水こぼしのバケツを置き窓の傍へ搖椅子を据へて置けば、深夜時分に皈つて來たときに搖椅子に轉倒づき、窓の方へ歩きすゝんで水こぼしの上に腰を掛けるだらう、此は必らず諸君の嫌厭するところであるが彼等は之が大好なのである。

諸君が何を何所へ置いても、彼等はそこに頓着するのではない、彼等は要するに夫れを其場所ふ置かせは爲ない、眼につき次第取除けてしまふ。之が彼等の天性なのである、而して其上に彼等は道底意地惡な逆に〳〵と出ることを愉快として居るのである。彼等は惡黨たらずに生きてることは出來ないのらしい。

彼等は常に、諸君が床の上に投げつけて置く古い紙屑類を總て拾ひあつめ、テーブルの上へ叮嚀に積みかさねて、諸君の貴重な草稿は焚附にしてしまふ。若し轉ふ諸君の氣ふなる古い紙片があつて、如何かして氣に掛けまい之を免れやうと試みることの爲に、漸次諸君を衰耗せしめて居るやうな其の紙片があるならば、前記の方法で多分諸君の苦痛をのこらず拭ひさることが出來やう。かう云ふにも夫れは何の補足にもならないのである。何故ならば彼等は常ふ其の古い紙片を持つて來て、何時でも以前の場所に置直す、彼等は之れで善いと思ふのである。

而して彼等は男六人分よりも更に餘計な香油を使ふ、若し之を偸んだことに對して何とか申込むと誤魔化してしまふ。將來ふ就て何を彼等は謀つて居るか、絶對的に何も無い。

若し諸君が便宜上、鍵を扉に附けたまゝふ爲て置けば彼等は屹度それを事務所へ持つて行て番頭に渡してしまふだらう。彼等は盜賊に對して諸君の財產を保護しやうと試みるのだと云ふ卑近な口實に託けて之を演る、が併し實際の所は諸君が疲れて家へ皈つて來たとき鍵を取りに態々また階子段を下りて行かせやうと思つて演るのである、夫れでなければ幾許かの心附に有りつからと望んで居るウエイターを遣つて之を取つて來させると云ふ手數を諸君に掛けさせたいが爲である。什の途、私は想ふふ卑劣な動物は手を分けて居るのである。

彼等は常に諸君が寢床にまだ居る時分からベッド直しに着手ろうとする、斯くして諸君の休息を破壞し諸君の苦痛を増させやうと爲るのである。併も諸君が起床して後は翌日まで最早顏を出さぬ。彼等は何でも彼でも考へついた意地惡の事は總て之を演る。而して彼等は唯夫れ純粹の惡意からして之を演るのである。他には何もない。部屋女は人類の本能には死物も同樣である。

若し議院で部屋女廢止案なるものが得られるならば、私は夫れを希望するのである。〔完〕

西洋一口噺

○牧師の人形

剽輕と煙草好きで評判の牧師が居た。或日パイプをくはへて部屋中を燻ふして居ると、一人のレディがやつて來て、

『おやッ、此所ふ居らしつたんですか、又た人形を弄つて』

牧師は冷然として

『ハイ、奥さん、今其の人形を燒いて居るところです』

〰〰〰

○學校入費

親父が心配顏して、小供ふ

『お前の行つてる學校はどうも種んな入費がかゝり過ぎる』

小供は何ふも屈托せずに

『そいつあ不可ないね、だけれども僕は出來るだけしか勉強しない嫌なものは習ひは爲ないよ』

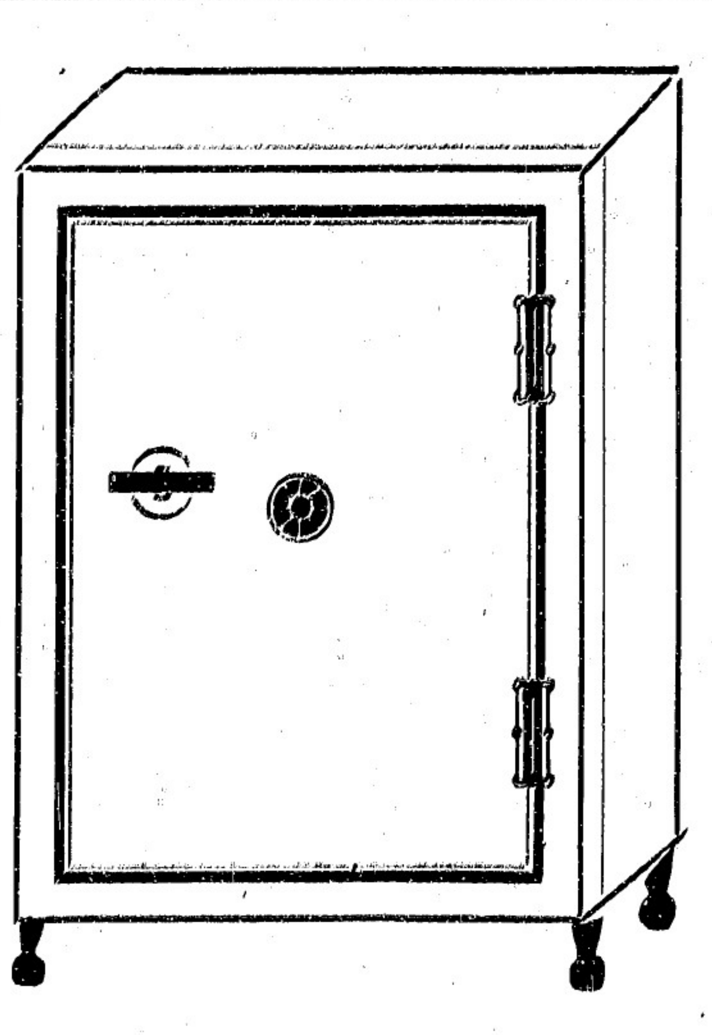
謹賀新年

銀行事務
土地賣買
各種保險申込

日本金融社

社長　マキ　ボイ
重役　是永壽吉
主任　ガーデナー

CODE WESTERN UNION
CABLES·KINYU SHA
PHONE 2721　　270 POWELL ST.,
Nippon Kinyu Sha



謹賀新年

意匠　圖繪　新聞
雜誌のカット製造

PHONE 3463

THE ANGELL ENGRAVING CO.

晩市西ヘステング街五一八
エンゼル版畫製造所
電話　三四六三

518 Hastings St. W.
Vancouver, B. C

賀正

◎ゴム版製造
◎各種の彫刻
◎並に印刷物

晩市西ヘステング街一五一
バグレイ
ソンス　製版所

A. G. Bagley & Sons
151 Hastings St., w.
Vancouver, B. C.

謹賀新年

弊店販賣品

◎計算帳類
ルーズ　リーフ　システム
及び事務所用品一切
特別雛形又は罫引印刷の注文に應ず
◎ラバスタンプ製造
◎專門學術書類一切
◎教科書類一切
◎日英辭典

晩香坡西ヘステング街三二五
タムソン書籍株式會社

晩市の産業的發展

▲無盡藏なる當州の富源
▲洋々たる夕陽埠の前途

世人口を開けば一齊に晩香坡の發展を謂ふ。偉大なる晩香坡！多望なる晩香坡！渚より洋々たるパシフイツク、ヲーシヨンを前に控へた要港の地位に加へて内は天與の富源ふ豐潜であるとしたならば之が將來の活躍は豫言者を俟たずして斷案を下し得るに相違ない。併し吾人は徒らに大言壯語を爲す前に精確な數字に由て之を研覈し闡明して見たいと思ふのである。

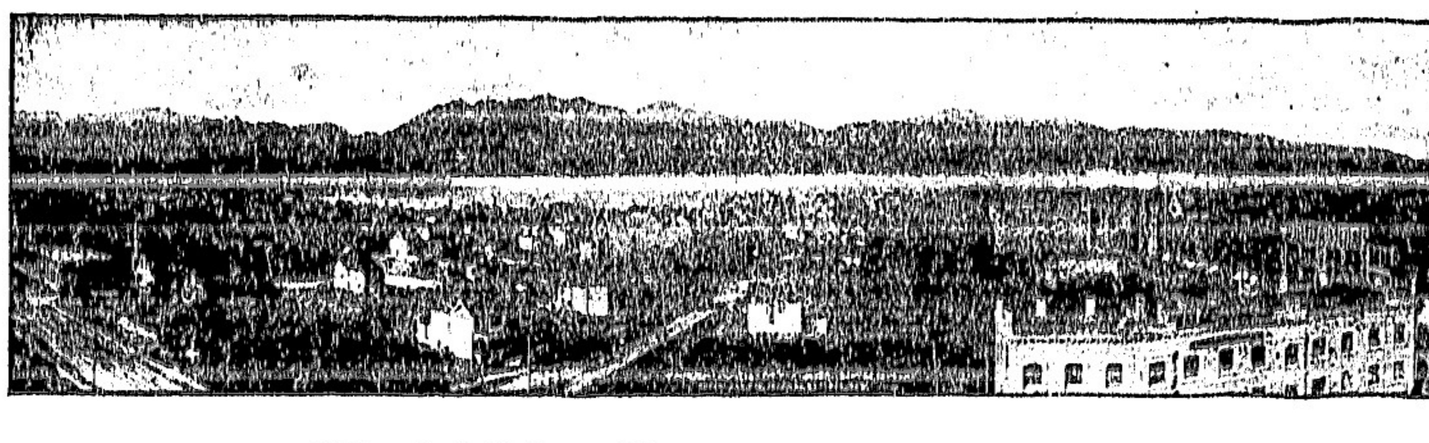
▲利用し得べき水力

設備さへ完成すれば晩香坡が偉大なる水力を利用し得べき地勢に在ることは第一ふ晩市の得點である。此點に於ては米加兩國中唯だ紐育州のバツフアローに讓るのみである。産業的方面から晩市の將來を考察するに當り、晩市が近距離直ちふ多數の奔流によつて圍繞されて居ることは看過すべからざる重要な事項である。晩香坡は百哩と隔てざる距離内ふ十個の大なる水力を有する。米大陸中之に優るものは一バツフアローあるのみで最近運河の扶けを得たる厖雄な市俄古ですら、廉價で電流を得られるところの天然水力は到底晩香坡の便利なるふ追つかぬ。玆ふ晩市から之等水源への哩數を數字ふ現はせば、

	直接距離	傳送距離
パウエル湖	八〇	一八〇
クロシホルム湖	四〇	六〇
スチーカマス河	五〇	五五
グリーン河	七〇	七〇
コークイツトラム	一六	一六
リルエツト	二四	二四
ステーヴ湖	三五	三五
チエハリス河	六〇	六〇
チリワツク	七〇	七〇
ザローンス湖	九五	九五

之等の水源何れからも晩市へ動力を送り得ることは無論專門技師の明言するところで既にコークイツトラム、リルエツト等は盛に實用されて居るのである、而して之に[illegible]湖を併[illegible]三者のみを[illegible]て見やう。

千九百九年中にビー、シー州で産出した石炭は百九十四萬ロング、トンであり骸炭は二十七萬七千ロング、トン即ち合計二百二十一萬七千ロング、トンで、金額にすれば八百四十五萬二千弗であつた。工業の發達、鐵道の延長、人口の增加等によつて石炭の需要は益々盛なるふ至つて居る。州内の炭鑛の開發は自然、製造業の費用を廉ならしむるもので、又た晩香坡の建造ふ寄與するところ大なるべきものである。抑々當州の炭鑛は千八百三十六年ハドソン灣會社が晩香坡嶋スクワツシに之を創始したものであつて[illegible]



晩香坡市街の一部よりバラード、インレツトを隔てゝ對岸連山の遠望

▲各種の産業

今から五年前までは當州の主要の産業は製材と漁業とであつた。此二者は勿論現今でも非常に盛大であるが、次に掲ぐる表を一目したならば他ふも幾種の産業が長足の進歩を爲したことが知れやう。即ち千九百九年度の産業ふ就てビー、シー州廳が調査したる數字によれば

製造業	三〇,〇〇〇,〇〇〇弗
鑛業	二四,〇〇〇,〇〇〇
製材業	一二,〇〇〇,〇〇〇
農業	八,五〇〇,〇〇〇
漁業	八,〇〇〇,〇〇〇

即ち總額八千二百五十萬弗を示し頭割の平均生産額實に三百十五弗に達して加奈陀全國中何れの州をも凌駕して居る。而して此の巨額の中で約七割五分は低部本土の生産に係り而して晩香坡は之が中央市場であつて又生産分配の衝にあたつて居る狀況である。要するふ數年前は製材ふ關係した業が最も盛であつたのが、現今では製造業と鑛業とが他を凌駕するに至つた、之は換言すれば晩香坡が製造業の方面に急速な發展を爲しつゝあることを意味するものである。しかも之等製造業、鑛業に上位を讓つた漁業其物も決して退勢にあるのではなく、試みに昨年度の鮭漁に就ての數字を見れば製罐高は

フレーサ河	二三二、一四八函
スキーナ河	二二三、〇三五函
リヴアース インレツト	二九、三九八函
ナアス河	二九、七三〇函
其他各地方	一四七、九〇〇函

で合計七十六萬二千二百〇一函の多數に達して居る。一昨年の如きはフレーサ河の大漁期ふ相當した爲もあるが總計實に九十六萬七千七百二十函を算した程であつた。捕鯨は亦た當州沿岸から白令海にかけて盛な事業である。鰊漁が近年來着目され來つたことは謂ふまでもない、而して試みに盛夏スチーヴストンの漁村を訪れて見たな[illegible]

市が製造品中に次の如き多種類を算へて居る。即ち

汽鑵、エンヂン、靴、箒、桶細工、石鹸、寶石細工、チヤム、馬具、鐵葉細工、運搬家屋内器具、マトレス、果肉、ビスケツト、糖菓、眞鍮細工、シヨーケース、香料、帽子、鋼鐵細工、船舶、精製糖、麥粉、ターペンタイン、キヤナリー機械、釘、紙、葉卷煙草、紙卷煙草、酒、マカロニ、銅カツト、亞鉛カツト、漁夫用帆木綿製品、ギヤソリン洋燈、精米、指物、暖爐、小刀、鋸、大工用品、酒甕、煙管、鐵製水管、木製水管、ギヤソリン機械、美術的硝子製品、藥味、婦人衣裳、トランク、手提、スーツケース、伐木用具、諸金物、滑車

此他各種であるが、勿論此中には規模まだ狹少なものもある、併し中には大規模なのもあつて優に千二百人以上を使傭して居るのがある。而して之等年々のペイロールは約五百萬弗を計上するが無論之ふはシー、ミルとか或は公共的性質を帶びたビー、シー電氣會社の如き種類のものを含んでは居らぬ併も小規模の工場が急速な發展を爲しつゝあることは瞭乎な事實で謂ふまでもなく人口の激增と地勢の干繁とが此の現象を招致したものと解釋することが出來るのである。一例を擧げれば五年前までは狹少な陰氣な木造の二階家にあつた製靴工場が今では自身の手で煉瓦や石造の建築を有し六階建の半分を使用するに至り、又た二年前に開設された婦人服工場が當時ふありては僅に一萬二千弗の投資高であつたのふ今日では數十名の女工を使ひ一ケ月の製造高七千五百弗に達してるのがある。近々株式組織に改造して自己所有の建築までをも備へやうと意氣込んで居る。實際の例證は寧ろ有りあまる位ひで一々列擧するなどは到底煩に堪へないから畧すことにするが、兎に角進歩の活況は隨所に溢れて居るほどの有樣である。

▲交通機關の整備

産業中心としての晩市の將來を豫[illegible]

線路を延長して此市に終端驛を有すべく期待されて居るのである。同時に一方千九百十五年には巴奈馬運河は竣工されやう、當州其物の發達に加へてアルバータ州及びサスカチエワン州の農業的膨脹、之等は皆な晩香坡をして世界的商交の上ふ重きを爲さしむる所因と認むべきである。

▲蝟集し來る船舶

加奈陀太平洋鐵道滊船會社のエムプレスは夙に東洋航路に當り、又た同社の濠洲通滊船はホノルル、フイヂ、シドニーに通じてニウ、ヂーランドにも聯絡し、英國リヴアプールのアルフレッド、ホルト會社の所有に係る所謂ブルー、フアンネル線は歐羅巴に往返し近く又た大船舶を附加して此航路に全力を盡す計畫であり、ウエイヤ線は約一ケ月前新に滊船スペリツク號の一月一回の新航程を開始するに至り、濠洲のユニオン滊船會社は將來益々晩香坡、シドネー間の開發に當らんとし、アレイ線は又た晩香坡からニウ、ヂーランドへの航路ふあたり、加奈陀墨西哥メイル線及びヂ、プセン線は共にテハンテペツク鐵道の便によつて歐洲との輸送の衝に當り太平洋滊船會社の船舶は桑港に而して他方に又たピユーヂエツト、サウンドとアラスカとを聯絡して居る。目下晩香坡と北部ビー、シー諸港との航路には大幹太平洋のアラスカ滊船。ピーシー、ユニオ[illegible]

鬱蒼たる森林

る。此他に山林や鑛山や漁場からの精荷を取扱ふ大小船舶は素より數へ盡せぬほどで、更にヴイクトリア港へ日本郵船會社と大阪商船會社の便宜あることは世人の熟知するところである。

▲手形交換高

銀行手形交換高の盛衰によつて亦た市の發展の趨勢を窺ふ事が出來る。今主なる加奈陀各市の夫れと晩市とを比較して千八百九十九年度と千九百九年度と前後十年を隔てゝの數字を觀れば

一八九九年

晩香坡	四二、一九九、五五三弗
ヴイクトリア	三三、五七六、四九九
モントリオール	七八四、二九九、五四四
トロント	五四四、八九九、九六八
ウイニペッグ	一〇七、七八六、八九八
ハリフアクス	七七、〇〇〇、七五五

一九〇九年

晩香坡	二八七、五二九、九九四
ヴイクトリア	七一、六五九、八八〇
モントリオール	一、六〇六、六九九、〇〇〇
トロント	一、三四七、四〇〇、四七七
ウイニペッグ	七七〇、六四九、三二三
ハリハツクス	九五、二六八、四四七

等であつて、特に晩市ふついて最近三年分を列擧すれば

一九〇五年	八八、四六九、〇三三
一九〇八年	一八三、〇八三、八四六
一九〇九年	二八七、五二九、九九四

の變化を看取する事が出來、猶昨年度に入りて激增を告げ總計約四百万弗に達したと云ふ程の盛況を呈して居る。

スタンレー公園の車道

* * * * * *

世界商交の分野を通觀すれば將來の活動舞臺が太平洋にあることは何人も異議のない點である。澎湃たる太平洋の波は永久にかはらない。然れど晩香坡の今日の現狀は決して明日の現狀ではない。太平洋の千波万波が活動の本舞臺として澎湃するとき晩香坡が居然として之が光輝ある一方の覇たるべきは決して一場の白日夢では無いと信ずる。

恭賀新年

ウエストミンスター街二二〇
日吉軒
森山靜男
吉本新次郎
小倉敬彦
小野寺保

謹賀新年
パウエル街三六九
前川商店
電話三七一一

謹賀新年
内田書籍店
パウエル街三五七
電話一五八一

恭賀新年
大屋商店
パウエル街四五七
電話二四二五

謹賀新年

機械が輸入され西加奈陀動力會社は五百萬弗を投じビー、シー電氣會社は既に其發動所に二百萬弗を投じて居る。次にリルエットの水力はビー、シー電氣會社のみでも三十五萬馬力を供給することの出來る設備となつて居るのである。要するに晩香坡が水力の利用に就て至便の地位に在ることは一大恩惠と云はなければならぬ。

▲鑛物の富

鑛物の富は亦た度外視することの出來ない問題である。謂ふまでもなくビー、シー州は加奈陀屈指の鑛産地である。千九百九年度の統計によるも加奈陀全國で産出した總ての鑛物の六割九分は實にビーシー州で産したのであつた。併も猶は當州内に豐裕なる亜鉛や鐵鑛で未だ開拓されずに殘つて居るものが非常に澤山ある、而して雲母石膏其他で未だ手を振れられずにあるものも頗る多い。金、銀、銅、鉛、石炭、亜鉛其他總てを含んで千九百九年度の當州の産額は二千「四十二萬六千五百弗に達した。而して同年間に石炭を除いての粗金の採掘高は一億二十八萬ワンスを算して居る。今左に最近累年の産額を列擧すれば、

一八九〇年	二、六〇八、八〇三弗
一八九五年	五、六四三、〇四二
一九〇〇年	一六、三四四、七五一
一九〇五年	二二、四六一、三二五
一九〇六年	二四、九八〇、五四六
一九〇七年	二五、八八二、五六〇
一九〇八年	二三、八五一、二七七
一九〇九年	二四、四四三、〇二五

此中千九百八年度が前年度より減少を來して居るのは鑛物の價格が非常に下落した爲で實際の産出高は前年度よりも一割五分餘の增加を示して居るのである。斯くて猶はビー、シー州には開拓未着手の鑛區約三十萬方哩あると聞かば何人も其の富源の壯大なるに一驚を禁じ得ないであろう。

▲特に石炭は如何

工業にも交通にも至大の干繫ある石炭に就て君等は特に注意を拂つ

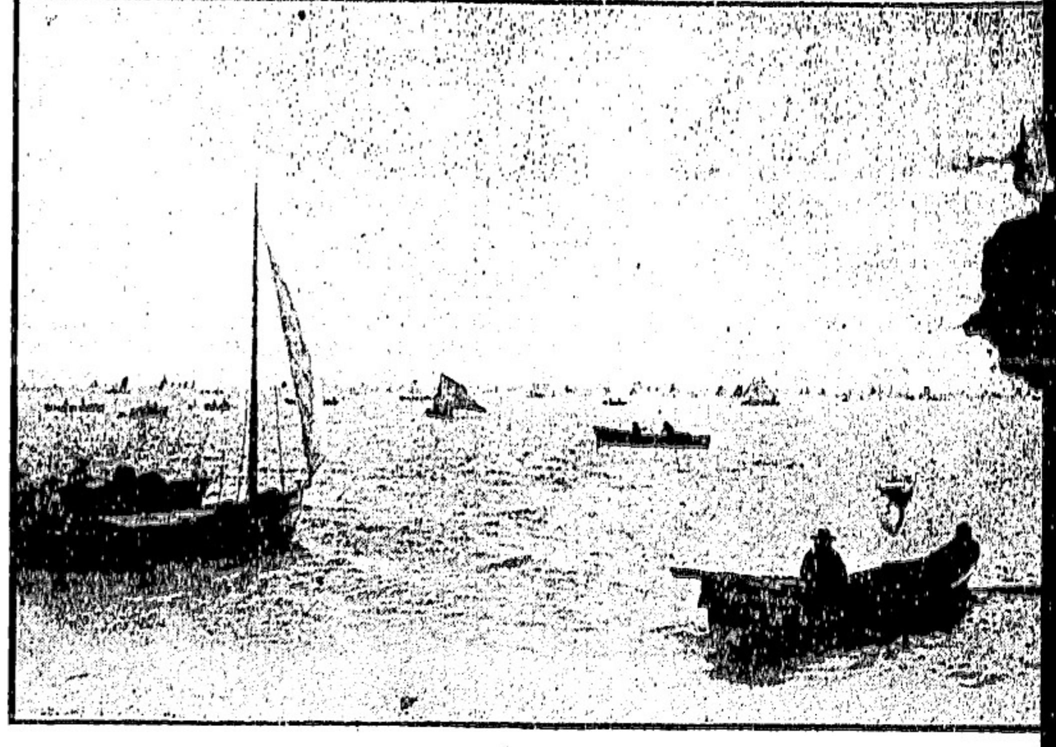
へ積送されて一噸二十八弗苑で賣られたことがある。其後年々發達して實に千九百九年の終まで總高二千九百五十二萬六千五百四十九噸を産出して居る。猶は亦た鎔鑛爐の設立は一方に骸炭の需要を喚起し之も年を追つて需要が增加し、其生産高は、

一九〇七年	二二二、九三噸
一九〇八年	二四七、三九九噸
一九〇九年	二七七、〇〇〇噸

等の數字を示して居る。

▲當州産出の鐵

産業の發展を論ずるに當つて鐵を看過することは出來ない。鐵鑛はカムルップス附近のチェリー、クリーキにあるが、猶は東部クートネーのブル、リヴアー。グレイ、クリーキ及びキッチナーは全部未着手の大鐵鑛が橫はつて居る。此他に晩香坡島方面シーチエルトにも多量を有して居て、併も専門家の鑑定によればビー、シー州の産鐵は皆品質頗る良好で殆んど全部が硫黄も燐も含んで居ないと證明して居る。之等良好の鐵を近距離に産出することが出來て他の利を占めて居る晩香坡の將來が北西地方の産業中心たるに適して居ることは今更喋々するまでもないことである。


フレーサー河ステヴストン附近の同胞漁鮭

ヘステングス街を橫ぎつて北方より望みたるキヤロル街一部

コロンビア、ボート時代がギャソリン、ボートに轉じた現狀を目擊して根底の益々鞏固なるに讃嘆を禁じ得ぬであろう。

▲人口の關係

左に記すところは即ち晩香坡附近の繁華なる各都會の人口である。併も之等が將來に於て大晩香坡の一部を形成すべきことは興味ある豫見なのである。

南晩香坡	二〇、〇〇〇
新西院	一五、〇〇〇
北晩香坡	六、〇〇〇
バーナビー	五、〇〇〇
ポイント、グレー	三、五〇〇
近郊	二〇、〇〇〇

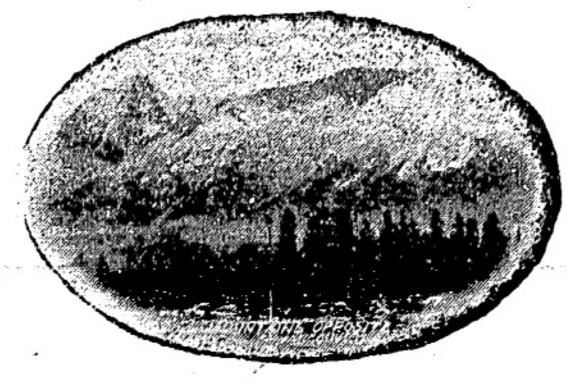
而して最近發表された統計には當州全體に渉つての職工男女老幼の六割以上は晩香坡内に使傭されて居るさうあつた。

▲晩香坡の工場

以上各項に渉つて幾種の數字を擧げたが、猶且つ晩香坡の産業狀態を直接に適切に表はしたものではなかつた。晩香坡には目下約二百の工場があるも、而して此は無論フレーサ河岸のソーミルを含んだものではないが、當港から積出さるゝ木材の高は非常の額であり昨年中でも特に八月の如きは七千八百萬呎に達した程であつた。試みに一昨年の八月を見ると四千二百萬呎、增加の著しいことも知られる。附近各地方産出の果物、木材其他多數の天然富源から得らるゝ物資の加工のみならず、晩香坡は今や

香坡からの輸出品全額四百三萬一百六十二弗七十九仙を計上し、同年ヘステングス、ソーミルから積送された木材のみでも三千四百六十七萬七千三百八十五呎に達し英本國は勿論歐洲諸國。濠洲。ニウヂーランド。智利等に積送された。此の一事のみでも晩香坡の地理的干繫の現未を察することが出來る。

晩香坡が所謂ノース、ウエストの主要なる商港としての發展は實に急速なるもので、若し現在の趨勢から將來を推論したならば確かに今後二十年の終には桑港と相比肩すべきものと謂ひ得られる。蓋し之は吾人が單獨に結論した疎漫なる樂觀に耽つての話でも何でもなく、晩市が商業的に優位の地勢にあることは隨所に說かるゝ問題であつて、世界周遊者も之を謂ひ、鐵道業者も之を唱へ、紐育州知事チャーレス、ヒユース氏は『予は未だ曾て晩香坡の如き良港を見たることなし』と告げた位なのである。晩香坡にはバラード、インレットの主要の港に附加へて、猶ほ市の中心にフヲールス、クリーキがあり同時に英吉利灣の南岸よりポイント、グレーまでも同樣の距離で近き將來には實用に供せらるゝの期が來るのである。晩香坡が現時にあつても加奈陀太平洋岸の要港たることは贅言するまでもない。唯だ將來は如何と謂ふ問題を考究して見る。併も此の考究は頗る興味のある事項で、即ち先づ四年の將來にはカナデアンノーザン鐵道、大幹太平洋鐵道、大北鐵道、北太平洋鐵道及び市俄古ミルウヲーキー、エンド、ピユヂエット、サウンド鐵道が何れも


獅子峰の一角

街一部

ン滊船會社。ボスコウイッツ滊船會社及びノーザン滊船會社等であ

に夥しき希望に滿たされて居るかを察して勇躍の情を禁じ得ないのである。加奈陀のサンセット、ドーアウエイたる晩市即ち君が夕陽埠の將來は決して暗黒でなく、果然燦乎たる光明を以て滿たされて居るのであつた。

晩市建築と土地局料金

晩香坡建築界の盛況が沿岸中特に矚目すべきものあることは今更贅言するまでもない。今先づ試みに千九百二年度以來歷年の建築許可數額を列擧すれば

一九〇二年	八三三、六〇七弗
一九〇三年	一、四二六、一四八
一九〇四年	一、九六八、八九一
一九〇五年	二、六五三、〇〇〇
一九〇六年	四、三〇八、四一〇
一九〇七年	五、六三二、七四四
一九〇八年	五、九五〇、八九三
一九〇九年	七、二五八、五六五

等の趨勢であつて千九百十年即ち昨年度に就ては本稿を草する際未だ十二月の分が明瞭でなかつたが爲に年度間の總計を示すことは勢ひ不可能であつたが、但し昨年度一月以來十一月までの各月に就て親しく當市役所建築課員に質したところ次の如き數字を示して呉れたのであつた。

一月	六三一、三一一弗
二月	八八〇、七九五
三月	一、八〇八、七六六
四月	一、四六〇、五〇八
五月	九四一、五七〇
六月	一、一六二、九四〇
七月	六三九、五三〇
八月	七四五、二三五
九月	七四〇、七一五
十月	一、二八六、九九五
十一月	一、八九七、八八五

而して十二月分の概算の豫想を加へて全年の總計幾許位であらうかと聞いたところが約千三百万弗には達するであろうとの事であつた。要するに以上の數字に據ると最近十年近くの間で、目覺しい進歩は先づ千九百三年度で前年に比し五十九万餘弗の增加を告げ、千九百四年度は亦た優勢で前年よりも五十四万餘弗の增加である。併も盛況は逐年其度を增して特に千九百六年度の如きは前年に比し百六十五万五千餘弗の增加、之が翌年即ち千九百七年に入りては更に百三十二万四千餘弗を增し、千九百九年と千九百二年とを試みに比較すれば實に六百四十二万四千餘弗の相違があり、昨年度が千三百万弗とすれば千九百二年度の額に比して千二百十六万餘弗の相違である。進歩の跡は歷々として指點し得られる。

猶は又た昨年度各月に就て見れば最も少額なのが一月で之に次ぐのが七月、更に(十二月を除いて)盛であつたのが十一月、三月、四月十月、六月等の順序で、二月から三月に入つて俄かに增したこと、夫れから七月、八月等に比して却つて十月、十一月等が非常に好況なこと等を具さに考察したならば外界との干繫、影響自から脈絡の通せることも發見し得らるべきであろう。

次に晩市昨年中土地局に於ける地券登記料と檢閲料金等の收入總計を擧ぐれば

一月	一五、六四三弗七五
二月	一八、九五一、一〇
三月	二一、一九七、四五
四月	二二、四五四、六〇
五月	一八、六一七、三一
六月	一七、八八八、七八
七月	一四、六〇〇、八四
八月	一五、二八四、〇一
九月	一七、二三三、八七
十月	一七、七二五、三〇
十一月	一三、二〇七、〇一

等にして本稿を草する際之れ亦十二月分は判明しなかつたが但し局員の談によれば優に二万三千弗には達しやうとの豫想であつた。

森林の巨王

池田商店
電話 二四六

謹賀新年
西村魚店

謹賀新年
パウエル街二四六
福永金三郎事務所
電話 二七二三

恭賀新禧
日加殖産會社
ピツト、ミドウ
第二ダイキ
中山武雄

謹賀新年
ウエストミンスター街一五〇
沖繩館

寒月と梅花

古梅村

梅村の晩烟月に續きけりさは予が俳句の手解きを藤井紫影子にして貰つてゐた頃の駄吟であるが、疎影横斜の寒梅に今しも冴え渡る月の懸つた景は直ちに俳人歌客の腸を剜ぐるものである、夫を大膽にも孤村の炊烟と夕月とを結付けてそれに梅花を配したのは初學の中の不見向に出でたので、多少の句作をした後になつて見ると斯んな大膽な事は一寸出來悪いのである然るに本年新春の和歌の御題は、『寒月照梅花』と云ふのであつて、御歌所主任高崎正風男が御參考として『海の眺望』と此題との二つを差出して御伺を立てた所が直ぐに前の題の方を御採用になつたとの事で『寒月照梅花』では其梅花は冬の梅即ち早咲きの梅の意であつて新年の祝ぎを述ぶるの意にはならぬ、からして強いて聖代の德澤を謳歌し新年の目出度い意味を含ませないでも好い、畢竟するに、陛下が只管敷島の道を御奬勵遊ばす御心より純然たる文學上の趣味を以て斯界の指針たる可き和歌を御求めになるので畏くも恐多き御叡ふ旨出でたるものだと洩れ承る然らば詠歌せんとする臣民が其上にも御代の太平を祝し奉る意に詠み出でなば何は一人の事なれども、不肖等の分際としては到底斯る事を能くす可くもあらざれば、此を冬の早咲きの梅として之に寒月を配した單純な冬の季節の作物として、御題に因むも畏けれど例の十七文字を並べ奉る次第である

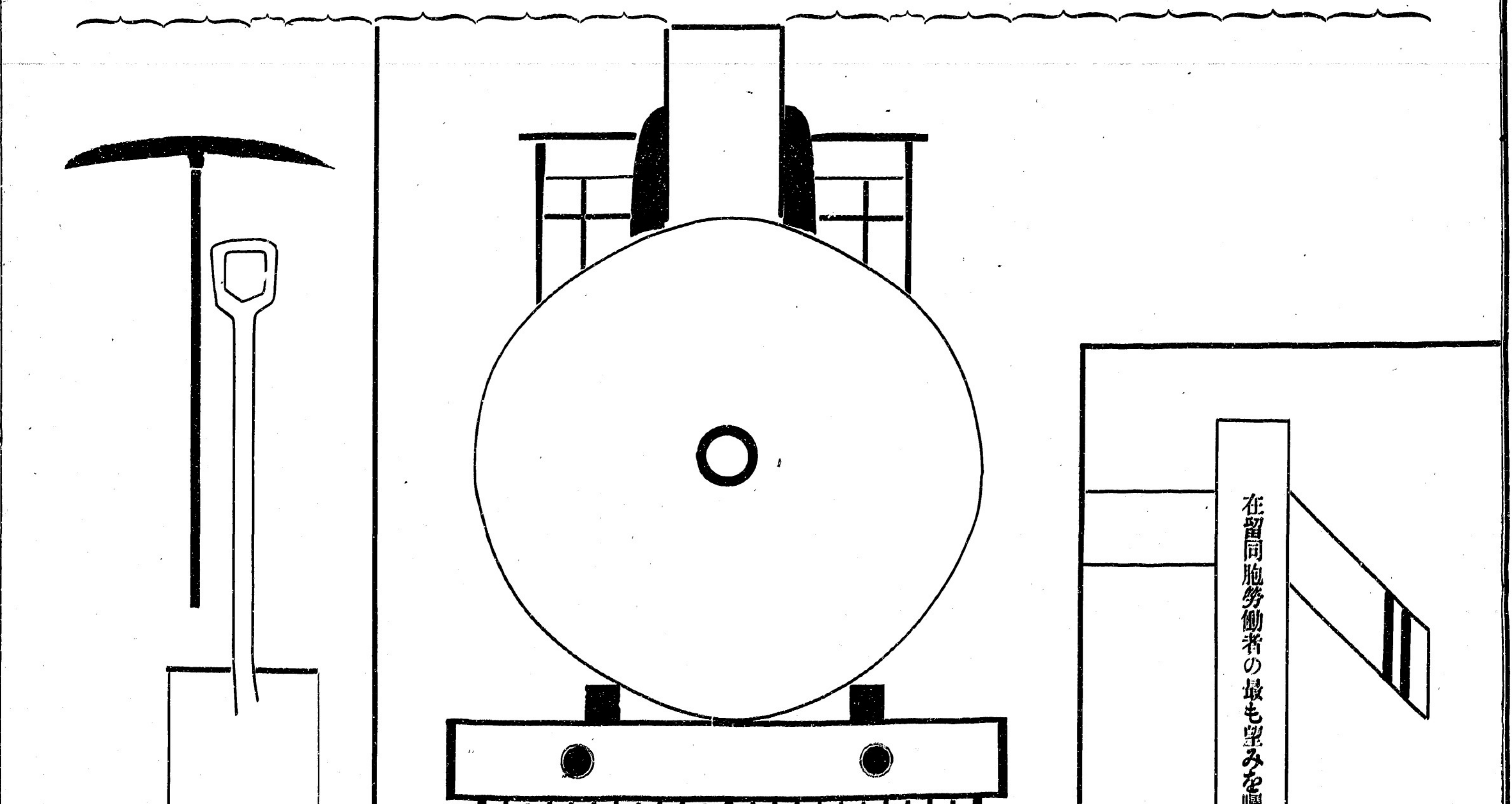
月魂も化粧をしたり寒の梅
庭の無き月に照れよと寒の梅
寒梅を移し植ふれば月朧る
寒月に下枝の梅を探りけり
大宰府や梅早や咲きぬ寒月に
四五戸にて寒梅もあり月も訪ふ
早咲きの梅折り居れば月照る
寒月や百歳翁が梅の窓
隧道を出でゝ梅あり冬の月
緣日の梅など買はん冬の月

徒らに寒月と梅花とを並べたが會心の句を得ない、然し大御代の新春の即興にもとて醜面皺も之を錄する事とした。

謹賀新禧

明治四十一年一月一日

日加用達株式會社


在留同胞勞働者の最も望みを囑すべきは鐵道のチヤンスなり

謹賀新年
ステワート街一八六一
濱田杢藏

謹賀新年
加奈陀廣島縣人會

謹賀新年
中塚幸三郎

謹賀新年
神奈川縣人會

謹賀新年
パウエル街四六九
鹿兒島縣人會
郵函三一三七

謹賀新年
沖繩縣人會

謹賀新年
宿屋組合

謹賀新年
小田茂三郎

廣島屋旅館

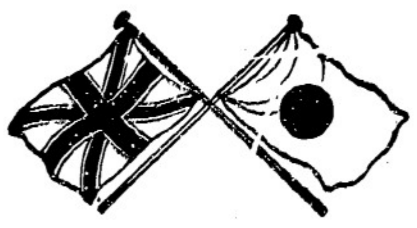
謹賀新年
アレキサンダー街三三〇
雜貨食料品商
佐藤茂平
（電話一六一七　郵函二二六八）

賀正
上田稔

謹賀新年
パウエル街二四九
磯村藥舖
郵函二二一四
磯村初太郎
磯村鶴雄

謹賀新年
パウエル街三五五
九州洋食店

謹賀新年
ウエストミンスター街二二〇
米滿時計店



謹賀新年
宇井兵造
日英商會
石崎常吉

謹賀新年
パウエル街四四一
飯尾球場

謹賀新年
食料品商
ダンレービー街一三九
明治屋
塚本彌五郎

謹賀新年
和洋食料品一切
カドバ街とウエストミンスター街角
村崎商店
電話八三八三

謹賀新年
パウエル街三四五
土田商店
（電話三五六六　郵函二二八二）

太平洋瓶詰會社
日本酒販賣
主任　土田嘉次郎

賀正
香村兄弟商會

恭賀新年

松宮商店
雜貨部　パウエル街三三九
食料品部　パウエル街三一三

松宮外次郎
野瀨清八
田邊團藏
川島幾太郎
西村岩次郎
兒玉角太郎

謹賀新年
パウエル街三六三
加奈太新報社
電話一〇五六
郵函二八〇

謹賀新年
パウエル街二六四
○萬
前川三之助
電話 四三九八

謹賀新年
晩香坡市パウエル街五六八
熊本縣人會

謹賀新年
ポートエツシングトン
藤本虎之助

謹賀新年
岡本新吉
同ミス
Shawnigan Lake, B. C.

謹賀新年
在クラクストン
開田光太郎

謹賀新年
在ビクトリア市
田川與四郎

謹賀新年
パウエル街二二九
千鳥

謹賀新禧
パウエル街四二三
三重床

謹賀新年
パウエル街一二三
中村床
電話 三九八二

謹賀新年
パウエル街三〇七
公益社
電話七八四四
堀田佐六
中川源太郎
赤井繁太郎
高橋金次

パウエル街三〇九
中川床

恭賀新禧
パウエル街一三〇
馬場元輔
電話アール六九九五
玉突場
理髪床

恭賀新禧
パウエル街二〇七
熊本床

謹賀新年
パウエル街四二七
都湯
山岡庄次郎

恭賀新年
パウエル街二四五
池田旅館二階
藤原寫眞館
電話 エル一五四〇

恭賀新年

是永商會

明治四十四年一月元旦

晩香坡市東カドバ街一五
電話 一八四八
自宅 一五九二
郵函 一一三二

謹賀新年
東ペンダー街一〇七
速水米太郎
西洋風呂
理髪店

謹賀新年
パウエル街三七七
井上床

謹賀新年
ゴーア街大陸日報社向ヒ
名畑靴修繕所

謹賀新年
ダンレービー街一三二
加藤酒店
電話 六六三三

謹賀新年
パウエル街四五三
堀善商店
電話 三九七五
郵函 二一一二

謹賀新年
ウエストミンスター街二二九
大河原商店
電話 三八二一

謹賀新年
パウエル街二〇一
岡田商店

謹賀新年
金村商店
電話 七一二

恭賀新年
パウエル街二二九
溝邊菓子店

謹賀新年
五色湯

謹賀新年
パウエル街三九一
江畑商店

謹賀新年
倂平素謝疎遠
尙將來祈愛顧
晩市メーン街一一六
梅香
清水常吉
電話アール四三六二

先づあけまして御芽出たう本年も相變はらぞ
電話 五三八四
千代本
お菊　つや
お末　梅子

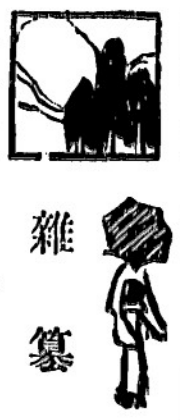
謹賀新年
御料理
日の出

謹賀新年
パウエル街三三三
山科亭
電話 二七七九

あらたまの春の御祝ひめでたく申納候
電話エル 一二〇七
吾妻
しづ　はつ江　つゆ子

謹賀新年
旭家
電話 一九三一

賀正
常盤亭
電話 二九一四



雜纂

藝妓屋の子

やまと新聞記者　小川煙村

『お金ちゃん遊んでるの？』

格子の外から近所の藝妓屋の子が囁かける、お金ちゃんは今他處の小父さんと遊んでゐるものだから日頃のお友達を顧みない。

『あとから』

誘いに來た中島屋の女の子は發音もなく歸る。

お金ちゃんも藝妓屋の子である。一番上の姉は土地で知られた藝妓で自前の看板を立てゝゐる。仲の姉は他所場所の藝妓で分で稼いでゐる、末の妹は此家でお酌の長い袖を飜してゐる、お金ちゃんは當年八歳、もう四五年もすると『見習』と名付けてお座敷へ現はれる其頃には上の姉は女將になつて末の妹が立派な藝妓になるといふのが、お金ちゃん一家の理想である。

藝妓屋の子は頭髮に赤いものをつけたがる、何時の間にか姉さんの鏡臺をあけて白粉を思ひ切り刷毛につけて額口から眞白に塗る、遊ぶ事は同じ様な友達を集めて、

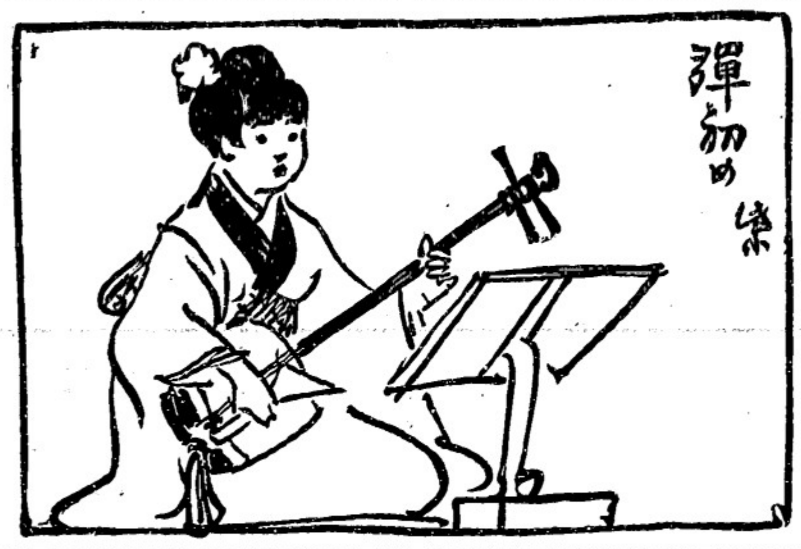
『お客さんごつこをしようね』

お金ちゃんの家は男の氣が少ない父が一人ある許りで之れも朝出て夕に歸る大工稼業であるから、姉さん二人と阿母さんと女中がゐる許りである、だもんだから男の客の來るを喜ぶ、藝妓屋へ來る男なら大抵柔弱な男で普通の家庭では言ないやうな言葉を臆面もなくいふ、お金ちゃん又こんな言葉に馴れてゐる、近所の待合や料理屋で藝妓の姐さんがお客に甘へたり、お酌の姐さんがきやつ〳〵巫山戯るのを見聞してゐるから男の客が來るとつい巫山戯て見たくなる。

『いらつしやい』

小さい手をついて叮嚀に辭儀をする、お座敷へ出ると姐さんがさうするから見覺えてゐるのである

お金ちゃんはまだ三味線もひけぬ踊も習つてゐない、けれど耳に覺えた唄は學校で習ふ讀本よりもよく覺へてゐる。



『コン〳〵チキヤコンチキヤ』

紀伊の國が十八番で夫れもお尻の方は知らないが、コンコンチキが好きで盛んにやる、人見知りをしないで遊びに來る客によく物をいふし惡戯もする。

『藝妓屋の子は此方が面白くていゝわね』

と上の姉さんから阿母さんから、遊びに來る近所の藝妓の姐さんもさういふ。お金ちゃんの好物はい、ちけ豆と切り嵌め繪で、玩弄物と來ては目も鼻もない、けれど五錢より高いものはほしがらない。

ほしがらない所が生長して藝妓となつた曉に見込みがあるといふ、お金ちゃんは斯の如き批評の下に育てられてゐるが、お正月には姉さんの旦那とお客さんと阿母さんと姉さんから物を買つて貰つた而して今年から唄を稽古して貰うんだと言ふのだから、一廉女になつたつもりで此お正月は態と褄を取つて、氣取つた調子に。

『お目出度う』

と同じ仲間の藝妓屋の子と挨拶してゐた。

彼等は既に吉右衛門、菊五郎の名を口にして、聞惚れなる語を解してゐた、藝妓屋の子は遂に藝妓屋の子である。

今年は野猪の年

猪突生

▲野猪は猛獸ではあるが餘り人に危害を加へない、只其手負ひさ爲つた時が一番恐ろしいとの事、それも武烈天皇の樣に足蹴にして殺す勇氣があるか、仁田四郎の樣に荒れ狂ふ手負ひ猪の尻に打跨つて匕首を突透す程の手並があるか、八犬傳の犬田小文吾の樣に拳骨で以て打倒す程の腕力があれば兎に角普通の人間で其牙にかけられたら最後である、五寸六寸と云ふ直徑の木でも此牙で薙倒すと云ふ先生だもの向脛を一つ遣られたが最後である。

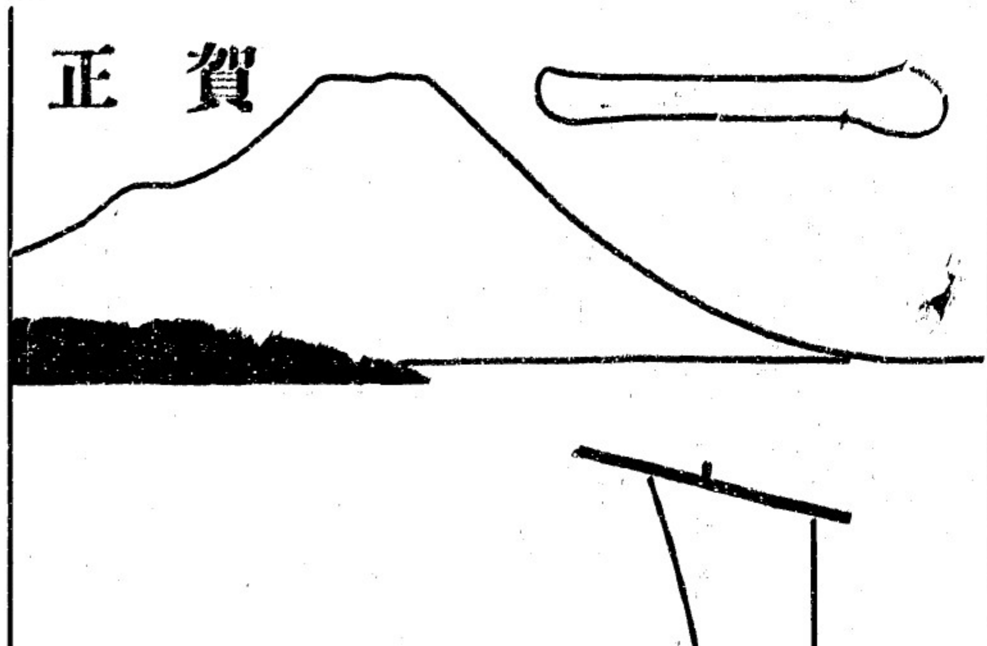
▲然し其肉の美味と來たら恐らく野獸中の第一等であらう、木の皮や草の根を食つて居て稀に畠の芋ども荒すのを無上の美味と心得てゐる野豬の背頂な彼の薄黑い毛の生れた先生がどうして斯んなに美味い肉を有つてゐるかと怪しまれる、料理も其親族か何かは知らぬが里に居て人に飼はれてゐる豚と云ふ奴さんも其食物と云つたら汚穢い事の代表的形容詞となる程のものを食つてゐるが、其肉は頗る美味い、熟れ同類相計つて其步調を一にしたものであらうが、家に飼はるれば豚、野に放せば猪となると云ふのも無理のない話で只牙の有無で以て其區別をする計りである、然し孰らが美味いかと云つたら野に居る牙のある先生の方が數等上である。

▲昔し十二支と云ふものを誰が發明したのか知らぬが、鼠を以て第一として最後に猪を置いてある、其各干支が十二年で以て一週りとなるのであるから、本年が丁度其お終ひの猪の年であるのに何も驚く事は無い、然し外の干支と違つて猪を連想すると如何にも野蠻臭くて、趣味も風流氣も無い、只無暗と突進力が強くて後に廻る事をしない、丁度我邦の古代の武士が戰場に臨んだ樣なものだ、其所になると日本人の氣質は何處にか此野猪に似てゐると云はれても仕方は無いのである。

▲由來突進力の強い我日本人が此野猪を型どつた亥の年なるものを迎へて盛んに活躍すると云ふのは一寸擡げる問題であるが、唯でさへ猪突の日本人に其樣な煽動は云はないが好からう、先づ今年は亥の年だ、ゐゝ年だ位ゐに思つてゐれば世は太平無事であらうよ。

謹賀新年
パウエル街三三二
古木床
電話 六五二五
二八めしや

謹賀新年
パウエル街二二六
丸熊
電話 三〇一九



賀正
會席御料理一富士
宮木國藏
電話 五八〇九

新年の壽
目出度申納候
電話 三九九八
ウエストミンスター街三二八
菊の家
近村八重子

新年の壽
芽出度申納候
電話エル 二四八四
春駒
はる
こま

謹賀新年
松枝與四松

謹賀新年
加奈陀佛教會
開教師 佐々木千重

恭賀新禧
金澤敬治郎

謹賀新年
ウエストミンスター街二二八
土木受負會社内
内山健六

謹賀新禧
パウエル街朝日精米所内
村上幾太郎

謹賀新年
池田久治郎

謹賀新年
アレキサンダー街四一三
藤本下宿

謹賀新年
パウエル街三八二
福島屋旅館

謹賀新年
玉島謹

謹賀新年
パウエル街三三三
神戸屋
電話 二四三三　郵函 二一二六

謹賀新年
東カドバ街一五一
紀伊の國屋
電話 六八三　郵函 二一〇六

謹賀新年
パウエル街二五四
蛭子崎兄弟商會
蛭子崎政太郎

謹賀新年
ウエストミンスター街二三六
根來商店
電話エル三七八八

謹賀新年

土地賣買
諸受負業
濱垣貞一
晩香坡市パウエル街四五一
電話アール二四六三

謹賀新年
パウエル街三五五
關根勇五郎

恭賀新禧
パウエル街三七七
七福湯
上出寅松

恭賀新禧
ポートエッシングトン
岸本半三郎

◎土木工事請負◎
家屋建築請負◎火災生命保險◎土地家屋賣買
◎金員貸借◎（通辯代書）◎
登記公證手續◎地權監理◎土地測量◎圖案設計

謹賀新年

佐伯事務所
佐伯只一
宇都宮鹿之助
山田貫一

恭賀新年
フロント街一九二
山崎製麺所
郵函 二一七五

謹賀新年
パウエル街三四八
鈴木射的場

謹賀新年
産婆
立石テツ
ダンレビー街百十一びわこ亭隣り 電話四七一〇

恭賀新年
晩香坡市ウエストミンスター街二二八
土木受負會社
JAPANESE GENERAL CONTRACT CO., LTD.
P.O. Drawer 2139 228 Westminster Ave. Vancouver, B. C.

恭賀新年
相模屋旅館
青木米吉

恭賀新禧
パウエル街二六八
林家

謹賀新年
九州屋旅館
館主 岡部勝彌
パウエル街四七三

謹賀新年
竹細工卸賣業
晩市キーバー街一六一
福原善之助
電話 六一四七

新玉乃壽ほぎを
芽出度祝ひ
まゐらせ候
電話エル七〇八四
山吹
こいと
たけ子
さだ子
八重子

謹賀新年
パウエル街松本旅館裏
〇福
電話 五三九七
長野小太郎
永野新郎

謹賀新年
パウエル街三五九
梶木店
電話 三八二七

謹賀新年
パウエル街二一四
下村商會
岩本祥太郎
藤澤麻佐義
末田仁市

謹賀新年
パウエル街二四三
熱海床
平井

雜纂

合都の同胞

沙都支社　山田鈍牛

シアトル市在留七千の同胞は如何に昨庚戌の年を送り而して如何に今辛亥の年を迎へしか回顧すれば昨年は實に混沌なる歳なりしよ先づ新春早々に於て夫の日本人會紛擾事件起り兩派互ひに鎬を削りて悪戰苦闘を重ねる事數旬終には分裂して彼我相反目するの醜態を演するに至りしが如き誠に當市同胞發達史上に一大汚點を印せしは甚だ遺憾とする處なれども然れ共今は既に南柯の夢と消えたれば將來同胞間の圓滿親善を阻害すべきものはなく所謂兒戯なりしものなり而して同胞は斯かる渦中に投ぜられしも各種の事業は駸々として向上發展し之れを一兩年前に比すれば幾何の割合を以て進歩せしか其細かに統計を作らば實に驚くべきものあらんか先づ大事業より見れば同胞の資金に由つて始めて建築されたる日本館を嚆矢とし次いで太田及び正金銀行脇ビルデング落成の如きは確かに同胞の發展を表白する大標本と言ふを得べく其他商業組合の成立商品見本陳列所の設備等より各種營業者が店舗の擴張支店の新設或は新規に開業せるものは商店にまれ旅館にまれ飲食店にまれ又た理髪店風呂場球戯場等に至るまで實に其數の増加せし事到底前年度に比すべくもあらず今其大體に於て各團体より各種營業者を一々調査するに左の如き統計を得たり

▲宗教的團体十一▲公私團体即ち縣人會或は倶樂部の如きもの四十五▲日刊新聞三▲雜誌七▲晩市新聞支社三▲印刷所三▲銀行三▲會社七▲醫師十▲齒科醫四▲產婆五▲按摩三▲商店一百▲旅館八十▲料理店四十▲そば屋七▲洋食店四十▲ペーカリー二▲佛菓子屋四▲エキスプレス十七▲裁縫店三十五▲ガイツオークス十八▲活動寫眞館七▲大工十二▲石板師三▲ブラマー二▲寫眞師五▲畫家三▲肉魚店五▲湯錢屋三▲豆腐屋二▲桂庵八▲通辯十▲各種周旋及代理人十五▲理髪店三十▲洗濯所三十▲西洋風呂二十餘▲日本風呂十三▲球戯場四十▲新古家具商五▲靴工十

を主なるものとし只だ一軒丈けの營業者に至つては小催建築師あつて次ぐ家屋の構造を為すべく紐育美貌院あつて以て廉末なる御面相の修繕造作を為すべく此外電氣工事請負師ありカーペット、クリーナーありて社會に於ける人間の營業としてはアンダーテーカーと石塔屋と花屋とを除くの外は殆んど備らざる處なく實に移民地の在留同胞としては遺憾なく發展したり而して是等各營業者及び個人の住家に於て使用せる電話の數は去る九月の統計に由れば實に五百有餘の多きに達せしは確かに同胞が日々の業務の為め大に活動せるを證明する一例にあらずや之れを沿岸各市に徴するも斯く多數の電話を使用し居る處は果して何地に在りや而かも當市の電話料は決して廉なりとは云ふべからず一ヶ月一弗五十仙乃至四弗の定約電話と一回五仙を投入するの兩者とあれど苟くもビヂネスマンたる者は言ふに及ばず各住家に於ても先づ之れを使用するを以て常例となす今之れを一戶平均二弗五十仙と假定するに於ても毎月金一千二百五十弗を支拂ふに至る一ヶ月にして此電話料一年にしては一萬五千弗豈に莫大なるものにはあらずや而かも在留同胞が平然として之れを支出し尚ほ益々新架設が促がすを見る之れ發展を意味するにあらずして何ぞ然り吾人は斯の如くにして年々獨立營業者の數を増加せり商店といひ飲食店といひ孰れの方面も同業者は續々として増殖せり之れ固より慶すべきの事にはあれど然れ共増殖せる營業者は果して誰人を顧客となさんとするの意ぞ今日新渡米者の途は杜絶せり附近に於ける小市より出遊の來客は疎遠になれり加之日曜令は嚴乎として勵行されぬ於是乎各飲食店の如きは非常なる大打擊を蒙むれり若しも飲食店にして斯の如くんば其影響や必らず各商店に及ぼすべし然らば自他の各營業者も亦た其餘沫を受くる必然の事なり斯くて我在留同胞は如何にして自活自營の道を得るか之れ大に研究すべき社會問題にあらずや否な之れ社會問題にあらずして國家問題に屬す抑も國なるものは併び立つを以て國と為す然るに邦家一たび辱めらる之れ決して對等國に非ず今日の我大日本帝國は果して如何なる態度を持して米國に對抗しつゝあるか敢て予の贅言を須ひずして了解するを得べきも予は實に之れを以て我帝國の大恥辱と為すものあり見よ條約改正は眼前に橫はれり而して之れに對するの措置は如何内外に於ける志士が筆を禿ふし聲を嗄らして筆戰論議するもの當路の大官が邯鄲の迷夢を破るにあらずんば到底此問題は解決さるべきにあらず嗚呼之を憶ひ彼れを想へば折角に吾人が築き上げたるシアトルの同胞城廓は宛然砂上の樓閣たるべきか遮莫吾人は須らく進取して而して退嬰すべきにあらず假令後軍の續き來らずとも攻むべきは攻むべきなり若し萬々一平和の戰爭に於て敗れんか次に來るべきものは果して何ぞ……硝烟彈雨……三尺の秋水……アハヽヽ大和男兒有骨矣……在合都及晩香坡の同胞諸兄姉快よく明治四三庚戌の歳を送り更に四四辛亥の年を迎へ猪の如く猛進して其意志を貫徹せよや左らば予も之より屠蘇を傾けて諸君の萬歲を祝せんかな

●猪五題　摩天樓

猪は羊齒に相應し病める時
芋を堀る猪追て見ん寒の月
遣り過す猪一發に打止めぬ
雪道を只驀地野猪の行く
猪の寐居して猛し山寒し

賀正

パウエル街二四四

宮崎洋服店

電話　二七二二　郵函　二一四三

恭賀新禧

パウエル街五四五

（電話一七八八）

東合資會社支店

店主　山下藤太郎

謹賀新年

パウエル街五六八

鳴瀬商店

（電話エル四二八一）

謹賀新年

スキーナにて

中川音彌

吉川音吉

謹賀新年

パウエル街松本旅館第三十一號室

米山石次郎

謹賀新年

パウエル街五二七

神崎旅館

外村仙二郎

謹賀新年

鈴木商店

（パウエル街四三七　電話六三六一）

謹賀新年

パウエル街二六二

田中魚店

電話　五六六一

謹賀新年

パウエル街三五七

高知館

志賀宅馬

恭賀年年

パウエル街四三九　四四一

内田千代七

（電話　六〇　郵函　二一八三）

恭賀新禧

在ナヽイモ

郵函七九六

森音次郎

榎本龍吉

謹賀新年

パウエル街三五〇

村上　石丸　事務所

電話　二四七七

村上球場

謹賀新年
一月一日
チオイナス　郵函一二五
内外雜貨食料品商
岡田武吉

謹賀新年
一月元日
ダンカンス　郵函一〇二
美術雜貨商　日本食料品　勞働口周旋
黒山徳次郎
三宅喜之助

謹賀新年
在スキーナ　クラクストン
上手七藏

謹賀新年
アローヘッド
今中京一

謹賀新東
南京料理そば
キャーロル街とペンダー街角二階
北京酒樓
電話　四三六七

謹賀新年
南京料理そば
東ペンダー街三
宴新樓

謹賀新年
南京料理そば
杏花樓
東ペンダー街一二九

謹賀新年
南京料理そば
東ヘステングス街八
天津樓
電話エル四〇四六

謹賀新年
オールダグローブ
久保庭喜三郎

謹賀新年
一月一日
ナナイモ市
内外美術雜貨食料品販賣店
上野商店
郵函一二四

謹賀新年
一月一日
ダンカンス（郵函一二四）
カウチン洗濯所
芋谷庄藏
中津米吉
P. O. Box 124
Duncans, B. C.

ステブストン廣告

賀正
吉崎與七郎

恭賀新年
ステブストン
ルビノウ井ツ日本人部主任
秋本顯美

恭賀新年
ステブストン
中塚千代松

恭賀新年
ステブストン
吉田謙一郎

恭賀新年
ステブストン
林球戯場

謹賀新年
ステブストン
磯村源太郎

謹賀新年
一月一日
ステブストン（郵函一〇二）
下野五郎吉

謹賀新年

熟練なる職工を聘し材料を精撰し最も迅速に且つ低廉にて各種造船の注文に應ずべく候間不相變御引立あらん事を

一月元旦
ステブストン（郵函一二〇）
田中
中出
造船所

新年の御慶目出度申納候

舊年中は一方ならず御贔負に預りありがたく御禮申上候尚本年も亦精々勉強いたすべく候間相變らず御引立の程ねがひ上げ候

一月元旦
ステブストン
あしべや事
尾山つま

謹賀新年

本年も精々勉強可致候間不相變御引立の程偏に奉希上候

一月元日
ステブストン（郵函五〇三）
内外雜貨食料品商
阿田木商店

謹賀新年
ステブストン
武藤理髪所

謹賀新年
ステブストン
尾浦久吉

恭賀新禧
ステブストン
山本次郎松

恭賀新禧

舊年中は日本人諸君の御愛顧を忝くし難有奉謝候尚本年も親切叮嚀を以て精々勉強致候間不相變御引立の程奉希候

ステブストン上南京町
内外雜貨食料品商
同和店

ビクトリア市廣告

謹賀新年
一月一日
美市
日本美術雜貨商
川合林衛

謹賀新年
美市ブロートン街六四二
伊勢洋服店
Japanese Tailor Shop
642 Broughton St.
Victoria, B. C.

謹賀新年
ビクトリア市
高井重逸
佐藤武雄

謹賀新年
美市ヘラルド街六一七
石田旅館
石田元藏

謹賀新年
美市ガバーメント街一七二四
理髪風呂
本田甚五郎

謹賀新年
ビクトリア市
原田金太郎

謹賀新年
一月一日
美市ガバーノメント街一四〇四
日本美術雜貨商
石井菊治郎
郵函五九二

謹賀新年
一月一日
移民周旋通辯
美市ストーア街一六二九
桑原文平
郵函八一四

謹賀新年
一月元旦
日本美術雜貨商
本店
横濱バザー
美市ガバーメント街一四三三　郵函五三〇
鐒部朝之助
支店
東洋バザー
美市ダグラス街一三三〇

謹賀新年
一月元旦
クロンダイキレストラント
美市ジョンソン街五三六
小堀米太郎

恭賀新年
一月一日
美市フイスガード街一五一六　一五一八
郵函三八八
大澤旅館
大澤林之助
大澤源吉
OZAWA HOTEL
516-518 Fisgard St.,
Victoria, B. C.

謹賀新年
一月元旦
美市ガバーメント街一五〇一
日本美術雜貨商
永野萬藏
同　支店
美市ダグラス街一一一七
郵函五九一

謹賀新年
一月一日
美市ガバーメント街カモラント街角　郵函八一四
支那料理並に日本めし
伊藤省一

日本劇壇の曙光

〔東京編輯長〕阿藤悲風

▲進歩の機運

在外邦字新聞に芝居の話でもあるまいとは思つたが、差當り思ひ付いた外が無いから、ザツと過去の劇壇を回顧し、又手將に來らんとする辛亥劇壇の新傾向を豫卜して見たいと思ふ。

昨年に於ける日本劇壇の覺醒と進歩とは著るしいもので、之を過去二十年間の國劇衰頽時代に徴すると、最も價値ある内容に富める潑剌的競爭時代の觀がある。言ふ迄も無く競爭は進歩の階梯で、それが甚しければ甚しいだけ速進するのであるが、昨年の劇壇は其の内面的覺醒に伴ふ競爭ばかりで無く、外部的刺戟に基く競爭が甚しかつたから一層其の進歩が價値あり意義あるものとなつた。

▲覺醒的競爭

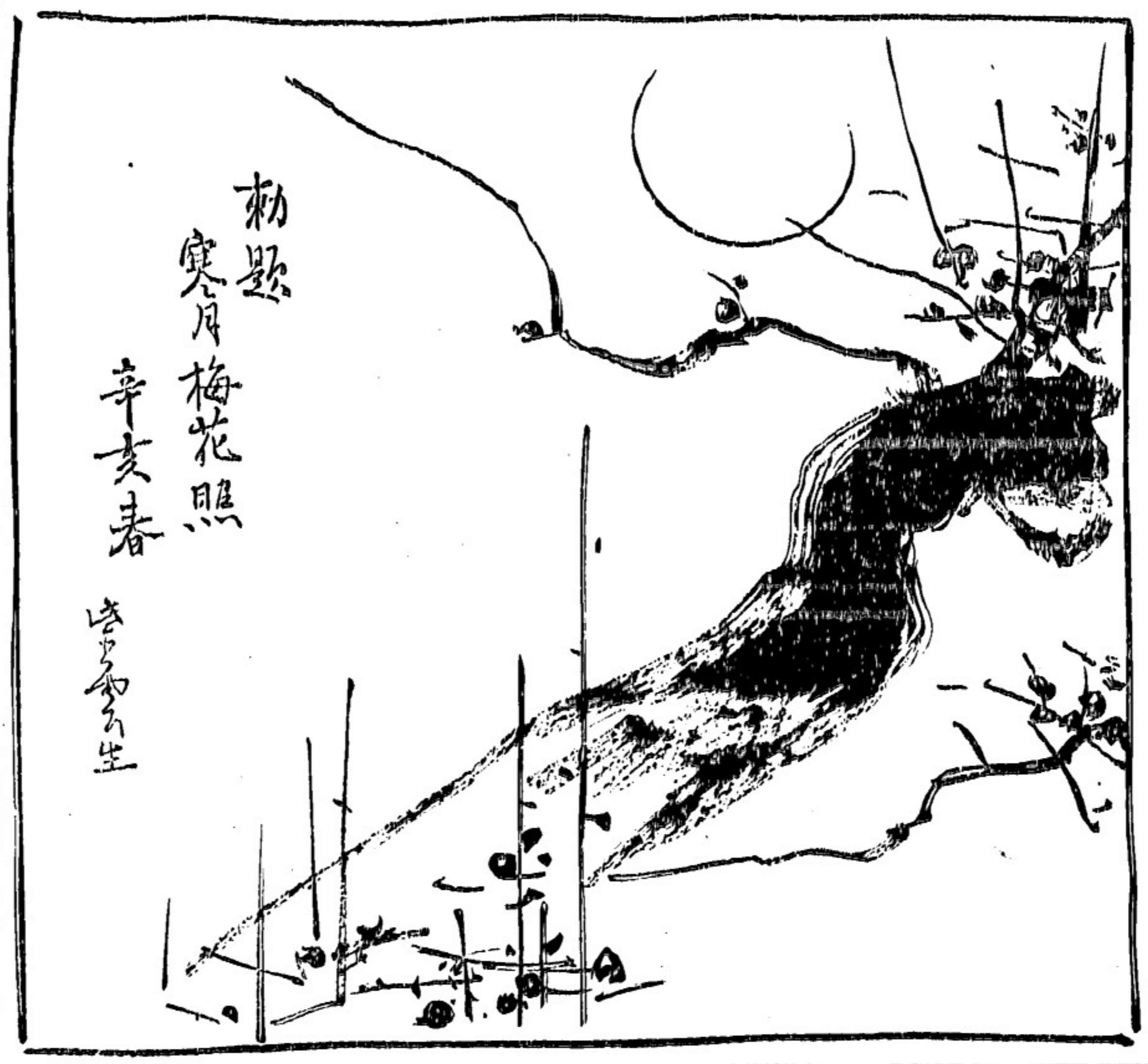
之は劇作者、俳優、座主等が世界の大勢、國民趣味の歸趨に鑑み内面的に覺醒して改善を圖つたもので、小山内氏の自由劇場、中尾氏の新社會劇、栗島一派の新喜劇及び家庭劇、井上正夫の新時代劇、その他佐藤鐵也の宗教劇、藤澤の俳優學校、坪内博士の文藝協會、帝國劇場の女優養成等總て其である。而して其の標榜する處の旗幟と形式こそ違へ、其の目的とする革新の精神に至つては何れも大同小異で、要するに新時代の人に、理想的の脚本を理想的に演じて見せるといふのが其の目的である。最も之等新興の一座中、栗島一派の喜劇團、佐藤一派の宗教劇等は、聊か場當りを見込んだといふ嫌も無いではないが、併し在來の型を追はず、新に機軸を出した處に革新の意氣を示してゐる。

▲刺激的競爭

之は外部の刺戟に由つて競爭を餘儀なくせられ、若しくは覺醒を強ひられたもので、昨年に於ける此の競爭と覺醒は實に明治演劇史上に特筆すべき目覺しいものであつた。先づ競爭の側から述べて見ると昨年五月日本の全劇場をトラストとせんとの大望を懷ける松竹會社が突如東京に現はれた。そして反對派や新聞紙が『大阪の贅六共に何が出來るものか』と嘲つてゐる間に、新富座を買収し、本郷座を陷入れ、更に東京座、明治座等にも探りを入れるといふ始末、サア恐らなると衆說紛々、ヤレ鴻の池を抱き込むで帝國劇場を買収するの、歌舞伎俳優の下廻りを買収するのと上を下への大騷動に流石智謀に富める歌舞伎座の田村將軍も餘り寢覺めが可からず、終に高麗藏分離問題以來敵視してゐた明治座と握手し、尚遠く大阪の浪速座等と欵を通じて松竹會社に當る事にした。かくて劇壇の分野は歌舞伎派、松竹派及び宮戸、眞砂の三派鼎立の姿となつたが、此の競爭の賜物として、明治座の十月興行に中村芝翫の應援となり、本鄕座十一月興行に新派の大合同となり、近來盛なる芝居を見せて吳れた。最う一つ外部的刺戟を與へたものは活動寫眞の流行である。一時全盛であつた講談、娘義太夫、浪花節等を喰つて一瀉千里の勢ひで藝界を風靡したる活動寫眞は、其の時間の簡易と入場料低廉なるとに由つて正に劇壇の壘を摩せんとした。茲に於てか俳優は各自活動俳優たる事を深く戒め、劇場主は亦術無し、時間短縮、觀劇料引下げ等に由つて其の影響を防止せんとした。之等は少くとも時間の空費、觀客の勞費等に對して充分研究の問題たらしめたのである。次に刺戟に由つて覺醒を與へたのは實に俳優の風紀である。渺たる一週刊雜誌『東京』が一度び貴婦人と俳優との關係問題を提げて風紀の革正を絶叫するや、天下愕然として其の墮落の甚しきに吃驚し、終に警視廳の劇場取締となり、名題以上の俳優には刑事を附して其の素行を誡しむる迄に至つたから、流石厚顔無恥の俳優も藝妓と待合入りするさへ遠慮する程になつた。之は直接藝術に關係が無いやうだが、藝術家の品位を保つ上に於て又藝道に專念たらしむる點に於て尠なからず貢獻する處があつたと思ふ。

▲辛亥の劇壇

之を要するに庚戌劇壇に於ける内面的覺醒は劇其の物の革新を促進し、外部的刺戟の競爭は興行を盛んならしめて俳優の品性を高め、兩々相俟つて漸く競爭時代より大成時代に入らんとするの機運を示した。知らず、此の乾坤と共に希望多き辛亥を迎へた劇壇は果して其の機運を全ふし得るや否や、吾人は正に三鞭酒を擧げて其將來を囑目するものである。〔完〕



謹賀新年

New York Life In's. Co.
THE GREAT INTERNATIONAL LIFE IN.S. CO. IN THE WORLD
世界最大の
ニユーヨーク
生命保險會社

西北部日本人總代理人
英米一

晩香坡市主任
東洋請負會社内
小川琢磨

新西院市廣告

恭賀新年
新西院
宮城縣人會

謹賀新年
ニウエストミンスター市
マクニリ街二七
旅舘
寺崎芳太郎

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市ブラツキー街一三
松村千五郎

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市
コロムビア街八八五
理髪床
辻勘三郎
近藤茂平

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市コロムビア街
西島卯平
郵函　四三七

謹賀新年
一月元旦
ニウ、ウエストミンスター市
第十五街四三三
受負業
篠原萬次郎

謹賀新年
三國商店
ニユウエストミンスター市
電話　三三　郵函　八七八

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市ラメージ街八八二
玉置旅舘

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市コロムビア街八六三
ウエスタン
洋食店
池田平
徳永武彦
矢野廣馬

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市
ベクビー街
信夫千代治
電話｛事務所　三三七／自宅　六〇六

恭賀新年
ニウ、ウエストミンスター市
第十二街一二二
近藤傳彌
郵函　二九六

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市カーナバン街
南京そば其他御料理
ゑびす屋
有田喜代治

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市
ラメージ街
菊水

謹賀新年
ニウ、ウエストミンスター市ラメージ街八六二、八六四　電話五七三　郵函四二四
御料理並ニ豆腐
沖永由松

謹賀新年
理髪店　玉突場
勞働口周旋　代書通辯　地所賣買
ニウ、ウエストミンスター市マクニリ街九
東洋社
主任　下堂園市之助
電話　六〇〇

謹賀新禧

舊年中は不一方御引立を蒙り候段難有御禮申上候尚本年も不相變御愛顧の程希望候　敬具

明治四十四年一月一日

日加合同貯蓄株式會社

專務取締役　田村新吉

社員一同

Vol 4 No. 1052
(1)　Sunday January 1 1911
Entered at Vancouver, B.C. P.O. as second class matter

Tairiku Nippo
THE CONTINENTAL DAILY NEWS

明治四十四年一月一日
第一千五十二號（日曜日）
（加奈陀郵政院認可）

大陸日報

THE
Continental Daily News
PUBLISHED DAILY
EXCEPT SUNDAY.
124 Gore Ave.
Vancouver, B. C.
P. O. D. 2139, PHONE (3065 3024)
PUBLISHED BY
Yasushi Yamazaki

發行兼編輯人
山崎寧

昨日着電

加奈陀電報

●移民獎勵建議（ネルソン）

當地保守黨員の實行委員會にては州政府に對する重要なる建議を提出するの議案を可決せり其中にて最も重要なるものはピー、シー州の未だ殖民されざる地方ふ向つて州政府の決律にて新たに移民を招致するの方法を講ぜられたしと云ふありて他の決議ふは同地方の道路を開鑿し橋梁を架設せん事を請願するふ在りと

合衆國電報

●叛徒追擊（エルパソ）

三十八名の叛徒は六十名の兵卒に護衛されて法廷の審問を受くる爲め昨日パルクルよりチフハフハに送られたり又山嶽地方の叛徒を追擊すべく派遣されたる二百の兵士は今週間內に五名の捕擄を送り叛徒はソノラより退却しつゝあるを以て猛烈なる追擊中なりと報告せりパルジル地方ふては叛徒の陣營を瞰視す可き高地に士官三名は五十名の兵士を引率して合營せるも未だ何等の運動を開始せず

歐洲電報

●義勇者賞金（伯林）

カーネギー氏は獨逸に於ける人命救助者賞金の基金として今回一百二十五万弗を支出せるが右は過般米國及び佛國に於て組織されたる勇士賞金と同樣のものなり

雜報

●海運業の發展

日本政府最近公表の報告によれば我が海運業の發展は最も興味ある事項として注目に價するものあり政府が夙に之を保護獎勵したることは世人の熟知するところなるが千九百六年三月以來は特別の法規制定されて補助金下附のことあり其れ以前千八百九十三年より徐々に斯界は發展の趨勢を示し來りて千九百三年ふは滊船六十五万七千噸、帆船三十二万二千噸を有するに至り九年以前に比較して實に四倍の優勢を告げ千九百九年の終期ふ際しては滊船噸數百五十七万五千七百三十六の多數となり現在國內の開港場は總數三十五にして勿論橫濱と神戸とを双璧となすの有樣なるが兩港に於ける千九百八年度の貿易額は約八億圓に達し又た船舶數は日本郵船所屬のもの百二十四隻、三井物產四百七十二隻、大阪商船百三十三隻等なりと

●加奈陀の收穫

……昨年度の農況……

一昨三十日オタワ當局の公表したる調査報告ふよれば昨年中の加奈陀農作地域は總計三千二百七十一万一千六百十二英町ふして之が收穫の價格は五億七千十八万五千五百弗即ち一昨年度の三千六万五千五百五十六英町、五億三千二百九十九万二千一百弗に比して何れも增額を示し居れるが此中小麥、燕麥及び大麥は一昨年は耕作地域千八百九十一万七千九百英町ふて收穫の價額二億八千九百十四万四千弗なりしもの昨年は地域は增加して二千九十九万二千九百英町となりしも價額は二億四千八百七十三万八千三百弗にして若干の減少を來し居れり而して猶は昨年中マニトバ、サスカチエワン及びアルバータの三州ふ於ける小麥、燕麥、大麥の總產額は二億七千七百二万一千ブッシエルふして即ち一昨年の三億六千四百二十七万九千ブッシエルに比すれば八千七百餘万ブッシエルの減少なりと

●淸新の氣漲る

一陽來復してバラード灣の水澄み渡り獅子頭峰の白雪曙光ふ輝きて何とはなしに淸新の和氣パウエル街に漲る、年頭の廻禮者は笑溢れ『お目出度う』の聲口より口に傳へられ耳より耳に響きて歡喜極まりなし

▲領事官邸　にては例年の如く今朝十時半よりデビー街の同邸に一般在留同胞の爲め御眞影拜賀式を擧ぐべし

▲國民學校　ふ於ても本日午後一時より同校樓上に於て四方拜の式を擧ぐべし其順序は一同着席の上御眞影開扉、君ヶ代二唱、勅語捧讀、田中校長の訓話、領事の祝辭、學務委員代表者の禮辭に次で元旦の祝歌を合唱して閉會し其より野外遊戲あり午後三時より少年會開催さるべく終て茶菓の饗應ある筈

▲佛教々會　は今朝六時新年勤行ありたり午後二時半より佛教少年會あるべく徽章は午前中より會員に配布さる

▲日本人メソジスト教會　は昨夜十一時より除夜會を催し今朝九時半聖書講義、午後三時日曜學校、夜八時信者浸禮式と說教金澤牧師『新年と覺悟あり』二日より一週間初春新禱を行ふべしと

▲各團体の新年宴會　加奈陀日本人會は五日午後七時菊の家に、日本俱樂部は四日午後六時晩香坡商業組合は五日午後日の出ふ於て各擧行さるゝ筈

●合衆國艦隊歸航

歐洲巡航中なりし合衆國太西洋艦隊十六隻は英佛等の歡待に深厚なる謝意を表して愈々昨日歸航の途に就きたるが最初の投錨地は玖馬ガテナモにして之が期日は本月十六日の由

●婦人記者の飛行

加州サンタ、バルバラのエマ、ヒルド孃と云ふは芳紀正に十九歳の身を操縦界に投じ天晴同地の婦人記者として聞へし才媛なれど追ふ米人だけありて擧止閑雅などいふ東洋式の作法には頓着なく有髯男兒何するものぞと勢猛ふ氣焔をあげて今回飛行家アイヴイー、ボールドウイン氏を語らひ愈々本日新春劈頭の吉辰をトして双葉飛行機の同乘を決行すべしとは之が本統の見上げた女かも知れざれどボ氏ふ同乘を請求したる閨秀總体にて十名ありし中にヒルド孃だけ眼鏡にかなひ他は何の原因にやボ氏宜しく敬意を表して拒絶したる次第なりと

●最長飛行新記錄

佛國飛行家モリス、タブロー氏は一昨日所謂マシエルラン賞盃の競技に際し途中一回の休止もなく三六二、六六哩の距離を七時間四十五分にて飛行し斯界に新記錄を出したりと

●詩人變名に反對

アルバーター州メデシン、ハット市民等は夙ふ同市名の變更に意ありしが英國有名の詩人キップリング氏は此程一書を寄せて之に反對の意見を告げ既に世界に普遍的の名稱を變更するは得策に非ず寧ろ傲然其名を固持すべし合衆國のスケネクタデー、トナワンダ、ボキプシー等の名稱を判然記憶し能ふ以上メデシン、ハットは決して厭ふべき名に非ずとて頻りに舊名保存を主張し居たりとなり

●新鐵道敷設請願

太平洋ハドソン灣鐵道會社は太平洋岸のデトン、チャンネルより路をパインパッスに採りて絡機山脈を貫通しハドソン灣なるチャーチル又はネルソンまでの新鐵道敷設に就き今期加奈陀議會に際し之がチャーターを申請すべしとの報あり

●各地の酷寒

一昨日より昨日にかけ當市は頓に寒氣を加へ來れるが加奈陀東部中部は勿論合衆國も各地ふ亘りて寒氣甚しくミネソタ附近の如きも零度以下二十を示しロッキー近傍ふ至りて更ふ下降し當國ウイニペッグの如きは既に零度以下四十二度ふ達したりと

●遞信副總裁來晚

加奈陀遞信副總裁クールター博士は當州の郵便事務視察の爲に既ふヲタワを出發して目下來晩途上にありと

●幸運なる當籤者

新春劈頭の福の神

去る十二月二十六日午後三時本社編輯局ふ於て本社が先に擧行せる嶄新にして奇抜なる面白き懸賞字探しの抽籤は本紙第一千號記念投票當選者諸君及び各新聞社代表者立會の上ふて行はれしに其當籤番號は既報の如く

一等	一千二百七十八番
二等	五百四十七番
三等	九百〇六番
四等	四百九十一番

となりしが、さて其幸福なる當籤者は果して誰れぞ即ち次の諸氏なりとす

一等當籤者
晚市パウエル街二二九
シー　中村宗吉
賞品　三萬五千弗の景物付フヲートヂヨージの土地一ロット（價格五十弗なり、本人の希望によつては現金五十弗を進呈す）

二等當籤者
ニウヱストミンスター市コロムビア街一二三
中村政次郎
賞品　現金二十五弗

三等當籤者
晚市パウエル街三八二
小田茂三郎
賞品　現金十弗

四等當籤者
アルバータ州フランク村
イムペリアル旅館內
岡田輝
賞品　本紙一ヶ年分無代進呈

此等の諸氏は目出度き新年ふ猶此の福の神の舞込み來りし譯なり賞品は不日發附すべし

●百弗の救助料

昨年九月八日頃カナデアン、シーダー製材會社に於て同會社日本人ボックス稲田惠澄氏義弟門永某が就働中過つて左手に大負傷を蒙り入院治療を受け間もなく全癒したるが會社側より其後何等の沙汰なきを以て佐々木開教師は再三交渉を重ねし結果會社ふても出來得るだけの補助を爲すべしとの相談纏まり佐々木氏は一昨日會社に赴き門永氏の病院費及び醫藥料として金百弗を受取りたりといふ

●日本人會の評議員會

加奈陀日本人會ふては一昨夜評議員會を催し四五の重要問題を協議したるが同會は來る五日より事務取扱を再始し取扱時間を延べて午前九時より午後四時までとなし書記一名を雇入るゝに決したりと

●初春の淨瑠璃興行

福岡縣京都郡仲津村の野澤吉雄氏は此迄米國コロラド州より以西諸所ふ淨瑠璃巡回興行をなし居りしが此頃始めて來晚し居るを以て來る四日午後六時よりゴーア街とヘスチングス街角のオレンヂ、ホールにて一興行をなすべしと語物は鏡山故郷綿錦（又助住家の段）安達か原三段目（袖萩祭文の段）艶姿女舞衣（三勝半七酒屋の段）忠臣藏の四段目（判官切腹の段）大切繪合太閤記十段目（尼ヶ崎段）

●片岡氏の葬儀

當晚香坡に在りし岡山縣人片岡節次氏は病氣にて久しくシーター病院に入院加療中なりしも藥石効なく十二月二十八日死去したるを以て昨日午後一時アームストロング、エンド、エドワード葬儀社に於て佐々木開教師司式にて葬儀を營みたりと

●矢田領事幼兒の命名

領事矢田長之助氏は幼兒を『英三』と命名したりといふ

●松倉氏幼兒の命名

本社の松倉松影子の幼兒は昨日加壽子と命名したりと

●青年雜誌の移轉

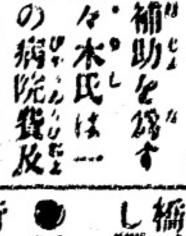
此迄東洋請負會社內にありし雜誌青年社ふては今回事務所をパウエル街二五一番地に移轉したるが之れと同時ふ高橋、海老原事務所も同所に移されし譯なりと

●正誤

新年號第十頁六段三十五行に四百万弗とあるは四億弗の誤りに付訂正す

謹賀新年

アルバタ州レーモンド市
（郵函八二）
立川圓造



▲所謂新年號に就て一寸お斷りしたいことがある▲其れは豫告を爲てあつた遠藤博士、黒岩周六氏等の原稿が筆者多忙の爲か或は郵便の都合か兎に角在東京通信員からの送達が締切の間にあはず遂に紙上の光彩を幾分減殺したことである▲しかし其代りと云ふも異なものだが目下やまと新聞社專任理事として兼ては政論界に嘖々の名ある臼田亞浪氏が態々投稿された▲之は豫期しなかつた文章で無論豫告にも載せなかつた次第であるが兹に減殺を口惜んだ點も兹に復た償はれた譯で此慶びは讀者と共ふ頒ちたい▲病中の澁澤男が特ふ揮毫の勞を惜まれなかつた好意は吾等の感謝するところで要するに吾々は半生移民地と母國との聯絡を必要と認める所信の上から機會ある毎ふ之ふ努める其微意は讀者の諒察を望む點である

大陸片々

▼亞細▼亞行邦の有力なる財團代表者を糾合して大發河野等大協會を組織す西人の飛耳張目可驚也

▼馬尼▼刺間牒騷ぎに陸軍と警察と報告の背馳より軋轢を重ぬと傳へられたるより何とやら壁耳の世也

▼佛人▼エレン孃巾幗の身を以て飛行界に雄飛す二時間半ふ百餘哩操縦手ふ操縦の妙を示すとは素敵

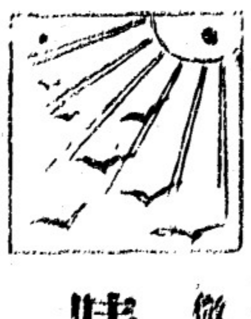
▼黒海▼方面ふ露國海軍省クルップ鐵工所引受を策す獨逸の發展は露紙にも喋々紛々の論あり重案

▼日清▼銀行築ふ正金刺戟されて增資の議本年早々重役會議に提出されんと增資は手段耳運用活目

▼二宮▼なんて高が村長か郡長の見當耳世間の騷ぐ奴に碌な者なしと北雷豪語す內務連中仰天せん

天氣豫報

（明日午後五時迄）



微風　晴

●本日の寒暖計　四十三度

▼米艦▼十六隻昨日英國より歸航の途に就く威容頗る堂々として得た所が艦長の口禍では下さらず

▼紐育▼警察署に黒手黨の脅手紙頻々到來して査公面喰ふ六尺豐の團体を縮上らす黨員も兇猛の極

▼東部▼も平原地方も酷寒甚しく却てアラスカ頗る温暖とは廻合せも奇と謂ふべし晚市は之から也

▼加奈▼陀遞信副總裁クルター博士來晚の途にあり州內事務視察の爲と云ふ改善の餘地幾許も在り

▼新年▼の吹雪再び來すやとてアイダホの村民蒼く成て逃仕度を爲す米國は廣し一地に戀々不感服

▼在米▼清國人の公使攻擊桑港頗る沸騰して論難喧しく器に非ず國を辱しむと此迄來れば後へ退けず

▼市會▼改選亦た目睫の間ふ迫る但し多事の年を送りて多端の年を迎ふ市政の謀策最も慎重考量を要す

▼新春▼の節度迫に移民地母國の夫の如く大袈裟ならず簡易の越年は人何時迄も氣の若い所以なり

▼遊覽▼一陽來復して屠蘇雜煮祝ひの品の數々自から陶器の趣致を誘來る活動の新天地同慶此事也

大陸日報

海外在留同胞の新年に就て

上田黒潮

帝都宮城の曙光、鎮守社頭の曉鴉何れか新春の吉瑞を示さゞる、左れば巍闕の下に綺羅錦繍を飾れる貴紳より、野猪出沒する山村の小農に至る迄年毎に此嘉例を繰返して、門松の色は長しへに緑に、旭日の旗は世々に渝る事無きこそ我大日本帝國の新年なりけり。

明治の聖代に於て我大和民族は鬼が住むてふ高砂の臺灣島をも版圖に加へ、更らふ亞細亞大陸の一角に遼東半島を占め、北邊の殊域に樺太半島の半を割き、昨年に至りては東洋禍亂の根原たりし朝鮮半島をさへ合せたれば、昔帝國と呼ばれたりし我邦は今や大陸帝國と稱するを得るに至りぬ、年毎に祝ふ新年の目出度さに異る所はあらざれど　明治四十四の亥の年を迎へたる今年こそ我國民は古今未曾有の恰ひを表はす可きならずや、斯くて我六千萬の同胞は此擴大されたる版圖ふ於て各自に其祝典を擧げつゝある可きが、茲に此等の領土以外に於ても我日本帝國の臣民は世界の至る所に足跡を印し、大は在米の十萬と稱する移民より支那沿岸の香港、南洋新嘉坡、南米の各國、印度、亞弗利加の南部及び濠洲西比利亞等に至るまで大小の團體を為して居住の基礎を作り至る所として樂しき新年を祝はざるは無し、其他歐洲の各都府にも又多少の同胞が官命或は留學の為に滯在し商用にて半は移住的にト居せる者と共に、其數の多寡に關せず我日本の新年と云へば極力彼國の例に則りて所謂萬里同風の實を擧ぐるを力む、予は當加奈陀に來りて始めて北米大陸の新年を迎へ、所謂る新年の儀式なるものと我在外各地の同胞とを連想して頗る興味を覺ゆる者なり。

洋の東西、球の南北、為ふ寒暑の相違と風物の異同とを免かれずと雖も、吾が大國民の種族と習慣とが到る所に千差万別を呈するも我在外同胞の新年なるものは實に此國のそれと毫も異なる無く、偶々母國の物質を仰ぐの便無き地方に在りては止むを得ず其形式に於て不倫の嘆ありと雖も大、公使館より領事館等の所在に在りては同胞等しく　陛下の御聖影を拜して君が代の曲を奏し、此日一日を以て懷かしき母國との間に無形の連鎖を作り、國家の進運を謳歌し國力の發展を歡喜して、在外同胞の將來に及び、其雄飛を念ひ其活躍を期するの情に至りては毫も相違あるを知らず、聞説く當加奈陀の寒山、荒野或は邊海寂寞の漁村等に我同胞の散布せる者優ふ一万人を數ふとぞ、而して此等の同胞は榛莽の鑛烟に鎖さるゝも荒磯の蠻雨に閉めらるゝも其侘しき假家の內ふは常に　陛下の御聖影を安置し同胞相集ふて此新年を祝すと云ふ、思ふて是に至れば我同胞の海內に發展するもの年を追ふて加ふる所以のものは、此國家を以て念とし母國の風を保持して其品位を自重するが爲めなるを覺るに餘あり、在外同胞の娛樂にして敬虔なる之を母國の人士に示して、以て人意を強ふせしむるものと爲すも焉ぞ妨げん。

予は往年英領香港に在りて所謂る暑き新年を迎へ、新年らしからざる景物の中に猶且つ幾多の同胞と共ふ之を祝したり。其後南船北馬放浪十年に亘りて支那沿岸の各地に各異りたる新年を迎へ、最近滿州に在りては嚴寒の奉天府に於て一回と、鴨綠江畔の堅氷上にて更に一回の新年を迎へ次で帝都に歸り、又も其春色に浴するふ當りて往事を追懷し、在外同胞の新年が如何ふ其虛飾なき迄に於て其誠實なる點に於て母國近代の惡風潮に染まざるを得たるかを喜ぶを禁せざりしなり。而して今又當加奈陀ふ籍して最も質實にして敦樸なる同胞と共に此新春の賀を交換するを得、是れ予が半生の歷史中に於て正ふ特筆大書す可きもの、今海外在留同胞の新年と題して一言之に及ばんとするの微意も又此爲ふ外ならじ。

予は斯く自己一家の見地のみを以て之を萬人に律せんとは思はず、然れども予が各地を經由し來りて我同胞の情態に鑑み、新年を迎ふる度每に常に各地の實歷を追想して之を綜合するに於て、在外同胞の新年なるものを祝賀するの意が單に祖先より踏襲せる無意義の形式を追ふものにも非ずして、常に母國を懷ひ自己を勵ますの機會に供されつゝあるを知るを得るなり、在外同胞の新年を迎ふるや之を以て國民性の興起に貢獻せしめ併せて同一地方に將來の運命を共ふする者が其一致團結の素因を培養す可く、同一の精神同一の形式同一の快樂を以て恭謙相賀するの狀を見れば、此を國民的の大團結を意味する偉大なる教訓と爲すと謂ふも敢て過言ふ非ざる可きを信す。

加奈陀の地母國と洋の東西を隔てゝ雲濤浩渺四千餘哩の外に在りと雖も、幸ふして我同盟者たる大英國に隷屬し、其曆日我と其撰を同じうして彼れ白人と共に之を慶賀するを得、須らく日英の兩國旗を飜して此新年を祝し遙かに我　天皇陛下の萬歲を三唱すると共に、大英國皇帝ヂョージ四世陛下の萬歲を祝す可きなり。

▲各種時計附屬品
▲貴金屬寶石類
▲金銀細工
▲時計修繕
晩香坡パウエル街三〇一
松林時計舖

洋服新調は弊店に限る
晩香坡市ゴーア街一三〇
寺倉洋服店
〔電話二二三二
郵函二二三三〕
見習弟子二名
右至急募集す御望の方は御來談あれ

クスリ　化粧品
有効卓越　かぜぐすり
御遠方注文は御送金次第迅速叮嚀に御送附申す可く候
パウエル街二四九
（郵函二一一四）
磯村藥舖
P. O. Box 2114
Vancouver, B. C.

高等御旅館相模屋
內外汽車汽船切符取扱
各種勞働口周旋
晩市アレキサンダー街三一三
館主　青木米吉
「電話二一五　郵函五六」

通辯飜譯事務
英文學研究會　毎日曜日自午後二時至午後三時
英語夜學校　毎月水木金自午後七時至九時半但各自に教授す
パウエル街二三五松本旅館內
米國文學士　駿田一二三

理髮店　取扱叮嚀
貸ルーム　室內清潔
土地賣買通辯代書事務所あり
晩香坡パウエル街三九〇　電話四四八七
中川床

御手輕料理　並　ふめしすし
松本旅館裏
（電話五三七九）
〇福亭

呉服及家具類一切
（値段抑々）
日本人方の御來店を待つ
グランビル街五七五電話三四一
ゴールドン　ドライスデル
Gordon Drysdale ltd
575 Granville St. City.

洋服裁縫　洗濯修繕
多年の熟練と叮嚀勉強とを以て大方諸君の御注文に應す
晩香坡市パウエル街三〇〇
一位洋服店

特別大勉強
和洋雑貨食料品一切販賣
晩市パウエル街五六八
電話エル四二八一
鳴瀨商店

品質佳良　特別安價
ウエストミンスター街一一八
新井洋服店

◉開店廣告◉
▲生魚色々
▲果物類
▲をいすたー
左記の所にて右の品賣捌開業仕候
（電話二三二）パウエル街二〇七
熊本床東隣り
城戸魚店

▲雑貨商▼
毎日新鮮なるパンを製造す
殊に日本人諸君を歡迎す
パウエル街三九五
デービン商店
F. G. DAVIN 395 Powell St.

勞働口周旋　地所賣買
受負業　通辯
領事館諸願屆書代筆
晩香坡市パウエル街三〇〇
電話 [illegible]
共進社

水パイプ、流し取付け又は設計等すべて下水まわりの仕事は早くて極安く致しますから何卒御用仰付けられ度候
東ヘスティング街二三九
ダブリュー、エー　ブラウン
『電話　七七〇』
W. A. BROWN
239 Hastings St. City.

The Japan & Canada Trust Savings Co., Ltd.
日加合同貯蓄株式會社
銀行事務　定期預金　當座預金　貯蓄預金　日本送金　荷爲替　貨幣兩替　附　チェック引換
執務時間　午前九時ヨリ午後六時迄　土曜日午後九時迄
商事受托　擴鮭　擴鰊　米穀　麥粉　木材買附　依托販賣
加奈太バンクーバ市パウエル街
取締役　田村新吉
388 Powell Street, Vancouver, B. C.
Phone 123　P. O. D. 2170

THE CANADIAN NIPPON SUPPLY CO. LTD.
PHONE 839　VANCOUVER, B. C.　P. O. BOX 2108
シーピー鐵道就働者募集
ギャングセクション日給一弗五十五仙より一弗七十仙
ショップ働き　壹弗四拾五仙
外にオーバタイムあり
ギャング及ショップ増員至急募集す
其他ギャング新設希望の御方又は特別御相談可申候
申込所　晩香坡市パウエル街三三八
日加用達株式會社
電話　八三九
郵函　二一〇八
同　晩香坡市パウエル街三六〇
支部
（電話三九七）

葬儀一切取扱
ウエストミンスター街六二〇
アームストロング　エドワード
葬儀社
Armstrong & Edwards.
620 Westminster Ave
Phon 1390　Vancouver B C

The Yokohama Specie Bank Ltd.
P. O. Box 2634 B Sta.
415-429 Sansome St. San Francisco, Cal.
◎本店預金（定期六ヶ月以上三ヶ年以內　利息年四分五厘）（金廿五圓以上）
通知期限無シ　利息年三分五厘
●預金者ノ御便益ヲ計リ當桑港支店ニ於テ橫濱本店預金證書ヲ發行致候間直接當支店ヘ御申込相成度候
◎本邦送金（米貨五拾弗ハ邦貨壹百圓ノ割合）（金五圓以上）
●最近便ヲ以テ本邦ヘ送金手續取扱可申候
◎支店預金（定期壹ヶ年　年弐分）（金廿五弗以上）
（保護　引出自由（無利息））
●當店宛御送金ノ節ハ可相成桑港渡リ銀行爲替手形又ハ郵便爲替券ヲ以テ御送附被成下度候
橫濱正金銀行桑港支店

移轉廣告
生儀今般左記の所にて醫術獸醫の診察に應す
パウエル街四六九
醫師　岩下繁
〈郵函三七　電話三三七〉

いなりずし
のりまき
パウエル街二六八
電話三四五五
林家

各種時計販賣
並に修繕　迅速　叮寧
ウエストミンスター街二三〇
米滿時計店

内務省免許産婆
助産の御依頼に應じ申候
パウエル街三二（二階二號室）
大澤もとゑ

産婆開業
立石チツ
晩市ダンレヴィー街百十一
（電話四七〇一）

廣告

加奈太唯一、確實にして有益なる傷病保險

詳細は拙者に就き御問合はされたし
ウエスターン、ライフ、エンド、アクシデント保險會社
日本人代理　植田文次郎

米國醫學士
内外齒科
森平鎌太郎
パウエル街二四五池田旅館内一二號室
（電話アール一三六二）

郵函二一九五
電話五三四二
パウエル街三三九
地所賣買
佐伯事務所
SAIKI & Co.
P. O. Box 2195 Vancouver, B.C.

醫術開業
内外科、眼科、
宮崎旅館第九十號室
豫備陸軍々醫　野尻睦男

▲日本雜貨食料品一切
晩市アレキサンダー街四〇九
淺尾商店
電話七〇一一
淺岡、尾本
409 Alexander St. Vancouver, B. C.

●家屋造作　●建築指物
●竹細工　●大工職
前迫秀吉
電話アール七三〇五
晩市ゴーア街一三〇

人夫六十名至急募集

シングル切り一コード一弗廿仙
場所は北晩香坂キャピラノ
賃金支拂期日毎月二十日
池田旅館内　福田熊五郎

浴場清潔　取扱叮嚀
花のみやこ湯
土曜日、日曜日は樂湯
晩香坂市パウエル街四二七
山岡莊次郎

食料品一切
和洋雜貨
瀬戸物。大工道具一切
晩香坂市パウエル街二二三
でんわ三五九七
松宮商店
日加運送社

●御めし●おすし
小便横丁　千鳥
電話二六九九

凡ての機械ボート及び必要なる附屬品消耗品一切
取揃へ有之候間御用仰付け被下度候
吉富機械店出張所
ナ、イモ　岡本キャンプ内

---

uQong Chin, Jeweller.
7 Pender St.　Vancouver, B. C.

裝飾品
金銀細工物一切

弊店は十數年來當地に於て營業致し居り價格低廉にして品質は上等精巧なるは保証仕るべき所に候何卒大方の紳士淑女諸君陸續御來店の上御購求あらん事を願上候　敬白

ペンダー街七番
廣珍寶玉舖
（郵函一九六二）

和洋雜貨食料品
エキスプレス
晩香坂市パウエル街四三三
郵函三三
電話三五三
堀善商店

●内外食料品商
パウエル街二一四
下村商會
電話三三九三

W. OYA　457 Powell St., P.O. Box2153 Vancouver B. C.
（電話）
和洋食料品一切　其の他雜貨類
晩香坂市パウエル街四五七
電話二四五
郵函二三
大屋商店

食料品及び雜貨
パウエル街一二六
池田十七吉

○婦人子供衣服
○同附屬品
○ボンネット
○きれ地各種

其他日本御婦人向きの品種々取揃へ有之候間御一覽の上多少に拘らず御買上げの程願上度候

舊ドラスデール跡
ダアビッド
スペンサー
David Spencer & Co.
Hastings St. W. City

◎移轉廣告◎

今回東ペンダー街二九よ移轉仕り從前の通り營業致候間何卒御來車の程願上候

南京料理並にそば
杏花樓

晩香坂料理店組合
「いろは順」

- アレキサンダー街三〇〇　一富士　（電話五八〇九）　宮本事
- パウエル街二六六　春駒亭　（電話エル二四八四）
- ウエストミンスター街　梅香　（電話R四三六三）
- パウエル街三三三　二八　（電話六五二五）
- パウエル街三三三　山科亭　（電話二七七九）
- パウエル街二二六　丸熊　（電話三〇一九）
- パウエル街四五一　吾妻　郵函二一三三（電話エル二二〇七）
- ウエストミンスター街　菊乃家　郵函二一〇七（電話三九九八）
- パウエル街二三九　日乃出

郵函變更　二一〇六
宿屋　室内清潔

和洋雜貨食料品
晩香坂市東カドバ街一五一
紀の國屋
（電話六八八三）

▲廣告▲

今回衛生上大清潔法施行致候に付是迄預り居り候御客様の荷物一切來る十二月廿五日迄に御引取り被下度若し同日迄に御受取無之時は荷物紛失致し候とも當館は一切責任を負ひ不申候

パウエル街四三九、四四一
内田旅館
電話六〇郵函二一八三

電話番號變更
九〇五
醫　石原明之助
アレキサンダー街三五四

インキ注ぎなしで吸込み付萬年筆指にインキも付かず書宜い事無比
代價は大小撰り取り二弗。二弗五十仙。三弗三弗五十仙。四弗四弗五十仙
タムソン書籍店
ヘステング街三三五

●新荷着●

新柄流行形
洋服及パンス

右は日本人向製に直段、サイズ共御好次第てあります

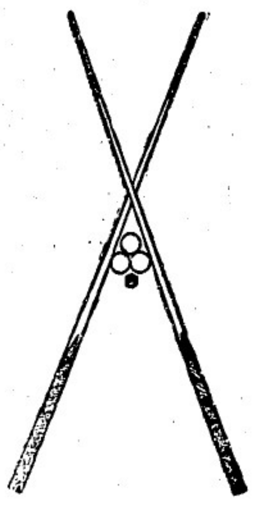
パウエル街二一八
日英商會
石崎常吉
宇井兵造
（電話一六〇〇）

男女洋服裁縫
パウエル街四一七
芦川助次郎
（電話三五八七）

洗濯業

從來よりも一層改良方法を用ひ迅速叮嚀に御用相辨じ申候

パウエル街二三〇
大倉洗濯所



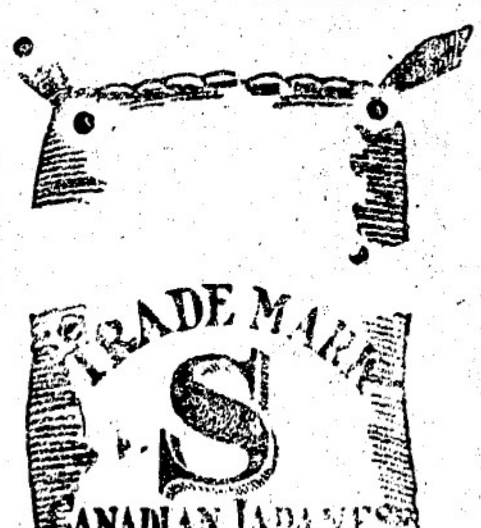
パウエル街二四三
高橋玉場
高橋千太郎

活動寫眞

毎週月曜木曜の兩日寫眞取換へます
番附は日本字にて當館入口に書出します
入場料大人十仙子供五仙

ウエストミンスター街
ウエストミンスター活動寫眞館

酒井精米所



◎中國上米卸小賣
◎賃搗き仕候
◎味噌醬油卸賣

日本米御買求めの節は「エス」印に御注目被下度御一報次第迅速に御届け可申上候

アレキサンダー街四七四
酒井精米所
酒井運送店
持主　酒井鶴之助

酒井運送店

御用の節は電話三五六九又は三八二七にて被仰付度候

▲和洋食料品一切販賣▼

●日本品は總て直輸入米は自家精白の上等品
●地方各位よりの御注文は最も御便利に取計ひ食料品以外如何なる品にても御求めに應じ候

晩香坂市パウエル街五四五番
東合資會社支店
郵函二一六七……電話一七八八

Ⓐ

◉常分の内仙臺味噌壹弗四拾五仙にて見切賣致候

土地家屋賣買
金錢貸借周旋
通辯代書事務
病傷保險代理
登記公證手續
諸工事請負
各種勞働周旋

晩市パウエル街二四六宮崎裁縫店東隣り
福永金三郎事務所
「電話二七二三」

●地所賣買
●勞働周旋
●通辯代書

其他如何なる事件交渉にても叮嚀敏捷に取扱申候

晩香坂市ゴーア街二百十六地番
早田事務所
北米生命保險會社代理所
〔電話六二一九〕

●小田旅館●

室内は清潔に取扱は叮嚀に精々勉強可仕候間ドシ〳〵御投宿の程奉願上候

パウエル街三八二ますや二階
小田茂三郎

▲いなりずし
並にすし色々
其他手輕御料理
晩香坂市パウエル街横町
電話一九三一
旭家

◉魚類一切
◉青物類
◉かまぼこ
◉鑵詰物其他

右精々勉強仕り候間多少に不拘御用仰付け被下度願上候

田中六彌
電話五六六二

廣嶋屋旅館
英領加奈陀バンクーバー市アレキサンダー街二三〇
佐藤茂平
「電話一六一七　郵函二一六八」

七福湯

此度當湯を買受候に就ては一層清潔に致し丁寧に取扱可申候間何卒御入浴の程伏而願上候

晩香坂市パウエル街三七七
上出たつ

即席御料理
ときわ
パウエル街三三七
「電話二九一四」
歌子
玉代

御旅館大北館

停車場よりも埠頭よりも至つて近く且つオートモビルにて御送迎可仕何卒御投宿の程希上候

シアトル市南第五街二一六
砂田和三郎
（電話インデ五三一八）

海陸物産委托問屋
花蓮食料品直輸商
神戸海岸通り六丁目
泉德商店

米國鰕鮭輸入の季節と相成り候に付大多數御送荷願度候特別の注意を以て取扱ひ可申候

▲雜貨食料品一切
▲エキスプレス
晩香坂市パウエル街三八二
ますや商店
「電話六三六二」「郵函二一一六」

▼ニウウエストミンスター欄▲

◉土地賣買
◉勞働口周旋
ニユーウエストミンスター市
ブラッキー街一三
電話五七三
郵函四二四
和田巖

▲とうふ　外にそばすし
▲御料理
▲ちん搗き餅仕候
ニユーウエストミンスター市
電話五七三
郵函四二四
沖永由松

御手輕御料理
並おそば、うどん
ニユーウエストミンスター市ラメージ街八八四
菊水

旅館開業
ニユーウエストミンスター市ラメージ街八八二
玉置旅館
882 Ramage Street, New Westminster, B. C.

精米所
ニユーウエストミンスター市
三國商會
電話三三
郵函八七八

なんでもある店
最廉價販賣
ウエストミンスター市コロムビア街
成記
シンキー

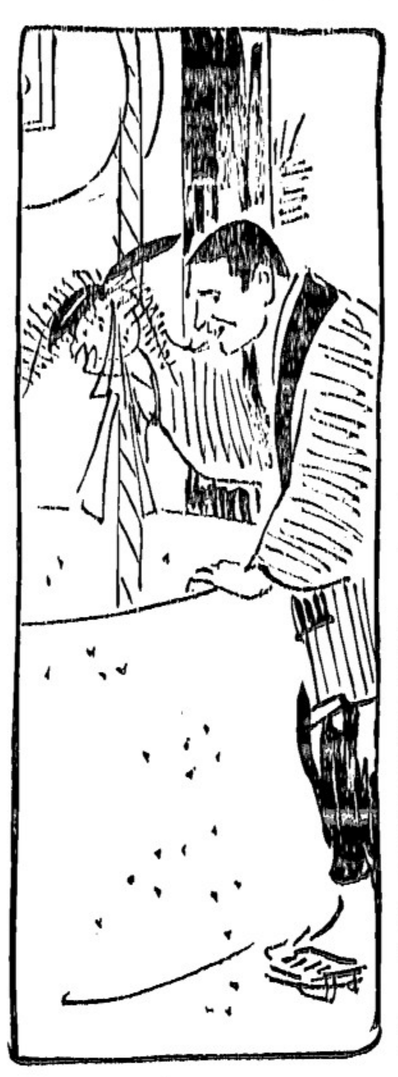
はり、灸治
脚氣病灸點專門
ニユーウエストミンスター市コロムビア街八六三
ウエスタン洋食店二階
郵函三一八
廣瀬博

落語

七福神

柳家小さん
田尻菊水速記

エ、大陸日報新年號の御祝ひに落語を一つお話し申し上げます、何日もお古い事で恐入ます、毎度お客樣から、過ぎは何んぞ新しい事を演たら宜からうとお叱言がありますが、中々吾々には此れ等の趣味がありませんので、新らしい事は新聞社のお方にお任せして仕舞ます、が、新聞と云ふ物が中々新しいものを書きます、尤も古いことを書いチヤー新聞ではありません……、昨日のことが今日解るは愚か、今日ある事が今日解ると云ふ大層新いもので……、有理も辺い事を書く所から記者（涙事）てんださうで、餘り當にはなりませんが、お馴染の滑稽噺を申し上げます



世の中に御幣擔ぎと云つて、些細な事を氣にする人がありますが尤も縁喜といふものは祝ふものださうで、お客商賣、取分て花柳界なぞでは、大層縁喜といふ事を氣に致します、料理屋、待合、藝妓家なぞと來ると鯛なぞ先づ奇麗に掃除をし置から、何んの呪ひなるか門口へもり鹽といふのを致します、隨て忌み言葉と云ふものがありまして、お茶と云ふ事を、藝妓家と貸座敷では決して申しません、お互ひに『お茶挽』と云ふのを嫌ふ所から、藝妓家の方では『お出花』と云ひ、成るべく藝妓衆に出のかゝるように……、貸座敷では成べくお客樣が登樓るやうに『あがり花』と申します、一寸としたことにでも、門口へ物貰ひが立ちまして『一文頂かして下さい』と云ふと、普通なお宅なら『出ないよ』といつて斷りますが、藝妓家では斷りやうが違ひます、どう違ひますかといふと『最う皆出きつちまつたよ』と、斷りながら縁喜をつけて居ります……。

それに又吾々社會でも、馬鹿な奴がありまして、御幣を擔ぐ所から忌言葉があります……。スル、ハツス切れる、マツ、なんと云ふことを決して言ひません、ハッスといふ言葉をとると言て逃げます。夏期に向ひまするさ、普通のお宅などは『あんまり暑いから障子を外さう』など仰有るのを我々の方では『あまり暑いから。障子を取つて風を大入にしやう』なんて慾張つた奴があるもので……、スルといふ言葉を當ると云て逃げます、此れ故ゑ、擂鉢の事を當鉢擂木の事を當棒、硯箱の事を當箱と申します、此當箱に就て滑稽がありました、私が先年地方へ參りました時に、宿屋の女中に當箱を貸して呉れと申しましたら、暫く怪訝な顔をして居りましたがやがて火燵を持つて參りましたが、是は先方の判じ樣も巧妙ございました。

商人衆の帳面に、金銀出入帳と云ふのがありますが、可笑なもので●出の字を小さく書て、●入の字を大きく書てあります、是れに反對なのが船宿の帳面に出船大寶恵帳の●出の字を大きく書いてありますが皆々縁喜を祝つての事でございます『出來合ひの家名目出度し年の市』さいこ何があります何所の店でも縁喜の宜い家名ばかり。鶴屋龜屋、萬年屋、蓬萊屋……、賣つて居りますものも縁喜の宜いものばかりで。其の中に天貧棒を賣て居たつ或る商人が、天貧棒ジャ縁喜が惡るからうてんで、氣轉を利かして『サア來年中金廻の宜い福棒だ々々』福棒といふ縁喜で大層賣れましたが、買つた人はニコ〳〵もので『オイたせき此樣な縁喜の宜い福棒を買つて來たぜ』『アラ素晴しい天貧棒だこと』矢張り天貧棒になつて仕舞ひます。

●○●○●○●
▲▲▲▲
牛豚鳥鷄
肉肉肉卵

バウエル街二三八
ムーデー店

大割引賣出
クリスマス用の御進物として當店は何品に拘らず二割引にて販賣す

時計。寶石。貴金銀類
西ヘステングス街一四三
ジージービッガー
G. G. Bigger
143 Hastings St., W
Vancouver, B. C.

和洋雜貨食料品
絹布類一切
化粧品一切
蒲鉾製造販賣
弊店儀各位の御引立を蒙り日に増し繁榮に向ひ候段難有奉感謝候就ては今般幸にも新荷珍品澤山到着仕り候に付き聊か御客樣方に對し御謝意を表し度候に付各商品とも特別價にて差上申すべく候間陸續御來店の上御買上被下度奉願上候
晩香坡市パウエル街三六九
前川商會
電話三七二一　郵函二一四四
二階に貸ルームあり

南京御料理並にそば
料理は市内一等の美味
蕎麥は充分ゐ材料精選
多人數宴會は特別勉强
場所は南京町停車場前
室内手廣にして最清潔
日本人諸君は常に歡迎
東ペンダー街二三二[二階]
宴新樓

M. Furuya Co. Ltd.
Phone 1811　P. O. Box 2109
46 Hastings St., W.　Vancouver, B. C
新年繪葉書　日記帳及び歌かるた類　銚子三ツ組盃　茶器　重ネ鉢類　奈良漬及び辛子漬　小樽入等其他正月御用品並びに御進物用品一切
右來る廿六日より店内ゐ陳列仕り候間何卒續々御來觀御命の程希上候
古屋商店
バンクーバー支店
（西ヘステング街四六　郵函二一〇九…電話一八一一）

●服地新柄澤山着荷●
晩香坡市ウエストミンスター街二二五
田鍋洋服店
●迅速叮嚀本店特色●
同街同番地
だるま床
高等西洋風呂

●金員貸與
●代辯事務
●對白人交渉事件
例へば鐵道若くはソーミル就働中負傷したる場合其の原因に依り二千五百弗までの損害賠償金を請求するを得其の他此の種の對白人交渉の依賴ゐ應ず
永尾事務所
パウエル街二四三
宮崎旅館第一號室
電話三八八六

當旅館は室内清潔にて取扱叮嚀に御客樣の御便利を計り可申候
當旅館には玉突場の設けあり
ヴヰクトリア市フイスガード街五一六、五一八
大澤旅館
館主　**大澤林之助**
電話九六四

鮭網、ヘレン網、曳網、テント、帆木綿、漁具一切及び上等の革製又はラバーブーツ格安に賣捌申候
ワター街六八（電話二四二）
イー・リプセット
E. LIPSETT 68 Water St.

●日本郵船會社
●横濱、神戸行切符販賣
一月十七日出帆
●**阿波丸**
（ヴヰクトリヤ行切符付）
晩香坡宿屋組合

一、堅材發賣
造船用に最良のアーク等御需に應ずべし陸續日本人諸賢の御用命を希望致し候
チエー、ファイフ
スミス商會
事務所　晩市ペンダー街及びシーモア街角インペリアル、ブロック第十六號室
倉庫　市内リチャード街一三一〇

旭屋旅館
當館は萬事親切を旨とし各種勞働口の周旋汽船汽車切符の取次可仕候
パウエル街二七〇
谷口熊太郎
郵函二一八一
でんわ二〇六七

S. UENO
Nanaimo B. C.
P O Box 515
▲日本美術雜貨食料品販賣
▲貸しルーム
▲勞働口周旋
ナ、イモ市コンマーシャル街四四號（郵函五一五）
上野商店

大小馬の賣物
ペンダー街大北鐵道館（南京町）
大北運送會社
電話　四〇五　六〇五

センチュリー旅館
クランブルック停車場前
植松龜吉
（郵函一〇四　電話二一九）

石碑、園ひ石等の据附に貴需に應じ候用材は當州產又は輸入石何れにても御好みに任せ候
晩市ウエストミンスター街と第十六街の角
パターソン、エンド
チャンドラー
Patterson & Chandler
（電話四六六三）

勉強
朝日精米所
パウエル街二五一番地
電話一三三一
郵函五五

◎●◎●◎●
例年之通り
御鏡餅並みちんづき
御祝
多少に不係御用命の程奉願上候
パウエル街三五九戎屋旅館向側
梶木店
各位樣
（電話三八二七）

Code Western Union
Cables Kinyu Sha.
PHONE. 2721　270 Powell St.
NIPPON KINYU SHA.
銀行事務（當座預金　貸附、手形引替　利子附貯金預金　定期預金）
本社事務所は日本郵便支局事務所と接近し居れば日本送金等に最も便利なり
日本金融株式會社
頭取　エー、マキボーイ
重役　是永壽吉
主任　エ、ブイ、ガーデナー

土地家屋賣買　登記手續
諸工事請負　公証手續
晩香坡市パウエル街三五〇
村上事務所
石丸
（電話…二四七七）

▲**乾うどん卸小賣**▼
晩香坡市フロント街一九二　郵函二一七五
山崎製麵所
K. Yamasaki. 192 Front St. Vancouver, B. C. P.O. Box. 2775

●
直輸出入
依托販賣商
各食料品
晩香坡市ダンレビー通り一三九
明治屋
店主　塚本彌吾郎

○ノースアーム行
デフイアンス號 毎日前九時十五分
インデヤン河
○シアトル行（直航）
ビクトリア號 毎後十二時半日曜除く
イロクオイス 火前十時日曜後十一半
○同上（タコマ及び桑港行）
タコマ丸 一月七日
アヂア號 月日
○グレートノーザン
シアトル行 毎日
五色湯

想起する新年

ケープホーン

航海中の新年

山崎寧氏談

僕は隨分世界各地で新年を迎へたですが、南米の絶南端たるケープホーンを廻りながら外國の三檣船で日本人として唯一人の新年を迎へたのは今から二十四年前の事ですけれども、當時を追懷すると其當時の情况が髣髴として眼前に浮ぶのである、世界各地の新年の事を纏めて書くのなら、僕は此奇抜な新年を迎へた話で御免を蒙らうと思ふ。

僕の乘つて居た三檣船はアルベークイン號と云つて當時紐育から桑港へ向つて航海をして居たもので十二月の十日にケープホーンに差か丶つて全く之を通過する迄には約一ケ月計りを費した、其際にクリスマスも新年も此有名な難所の航海中に過したが、長い航海であるからクリスマスになつても船中には鑵詰より外には食料品が無い所で僕は妙案を出して糸の端に鹽豚の片を縛り付けて船尾にぶら下げると鰹鳥等のゴ●ネと呼ぶ海鳥が直に之を食ふ、其奴を吞下さして曳いて甲板に引上げるとゴ●ネは眼を廻して終ふ、夫を料理して食ふのには先づオーブンに入れて油をとらないと少々臭味があるが、そんな事は云つてゐられないから、それがシチューの珍味だ、所で之に入れる野菜が又少しもないから堅麵麭を甘藷の代りにして煮込んだのを一同舌皷を打つて食つた、クリスマスが斯うであるから新年になつても別に何もあらう筈はない、而して日本人は僕一人であるのは前に云つた通りで、僕一人のお正月は矢張り此ゴ●ネと堅麵麭とで迎へられたのである。

伯剌西爾の新年

在美府　上原一郎氏寄稿

予は數年前南米伯剌西爾國の首府リオデジャネイロ市で正月を迎へた、在留同胞は僅か三十人位しか無いので何樣南緯二十三度の位置に在るのだから元旦は丁度夏の眞中で朝から寒暖計が八十度にも上ると云ふのだから頗る暑い、處で在留同胞一堂に集まつて顔を見合せたがどうも正月らしく無い、芭蕉は綠に躑躅花は紅、シャンペンを以て屠蘇に更へビスケットを以て餅に代へながら、汗を拭き〳〵お目出度と云つた次には直ぐに隨分暑いぢやありませんかと來るから振つてはゐたが、是では北半球に生れて正月は寒いものだと思つてゐる我々は一向に時的に感せられない、夫から一同公使館に押かけて此所でもシャンペン責めに逢つた末加留多取りを始めた、サア斯うなると無禮講で公使の令夫人も公使館附武官も書記生の諸君も在留民の平民共と打混じで愉快を爭ふので始めて新年らしい感も興り愉快を覺へたのである。

米國炭坑の新年

內山健六氏談

僕は八年計り以前に米國に居る時ウヰスコンシン州のロックスプリング炭坑で一度新年を迎へた事がある、其頃同炭坑には日本人が五六百人も働らいて居て西山元と云ふ人の家に百五十人位と他は各縣人別々に十五人乃至二三十人位宛のキャムプ生活をして居たので、サア正月だとなると大變な騷ぎだ先づ十二月になると餅搗きが始まる、所が彼の邊は御承知の通りの平原地方で材木と云ふ物が一本もないから平生の薪でさへ坑內の用材などを焚くと言ふ有樣だから餅搗きには肝心の臼と云ふ物が無いそれで何を使ふかと云ふと奇想天外より來ると云はふか、必要は發明の母なりと云はうか、日本から醬油の這入つて來た樽があるのを中程から打切つて盥見た樣になつたのを臼に代用し、杵はまあ何かの木材で怪しげなものが出來ると云ふ譯で、それ丈けの道具が揃ふと豫て取寄せてゐる糯米を型の如き順序で餅となすのである、其餅搗きなるものが各キャムプに廻番に行はるゝので其騷ぎと云つたら無いのである、それから新年だ目出度となると餅搗きの臼が各キャンプを巡廻したやうに各キャンプの人が此度は巡回の年禮と出かける、そして炭坑などに働らいてゐる者だから其飲む事喰ふ事と來たら目覺ましいものであつてそれから亂舞狂歌の態となるのは無論である、斯くして兎に角海外萬里の旅情を慰さめ且つ一つ宛の年を取つて行くので、僕も一年は其所の餅を喰ふたのだ。

新嘉坡の新年

佐々木開敎師談

私は英領新嘉坡で明治三十二年以後四回の新年を迎へましたが、何しろ熱帶の新年ですから夏服か或は紺の羽織に白地の浴衣と云つた樣な態裁で一向に正月らしい感じがしなかつたです、尤も領事館では拜賀式を擧行して居留民の拜賀を受け、領事は英國の政廳に殖民地總督を訪問して賀辭を述べ、各國領事の間にも往來がある樣ですが、一体新嘉坡は人口の三分の二以上は支那人でありまして白人などを其雇人にしてゐる程の富豪があります位ですから、支那の正月と云へば非常に賑やかですけれども、太陽歷の新年には在留の日本人と白人とが祝ふ位で實に寂しいものです、そして日本の居留民の大多數は醜業を營んでゐるものですから、彼等の方でも支那人の正月の方が客が多くつて賑やうのです、斯んな有樣で一向新年らしくない新年でしたが然し日本の品物は何でも無い物はありませんから儀式などに不自由はありません、そして領事官や其他二三の家庭では歌留多の會合なども催さるゝのです、然し凉みながらのお正月と云ふので日本內地の人には到底想像の出來ない珍妙なものでありました、それでも矢張りお正月は正月で、嫌々ながら私は四度も此熱帶の正月をして來たのです。

（文責在記者）

銃聲を聞く土匪

包圍中の新年

黑潮生手記

予は明治二十八年の夏臺灣に渡つて翌二十九年の新年を臺北城內で迎へたが、此時は臺灣占領後第一回の新年であつて臺灣總督府所在地の臺北城には大分日本の商人も入込んで居たのだが、まだ自由渡航を許されない內だつたから在留民は皆な野郎許りで、婦女切れと云つては一人も居ないから土人のボーイに飯を炊かせて寄ると集ると酒宴が始まると云ふ有樣、それが新年はお目出度うと來たから堪らない、何處の宿舍も何れの商店も事務所も鯣や蜜柑の肴で鯨飲をやつて占領地第一回の新年を迎へたのであるが、忘れもせぬ二十八年十二月末から臺北縣下の各地に土匪が起つて三十一日になると基隆や淡水との連絡が絶えて了つて其夜の一時頃から臺北城は數萬の土匪に包圍されて了つた、是より先き既に情報があつたから今晩は徹夜とは覺悟してゐたもの丶深更に及ぶ頃から東門外の方面に銃聲が起つて、何れの街路も陸軍の傳令及び乘馬憲兵の鐵蹄の響きに充ちて居た、予等は夜の明くるを待つて卽ち一月一日を祝す可く押寄せたる彼の野蠻なる來客を迎へんと城門をさして驅けつけて行くと當時城內の守備隊には陸軍の兵士とては僅かに三四百しか居なかつたから臺北城の四門を護るものは憲兵及び警官總出と云ふ有樣で、兵士の姿は四五名位しか見えないそれでも城壁の銃眼から近寄る、土匪を狙擊するので、予等が銃眼から覗いて居ると進んで來る奴は皆な斃されて了ふ餘り愉快だから誰やらが萬歲と唱へると我々非戰員の見物人の一同は盛に之に和する、其聲があまりに大きかつたので巡回の士官に見付つて城壁から御ろされ一同整列せよと命ぜられた是は何でも我々を義勇兵に取るのだなと皆々喜んで靜肅に行列を作ると、一士官は「今はまだ君等の力を借る必要が無いから家に歸つて正月でもして居玉へ、斯んな所に來てワイ〳〵騷がれると戰爭の邪魔になる、……後へ進め」何の事だ、折角行列をさせて置いて市街の中心まで引張つて行つて解散を命ぜられて了つた。

此時一同は不平で堪らなかつたけれども仕方が無いから各自其住居と定めた所に歸つて更めて新年の祝杯を擧げた、其日は終日城壁に據つて防戰した我兵士及警官等と襲來の土匪とが彈丸硝藥を献酬して夜に入るも尙は熄まなかつたが我々非戰員及び商人などは別に何も任務があるでは無し、異境の新年に土匪の包圍を受けながら尙太平樂を唱へて居た。

◉猪公六題

含都支社　馬鹿也庵鈍牛

今年は明治四四の年で辛の亥の干支に相當するのであるが、拙者の名が馬とか鹿とか牛とかに因緣あるに由つて、一つ獸類仲間の角突合ひではないが、交誼の爲め貴公を人間社會に紹介しやう、但し少し位惡口を言つたからとて、例の牙を現はして吶喊は御免じや、正月早々からの喧嘩は餘り褒めた事ではないからのう亥之さん

▲猪口と乙猪口

先づ明けましてお目出度ふ……と年賀の客が來ると、第一に屠蘇が出る次で燗酒が出る、偖て此酒を呑む器が卽ち猪口であるが、此文字から見ると猪の口と書くのだ、何故昔しの學者はアンナ容貌の醜くい蠻襟極まる亥之さんの口などを假りて名詞としたのであらうか

一体猪口は上王侯貴人より下は土方立ン坊の口にも接し、又た窈窕たる美人の朱唇にも觸れる、皺に禍福併せ呑むか呑まれるか兎に角不思議な器物……一視同仁とは先づ此事であらうが、一つ間違つて此猪口の上に乙の字を附けると、此奴は又た全々正反對なものを代表するの意となる、卽ち誰れにでも嫌はれる更に相手にして呉れぬ所謂輕卒者流と冷笑さるゝのであるが、此種の乙先生は當市にはザットーダズン、ハテ貴市にもコンナのが御座るかなイヤ失敬。

▲西遊記の八戒

唐の太宗皇帝は佛敎の歸依者である、何を感ズッタか三藏法師をして經典を得せしめんとした、法師命を奉じて出立はしたが行程幾万里頗る危險である、ソコデ途中孫悟空と沙悟淨と八戒とがお供に加はつた、丁度桃太郎の鬼ケ嶋退治と同じくで能く効を奏した、此の八戒なる者は卽ち猪の性であるが、此時の功德に由つて猪公先生終に佛体に祭られた、之れが亥之さん恐らく第一の手柄であらう。

あひみての
後の心に
くらぶれば
紫

▲盤疑記の逆櫓

今を距る事六百年保元平治の頃、源平爭奪の鎬を削るや、時の執政梶原景時海戰の議に就いて義經公に建議した、其議に曰く舟楫の軍は進むにも便、亦た退くにも利なるの法あり之れを稱して逆櫓と云ふと、義經悉く之れを排斥したので其議は到頭行はれなかつたが此時、梶原勵聲一番曰く「進むを知つて退くを知らざるは野猪の勇なり」と併し此戰爭に於て源氏幸ひに勝つたが幸運、若し負けたら義經ギャフンで御座る、故に進退宜しきを得ずば何事も後世人士の物笑ひの種となるのである、世の青年諸士無謀猪進は戒めよや。

▲五段目の猪

赤穗義士復讐は元祿以來我邦武士道を皷吹するに於て大に力あり、夫の新渡戶博士は之れを英譯して外人に紹介し頗る好評を博したさの事、ソコデ此假名手本忠臣藏十二段の內に猪公も參加して居る、夫れは例の五段目に於て忠臣孝子たる勘平をして「猪にはあらで旅人の屍骸」との嘆聲を發せしめて終に切腹せしめた、想ふに猪公は實に惡い、自分を狙はせると思はせて舅御殿を打たせるなどは甚だ以て人がイヤ獸が惡るい、猪公恐らく此點に就ては異論はあるまい

▲猪名川と鐵ケ嶽

猪名川は實に名力士である、好しや學識はなくとも、度量はなくとも義に殉するの氣象は確かに備へて居たらしい、一夕鐵ケ嶽の難問題に對し「魚心あれば水心」と苦悶苦容を解釋して、翌朝の角力に怨みを吞んで「此角力負けてやらざあなるまい」と血を吐いたが、イザといふ土俵側「一金二百兩猪名川關へ御ひいきより下さる」と讀上げると、猪名川はハッと氣が附いて勇氣を恢復した、併し此金は猪關は何處から出て來たか知らぬが、猪關は此金さへあれば敢て鐵關に負けずとも濟む、鐵關に負けてやるは實に心外である、左らば此金はドウした金、此處危機一髮である、エ、儘よ此命さへあればと終に猪關は何の前後の考へもなく勝利を制したが、何ぞ圖らん此金こそは女房おさわが身を北野屋といふ女郎屋に賣つた身代金である、夫の猪關は義の爲めに其名を擧げ、情の爲めに其身を亡ぼしたのである、當代の青年諸君大に是邊に就き研究すべしだ

▲嗚呼八年の亥の歲

勝伯嘗つて大西鄕の討死を悼んで城山の歌を作つた其一節に曰く「夫れ達人は大觀す、拔山蓋世の勇あるも、榮枯は夢か幻か……隆盛之れを顧みて、アナ勇まし腕の力に試めし見て、心に殘る事もなし……」と之れは大西鄕が征韓論合はずして桂冠野に下つて、鹿兒島に私學校を開いて後ち夫の十年の役となつたのであるが、此の明治八年乙亥の年は今を距る事實に三十六年前で、此時始めて朝鮮併合の端緒は開かれたのである、然るに昨年に至つて漸やく之れが實行されて今年其三回目の亥歲を迎ふるに至つた、嗚呼三昔有半前西南の野に憤死した大西鄕以下八千の健兒の靈は此の辛亥の新春を迎へて、確かに地下に於て皇國の萬歲を唱へて居るであらう、實に今年は愉快な年である、壯烈な歲である、併し之れは誰れのお陰であるか、皆な之れ我皇の御稜威に出る處ろである、我等臣民たるものは旦暮にも決して之れを忘れてはならぬ、拙者は茲に亥の歲を迎へて、下らぬ事を書くの如し。

格安農業地

●未だ曾て市場に見ざる安價にして掘込み容易なる農業地の賣物あり場所はチルツック市附近フレザー河中の島にして拾五エーカーあり價格は千五百弗
●ルールアイランドにてスチーブストン行きの電車附近にて五エーカーの賣物あり價格は千五拾弗込み容易

晩香坡市パウエル街三〇七
電話 七八四四
公益社

大和館

譲受廣告

小生儀今回宮崎旅館を譲受パーム館と改稱候間何卒陸續御投宿の程奉願上候

晩香坡市パウエル街
矢の下 黄熊
龜澤 鐵藏
(電話一七二三)

和洋雜貨一切
食料品

ウエストミンスター街
カドバ街の角
村崎商店
店主 村崎新五郎
電話 八三八三

御[illegible]料理
花[illegible]亭
電話一一五二

玉突場
高等理髪店

ウエストミンスター街三三〇
吉本新次郎
日吉軒
森山郡男

太平生命保險株式會社
本社 東京市京橋區築地二丁目十五番地
代理店 晩市パウエル街三三五松本旅館内
取扱主任 **阿部松之進**
(電話二四六 郵函六四)
御一報次第參上可致候

大勉強寫眞

ウエストミンスター街二百二十八番
有門寫眞館
Y. ARIKADO STUDIO
228 Westminster Ave
Vancouver B. C.

大阪商船株式會社出帆廣告

●たこま丸 一月七日 ヴイクトリア發日本各港マニラ經由香港行
●ばなま丸 一月二十一日 ヴイクトリア發日本各港上海經由香港行

大阪商船株式會社**タコマ支店**

荷客代理店
ヴアンクーヴア シー、ジー、ジヨンソン商會
ヴイクトリア アール、ピー、リセット商會

▲大阪商船株式會社
▲瀛船切符取次販賣

右瀛船は最新式船にして特に三等客室は船の中央部に設置致しあり萬事御便利に取扱致候

晩香坡市東カドバ街一五「電話二八四八」
是永商會

P. O. BOx 2131　Phone 2848
J. KORENAGA
15 Cordova St., E.
Vancouver, B. C

日本製 漁網 漁具
各國產 食鹽
各種 食料品
回漕業

晩香坡市東カドバ街一五
直輸出入委託商
販賣各食料品
是永壽吉
電話 二八四八(自宅 二五九三)(郵函 二一三一)

香村兄弟商會

晩香坡[illegible]本店
[illegible]支店
郵函 二二二三
和洋雜貨商

開業廣告

小生儀今回エキスプレス開業し迅速叮嚀に御用達仕候に付何卒多少に不係御用命被下度候尚電話にて御通知被下候はゞ直に參上仕候

晩香坡パウエル街二六二
田中魚店内
宮崎松二郎
「電話五六六二」

土地賣買　時文代作
勞働口周旋　貸金周旋
通辯代書　各種集金
加奈陀サン生命保險代理部
電話アール二四六三
日本進達社

告山口縣人諸君

來る四十四年一月八日(日曜日)午后貳時國民學校に於て新年宴會相催し候間山口縣人諸君は万障繰合の上御出席相成度就ては夫々の準備も有之候得者同六日迄に左記の處へ御一報相成度此段及廣告候也

明治四十三年十二月十日
山口鄕友會事務所
晩市パウエル街二〇一番

仙臺醫學專門學校
醫學士
內外科婦人科
大家武夫
アレキサンダー街五色湯三階
『電話四三九五』『郵函二一八六』

K. MIYAKE
P. O. Box 102
Duncans B. C.

▲美術雜貨食料品
▲宿屋並勞働口周旋

右誠實懇切ゐ營業仕候間同胞諸君御引立を奉希上候

ダンカンス市ガバーメント街
(郵函一〇二)(電話四二)
三宅喜之助
黑山德次郎

明治精米所

賃つき仕候
晩市西第六街七五八
(電話架設中)

當用日記到着 博文館發行

●大形代價五十仙 郵税十三仙
●中形代價卅五仙 郵税九仙
●小形代價廿五仙 郵税六仙
●懷中日記價十仙 郵税二仙

新曆表及び新年用葉書
同繪葉書

右到着仕り候代金御送附の節は發送可仕候間御注文被下度候也

パウエル街三五七
雜貨商 **內田書籍店**
(でんわ一五八二)
S. UCHIDA
357 Powell St., City.

廣告

馬使三名 日給二弗五十仙
デーウォーク 日給二弗五十仙迄
右至急募集す

パウエル街四五九
郵函 二一五二
中村辰喜

●○●○●○●
雜貨食料品
直輸入商

晩香坡市パウエル街三三三
神戸屋商會
(電話二四三三)(郵函二一二六)

明治四十四年
當用日記
電話 六三六一
鈴木商店

見！見！

土地を求めんとする人よ！
此の好機逸すべからず

一ロット **價五百弗**以上
◎◎**現金四分の一**

殘金六、十二、十八、廿四ヶ月
場所はポートマンの入口新西院鐵橋の南端開墾濟の麥畑
來春の大競賣には地價倍加すべし

晩市廣嶋屋旅館內
土地賣買勞働口周旋
北川
山田 **事務所**
各種代書

大勉強靴修繕業
松宮商店筋向
村木宗一郎

郵函變更 二一六一

右の通り變更仕候
ウエストミンスター街三三九
電話三八一一
大河原商店

TRADE MARK
JAPAN RICE MILL

美味の日本米御望みの御方は「スター」印に御注意の上最寄の商店にて御買求め被下度候

晩香坡ハリス街二四九
日本精米所
持主 根來勝之助
醬油卸賣
電話二五四〇…郵函六四九

床屋開業

熱海
平井
床床
床床

晩市パウエル街二四三

電話二三一〇 郵函二三六二
日進合資會社
晩香坡市パウエル街二〇五

加奈太一手販賣
菊正宗

日本酒並にビーヤ
其他洋酒一切

今回弊店に於ては特別大安賣仕候間陸續御用命の程伏て奉願候

ダンレビー街一三一
「電話 六六三三」
郵函 二一九二
加藤酒店
131 Dunlevy Ave.

●下宿開業●

室內清潔
取扱叮嚀
手紙取次

●東京洋服改新所

西第五街三四五
長谷川
Tokyo Renovatory
345 E. 5 Th Ave,

●エキスプレス
●石炭販賣

ウエストミンスター街一五〇
沖沖
沖沖
沖繩館
沖繩縣人會事務所
(二階第三號室)

▲玉突場
▲理髪床

パウエル街二三〇
電話R六九九五
馬場元輔

鮮魚
青物類

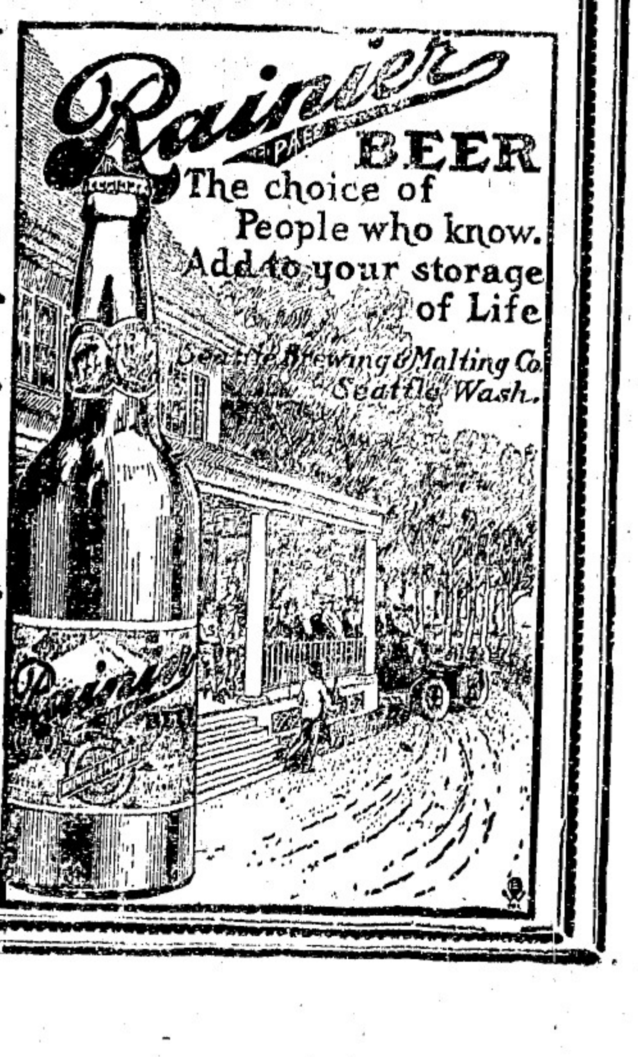
パウエル街二五三
電話 五四四一
西村魚店

The Pacific Bottling Works Ltd.
FOOT GORE AVE.　VANCOUVER, B. C.

日本酒 廉價販賣

日本人諸君は御便利の爲め代理人迄御注文被下度候

日本人部販賣主任
太平洋瓶詰會社
土田嘉次郎
「電話…三五六六…七八三」
「郵函…二一八三」



和洋雜貨食料品
キャンプ入用品 一切
卸 小賣

晩香坡市パウエル街二五四
電話二四一三
郵函三六七
蛭子崎兄弟商會

英領加奈陀ヴヰクトリア市
ドグラス街一一一七
電話三三五
日本美術雜貨
永野萬藏

日本美術雜貨
ガバーメント街一五〇一
パンドラ街角
電話一六二八
永野商會

食料品販賣
ガバーメント街
コムラード角街六〇七
永野商店

◎大阪商船株式會社
瀛船切符取次販賣
(郵函五九二)

▲支那料理
▲南京蕎麥

室內清潔にして美味無比萬事丁寧にして至極廉價殊に日本人の御登樓を待ち上げ申候

キャーロル街とペンダー街との角二階
北京酒樓
「電話四三六七」

藤原寫眞館

晩市パウエル街二四五
池田旅館二階
「電話エル一五四〇」

●諸工事請負

パウエル街三四四
郵函二三
東洋請負會社
(電話二三五八)

S. YANO
NEW YORK

漁船、ガスリン船其他一切の小舟製造致し候

スチブストン郵函二〇電話七
田中
中出
田中造船所
Tanaka & Nakade
Boat Builder
P. O. Box 20 Steveston B. C.

廣告

◎御めし
◎うどん
◎ただ巻むし
◎志のだ
◎壽し
◎そば
◎志津ぼく

其他種々御好みに應じ調進仕候

パウエル街二六四
元前川商店跡
電話四三九八
○万

本紙定價

一枚	五仙
一ヶ月	三拾五仙
六ヶ月	貳弗
一ヶ年	參弗五拾仙

(郵券代用一割增但し一切前金の事)

……(廣告料)……

臨時廣告

一行三日以內	拾仙
一行一週間同	貳拾仙
一行二週間同	參拾仙

普通廣告

一ヶ月一吋	參弗
三ヶ月以內同	貳弗
六ヶ月同	壹弗五拾仙
一ヶ年一吋	壹弗

(但し一面の特別廣告は普通の三倍)